

埼玉県皮膚科医会

会報

Vol.5

平成29年(2017)

特集 病院・医院情報アンケートの解析



埼玉県皮膚科医会会報

第5号 2017年

目 次

巻頭言

ホームページ改訂と地域医療連携サイト開設にあたって……………	会長 仲 弥 ……………	1
--------------------------------	--------------	---

特 集

病院・医院情報アンケートの解析

～埼玉県皮膚科医会ホームページ・病院医院検索バージョンアップの試みについて～

……………さいたま市緑区・さいたま市立病院	齋藤 京 ……………	3
-----------------------	------------	---

随 筆

皮フ科ゴルファー紳士録……………狭山市・池村皮フ科クリニック	池村 郁男 ……………	9
--------------------------------	-------------	---

杏林、東京医療センター、そして埼玉医科大学総合医療センターへ

……………川越市・埼玉医科大学総合医療センター	福田 知雄 ……………	11
-------------------------	-------------	----

第38回水疱症研究会を開催して

……………さいたま市大宮区・自治医科大学附属さいたま医療センター	出光 俊郎 ……………	13
----------------------------------	-------------	----

曖昧で、アナログ的な心地よさ……………さいたま市見沼区・いしだ皮フ科

石田 卓 ……………	17
------------	----

彩たまデルマ（女医の会）へようこそ!!

……………さいたま市緑区・あきもと皮フ科クリニック	秋元 幸子 ……………	21
---------------------------	-------------	----

第93回箱根駅伝雑感……………さいたま市見沼区・松本皮膚科形成外科医院

松本 吉郎 ……………	22
-------------	----

去年・今年……………飯能市・本町診療所

佐瀬くらら ……………	24
-------------	----

アトピー性皮膚炎治療研究会第21回シンポジウム「治せないアトピー性皮膚炎」を主催して

……………越谷市・獨協医科大学越谷病院	片桐 一元 ……………	26
---------------------	-------------	----

旅日和……………さいたま市大宮区・自治医科大学附属さいたま医療センター

塚原理恵子 ……………	28
-------------	----

今、我々は米国の干渉主義外交に強く影響を受けた世界に生きている。

ーウィルソン、ルーズベルト両米国大統領の爪痕ー

……………川越市・埼玉医科大学総合医療センター	人見 勝博 ……………	29
-------------------------	-------------	----

マイホビー

We are Orange! We are Omiya !!

……………さいたま市大宮区・自治医科大学附属さいたま医療センター	梅本 尚可 ……………	34
----------------------------------	-------------	----

Derma あごら

お題：かゆみ……………	36
-------------	----

病院紹介

独立行政法人国立病院機構 埼玉病院（和光市）……………皮膚科 医長	中捨 克輝 ……………	38
-----------------------------------	-------------	----

済生会川口総合病院（川口市）……………皮膚科 主任部長	高山かおる ……………	39
-----------------------------	-------------	----

クリニック紹介

クリニック紹介……………春日部市・さくら皮フ科	横井 清 ……………	41
-------------------------	------------	----

入会あいさつ

新宿区・東京女子医科大学・皮膚科	常深祐一郎	43
川越市・埼玉医科大学総合医療センター・皮膚科	福田 知雄	43
伊奈町・伊奈病院・皮膚科	濱出 洋平	44
三郷市・三郷中央総合病院・皮膚科	上松 ふみ	44
さいたま市大宮区・自治医科大学附属さいたま医療センター・皮膚科	宮田 聡子	45
さいたま市北区・木根淵医院	木根淵 明	45
所沢市・圏央所沢病院・皮膚科	早稲田豊美	46
日高市・埼玉医科大学国際医療センター皮膚腫瘍科・皮膚科	中村 泰大	46
和光市・国立病院機構埼玉病院・皮膚科	中捨 克輝	47
吉川市・美なみ形成皮フ科	水沼 雅斉	47
三郷市・長村皮膚科クリニック	長村 蔵人	48
秩父市・はらしまクリニック	原嶋 秀明	48
さいたま市中央区・さいたま赤十字病院・皮膚科	竹下 雅子	49
川越市・田中医院	田中 麻代	49
三郷市・みさと健和病院	高濱 英人	50
川越市・埼玉医科大学総合医療センター・皮膚科	平原 和久	50
所沢市・新所沢公園前クリニック	森田 昌宏	51
さいたま市見沼区・松本皮膚科形成外科	佐山 重敏	51

◆いい店 ♥好きな店

くいものや「あき川」(鶴ヶ島市)	川越市・林原皮膚科医院	林原 義明	52
------------------	-------------	-------	----

報 告

埼玉県皮膚科医会 平成28年度 事業報告		54
広報委員会報告	委員長 寺木 祐一	58
地域医療学校保健委員会報告	委員長 松本 吉郎	59
女性会員活性化委員会報告	委員長 高山かおる	62
皮膚の日委員会報告	委員長 久保 和夫	63
2016年 第7回「ひふの日」市民公開講座		
さいたま市中央区・さいたま赤十字病院	井上 多恵	64
「小児のアトピー性皮膚炎とスキンケア」		
埼玉県立小児医療センター 皮膚科医長	玉城善史郎	65
「皮膚が知らせる内臓の病気」		
自治医科大学附属さいたま医療センター 皮膚科教授	出光 俊郎	66
2016年「ひふの日」お肌のトラブル相談	さいたま市中央区・島田医院	坪井るみ子 68
市民公開講座参加者アンケート結果報告	春日部市・さくら皮フ科	横井 清 70
第7回埼玉デルマ会ゴルフコンペに優勝して		
所沢市・おおにし皮膚科クリニック	大西 善博	74
平成28年度 埼玉県皮膚科治療学会 事業報告	埼玉県皮膚科治療学会 会長	出光 俊郎 76

県内地域別医会の紹介

平成28年度 大宮皮膚科医会活動報告	石田 卓	77
埼玉県東部皮膚科懇話会：平成28年の活動内容	片桐 一元	78
本庄児玉皮膚科勉強会	佐々木 亮	80
春日部皮膚科勉強会	横井 清	80
埼玉県皮膚科医会役員名簿および各種委員会名簿		82
埼玉県皮膚科医会賛助会員		84
会則		85
会報投稿規定		87
編集後記		88

表紙写真『埼玉サイクルエキスポ2017』

自転車保有率全国一位（76.92台/100人）の埼玉県で毎年開催されている、サイクルエキスポを観てきました。年々内容が充実しつつあると思います。

（撮影者：人見勝博・埼玉医科大学総合医療センター皮膚科）



ホームページ改訂と地域医療 連携サイト開設にあたって

会 長 仲 弥

今年からセルフメディケーション税制が新設され、スイッチ OTC 医薬品の購入費用について所得控除を受けられるようになりました。これは年々増大する医療費を削減しようとする政策の一つですが、同時に今後の「軽症医療の保険外し」を進めるための受け皿作りとも捉えられます。つまり OTC 薬の所得控除の代償として薬局で買えるような医薬品は保険から外してしまおうという政策で、これが実行されると、湿疹、ニキビ、水虫などの common diseases が外来診療の大半を占める皮膚科医にとっては死活問題になりかねません。一方、OTC 医薬品の普及により自己判断による誤用や副作用が増加することは容易に予想されます。早期発見・早期治療が医療の基本であり、患者にとっても、保険財政にとっても最良の方法のはずですが、このセルフメディケーションの推進は早期発見・早期治療の妨げになるばかりか、かえって医療費の無駄使い、ひいては軽症医療における医師不要論にも繋がりがかねません。当医会としても今後の動向を注意深く見守る必要があると思います。

さて、当医会では地域の方々に皮膚科の正しい知識を提供していくことを目的として、2011年6月よりホームページを公開し、本年1月までにすでに約636,903件のアクセスを頂いています。これまで「皮膚病の話」と共に「病院・医院検索」サイトに重点を置いてきましたが、それは患者さんが病院探しをするときに、会員の医療施設に関する有用な情報を提供することにより、このサイトが閲覧され、ひいては集患に結びつくとともに、患者さんの利益にもなると確信しているからです。このサイトはすでに多くの方に利用されていますが、開設より5年が経過し、記載の内容が必ずしも実態と合わない事例が散見されるようになりました。そこで今回内容も含めリニューアルしました。それに伴い、ホームページの画面をPC用とスマートフォン用に別々に作成し見やすくするとともに、検索でよりヒットされるように各医療機関にディスクリプション（紹介文）を書いていただくようにしました。今後もより活用されるホームページにしていきたいと思いますので、ご協力いただければ幸いです。

また昨年病院勤務の会員から「病院等から他の病院・医院に逆紹介をする際に、その施設が受け入れ可能か否かの情報を得られるようなシステム作りをして欲しい」という要望がありました。それを受けて早速、地域医療学校保健委員会が中心となって各会員にアンケートをとり、その結果を基に、ホームページ上で「受け入れ可能か否か」を瞬時に検索できるシステムを新たに構築しました。これを利用すれば、例えば「自院で行っている紫外線療法と同じ治療を継続できる施設を探したい」というときにも、画面をクリックするだけですぐに

調べることができます。地域医療連携サイトとして会員専用サイトにアップしましたので、ぜひご活用いただきたいと思います。なお、このシステムは私の知り得る限りでは全国の皮膚科医会の中で初めての試みと思われます。2025年に向けて地域医療構想の推進が急務となっていますが、今回のシステム作りが地域の医療連携の充実に多少なりとも貢献できれば幸いです。

本号では特集として齋藤先生に今回のホームページ改訂と地域医療連携サイト開設に際し得られたアンケート結果を解析していただきました。埼玉県の皮膚科医療の現状が垣間見られ、新たな発見も多く、興味深い内容になっておりますので、是非ご一読ください。

(川越市：仲皮フ科クリニック)



PC用ホームページ



スマートフォン用ホームページ



スマートフォン用病院・
医院検索画面



～埼玉県皮膚科医会ホームページ・ 病院医院検索バージョンアップの 試みについて～

さいたま市緑区・さいたま市立病院

齋藤 京

1. 経緯のご説明

「逆紹介先探しの時に、周囲の医院さんがどこまで診療してもらえるのか、受け入れてもらえるのかがわかるシステムがあるといいですね」こんな一言からこの試みは始まりました。

平成28年5月15日、埼玉皮膚科医会の役員会での獨協大学越谷病院皮膚科片桐一元教授の一言です。九州から赴任され、地域連携の確立に努力されている方の実感のこもった発案に、なるほどと皆が納得しました。「いいですね。やりましょう！」と仲 弥会長、そしてそこから早かった！

その場でホームページの「病院・医院検索」のバージョンアップを進めることが決定し、県内の各病院・医院に施設情報のアンケート用紙が発送されるまではのんびりせず一気です。半年後の現段階で131施設からのアンケート情報が集まっており、プログラムの方もテストページが出来て今後データ入力と微調整を待つ段階です。

ふと見渡せば、このような医療連携のための病院検索のシステムの構築は他の県、他の科では見られない新しい試みのようです。今回のこの特集はこの事業のご紹介と位置付け、集まったアンケート資料を総論的に解説いたします。そして、今後完成するホームページの「病院・医院検索」を、是非皆様にご活用していただければと願います。

2. 埼玉県の医療事情について

・埼玉県は皮膚科にとっても医療過疎なのか？

埼玉県は医療過疎と言われて久しいです。確かに、単純に人口10万人当たりの医師数142.6人（全国平均219人）・看護師数486.9人（744人）は全国ワースト1（厚生労働省平成23年統計資料より）で少ないです。これは皮膚科に関しても言える事なののでしょうか？ 検証してみました。

・皮膚科専門医数の状況は？

皮膚科標榜医の正確な数の統計は見つかりませんでしたので、専門医で検証してみました。データは平成28年12月1日現在の日本皮膚科学会ホームページと平成22年の国勢調査を使用しています。

埼玉県には265名の専門医が日本皮膚科学会に登録されています。人口は7,194,556人。よって、人口10万人当たり皮膚科専門医は3.68人となります。

	人口（夜間）	皮膚科専門医数	人口10万人当たり 皮膚科専門医数（夜間）
全 国	128,057,352 人	6,644 人	5.19 人
東 京	13,159,388	1,155	8.78
埼 玉	7,194,556	265	3.68
神 奈 川	9,078,331	453	4.99
千 葉	6,216,289	228	3.67
群 馬	2,008,068	86	4.28
茨 城	2,969,770	106	3.57
栃 木	2,007,683	79	3.93

東京都は大学病院などの研究者の専門医も多くカウントされる特殊な状況であり、あまり参考になりません。その東京を除くと全国平均を関東はどれも下回り、まあ、少ないといえは少ないですが、埼玉が特別少ないとは言えない数字でした。

もう一つのファクターとして人の移動があります。つまり、東京のベッドタウンとしての要素が比較的強い埼玉は昼間の人口が減りますので、平日昼間の受診という点においてはこの人口の方が意味を成すと考えられます。

	昼間人口	昼／夜人口比	人口10万人当たり 皮膚科専門医数（昼間）
東 京	14,677,340 人	111.5 %	7.87 人
埼 玉	6,375,821	88.6	4.16
神 奈 川	8,239,066	91.1	5.50
千 葉	5,549,271	89.3	4.11
群 馬	1,997,659	99.5	4.31
茨 城	2,907,074	97.9	3.65
栃 木	1,999,574	99.6	3.95

御覧のように関東でもっとも昼の人口が変動するのが埼玉県で、それで計算すると専門医の少なさがかなり緩和されることがわかります。

皮膚科の医療を支えているのは専門医以外の Dr. の力も大きく、これで結論を述べることは到底できませんが、あえて考察すると、

- ① 診療所受診の中心である平日昼間は特別医師不足とはいいいがたい。
- ② 土日祝日の診療や救急医療を反映する夜間人口においては医師不足の傾向が現れる。
- ③ 高齢化社会は昼間人口増加となるため、今後医師不足になっていくと予想される。

となります。

「埼玉は皮膚科が少ないな～」と思っていた私としては少し意外でしたが、夜間の人の多さ・医師不足はやっぱりという感じです。

3. アンケート項目 ―一般検索項目―

では実際の項目を見てみましょう。

①一般診療情報

主な診療科目、その他の診療科目、住所、最寄り駅、駅からの所要時間、休診日

②診療の特徴の項目（有無）

夜間診療、土曜診療、日曜診療、予約診療、往診、駐車場、入院設備、女性医師、専門医

このように羅列をしてもよくわからないので、具体的なホームページ画面を見ていただきますが、これらは現在の一般向けの検索画面にもすでに反映されているものです。
 まずは、バージョンアップ前の画面です。

病院・医院検索

下記地図の市区町村名をクリックするか、検索条件を入力し、検索ボタンをクリックしてください。
 診療時間・休診日・その他詳細に付きましてはあらかじめご確認ください。



県外近隣都県の会員はこちらから。→ [東京都](#) [群馬県](#) [栃木県](#) [神奈川県](#) [茨城県](#)

病院名	
医師名	
市区町村	全て ▼
他、条件	☐ 往診 ☐ 予約 ☐ 夜間診療 ☐ 土曜診療 ☐ 日曜診療 ☐ 駐車場

これだけでも結構充実しているのですが、さらにバージョンアップとして入院施設、女性医師、専門医を新設し、マークを作って見やすくしています。その修正版一般用テストページがこれです。

埼玉県皮膚科の病院・医院検索

かんたん検索（地図の市区町村名をクリックしてください。）



くわしく検索（検索条件を入力し、検索ボタンをクリックしてください。）

市区町村	全て ▼
路線	全て ▼
駅名	
お探しの条件	☐ 夜間診療 ☐ 土曜診療 ☐ 日曜診療 ☐ 女性皮膚科医 ☐ 皮膚科専門医 ☐ 駐車場 ☐ 予約 ☐ 入院設備 ☐ 往診
病院名	
医師名	

診療時間・休診日・その他詳細に付きましてはあらかじめご確認ください。

4. アンケート項目 ―医療者用項目―

新設された項目で、これが今回の目玉です。

③対応可能な検査・治療

パッチテスト、ダーモスコピー、真菌検査（顕微鏡検査）、皮膚生検、液体窒素療法、紫外線療法（PUVA）、中波紫外線療法、小手術、レーザー治療

④地域医療連携用施設情報

パッチテスト（日用品）、パッチテスト（金属）、NB-UVB（全身照射型）、NB-UVB（ターゲット型）、エキシマライト、色素レーザー照射、Qスイッチ付ルビーレーザー照射、Qスイッチ付アレキサンドライトレーザー照射、局所免疫療法（DPCP）、局所免疫療法（SADBE）、軟属腫摘除、鶏眼・胼胝処置、熱傷・外傷処置、陥入爪治療（ガター法、ワイヤー治療など）、注射（強ミノC、ノイロトロピンなど）、シクロスポリン内服療法、皮膚がんフォローアップ

これを医療者向けの検索システムとして立ち上げます。画面は以下の如くなります。

埼玉県皮膚科医会（地域医療連携用施設情報）病院・医院検索

かんたん検索（地図の市区町村名をクリックしてください。）



くわしく検索（検索条件を入力し、検索ボタンをクリックしてください。）

市区町村	全て
路線	全て
駅名	
対応できる検査・治療	☐ パッチテスト ☐ ダーモスコピー（拡大鏡）診断 ☐ 真菌検査（顕微鏡検査） ☐ 皮膚生検 ☐ 液体窒素療法 ☐ 紫外線療法（PUVA） ☐ 中波紫外線療法 ☐ 小手術 ☐ レーザー治療
地域医療連携用施設情報	☐ パッチテスト（日用品） ☐ パッチテスト（金属） ☐ narrow band UVB（全身照射型） ☐ narrow band UVB（ターゲット型） ☐ エキシマライト ☐ 色素レーザー照射 ☐ Qスイッチ付ルビーレーザー照射 ☐ Qスイッチ付アレキサンドライトレーザー照射 ☐ 局所免疫療法（DPCP） ☐ 局所免疫療法（SADBE） ☐ 軟属腫摘除 ☐ 鶏眼・胼胝処置 ☐ 熱傷・外傷処置 ☐ 陥入爪治療（ガター法、ワイヤー法など） ☐ 注射（強ミノC、ノイロトロピンなど） ☐ シクロスポリン内服療法 ☐ 皮膚がんフォローアップ
病院名	
医師名	

検索

狙いはズバリ、病診連携の充実です。先に述べたように埼玉県は特別皮膚科過疎というわけではなさそうですが、実際の自分や近隣の先生方の診療を見る限り皆多忙で、その実感はありません。一方、かかりつけ医制度を促される政策が年々強化されており、患者さんの効率的な紹介・逆紹介が必要となっています。

勤務医をしていますと、「～の治療をお願いします」の旨の紹介状をお持ちの受診があり、「当

院でもこれは対応できません」と申し訳ない思いでさらに別施設を紹介することがあります。また、逆紹介として近くの皮膚科をご紹介しようにも、その医院がどこまで受けてもらえるのかわからず、いちいち問い合わせたり、途方にくれたりが日常となっています。これは時間と労力のロスに他なりません。今回のシステムは私にとっても待ち望んでいたものと言え、埼玉県地域医療の充実に貢献すると期待しています。

5. 予想される今後の課題

新しい試みですので、うまくいく保証はありませんし、予想外の問題がでるかもしれません。開始前の段階ですので、私の個人的な予想をざっと箇条書きしてみました。

- ・項目の選別：今回は若干募った意見をもとに、皮膚科医会のスタッフで決めています。項目が多すぎるとデータ管理ができないとか、検索が複雑になるとかが生じますので、「ちょうどよい」項目の選別が今後必要になりそうです。
- ・データの更新：ネット検索ですので常に正確かつ新しい情報を要します。新たな情報をどのように入手し、どのように管理するかが問題になりそうです。
- ・どこまでデータを一般向けに開示するか：③対応可能な検査、くらいまでは一般向けの検索に入れても良いかもしれません。事実、「パッチテストはやってますか？」とか「ダーモスコピーは扱ってますか？」等の問い合わせ電話が患者さんからかかってくることも多いです。が、中途半端な知識の患者さんの目に留まり、とんちんかんな期待を持っていきなり受診されても問題になりそうですね。現在、一般向け情報は絞る方針で話が進んでいますが、今後の議論の余地があると思います。

6. せっかくなので、データ解析

複雑になるので病院は省いて解析します。医院・診療所の計110施設のデータの解析です。

1：標榜科

皮膚科のみ標榜は51件でした。意外に皮膚科単独の標榜の先生が少ないです。皮膚科以外の標榜科名はアレルギー科（21件）、形成外科（18）、内科（13）、泌尿器科（8）、美容皮膚科（8）が上位5でした。

2：最寄り駅まで徒歩何分？

1分以内（12）、～3分（30）、～5分（12）、～10分（27）、それ以上（29）でした。おおむね皆様立地がいいです。最短は徒歩5秒との申告でしたが、確認したところ確かに駅から7～8mでした。

3：夜間・土曜・日曜の有り

夜間診療（10）、土曜診療（103）、日曜診療（8）です。土曜診療は定番となっています。また、さいたま市で日曜診療はゼロでした。

4：予約診療

行っているのは33件です。窓口予約以外の遠隔予約導入（WEB・電話）の内訳はWEB（4）、電話（12）、WEB電話両方（9）でした。web予約導入13件は今後増えていくのでしょうか？注目されます。

5：往診

26件でした。床ずれ110番的な往診分担システムの構築は埼玉ではなかなか難しいようです。

6：女性医

いる、55件です。見事に半分！

7：専門医

いる、87件でした。病院勤務の専門医を加えても、埼玉県の特任医数265人には到達しそうにありません、ここでわかることは、①このデータベースは完全なものではなく、まだまだ伸びしろがあるということ、②埼玉県の皮膚科医療は皮膚科育ちでない先生方にも支えられている、ということだと考えます。

8：対応可能な検査・治療、地域医療連携用施設情報

情報が多いので、表にしました。

	可能な施設	
パッチテスト	62	
ダーモスコピー	84	
真菌検査（顕微鏡検査）	110	全施設です
皮膚生検	65	意外に多い
液体窒素療法	108	
紫外線療法（PUVA）	21	
中波紫外線療法	29	
小手術	66	意外に多い
レーザー治療	34	
パッチテスト（日用品）	45	
パッチテスト（金属）	57	意外に多い
NB-UVB（全身照射型）	14	
NB-UVB（ターゲット型）	11	
エキシマライト	16	
色素レーザー照射	5	5件も！
Qスイッチ付ルビーレーザー照射	15	
Qスイッチ付アレキサンドライトレーザー照射	8	
局所免疫療法（DPCP）	3	
局所免疫療法（SADBE）	12	
軟属腫摘除	102	
鶏眼・胼胝処置	108	
熱傷・外傷処置	93	
陥入爪治療（ガター法、ワイヤー治療など）	46	もはや一般的？
注射（強ミノC、ノイロトロピンなど）	58	
シクロスポリン内服療法	34	
皮膚がんフォローアップ	22	

実は埼玉県内の医療圏による事情の違いも存在します。例えばさいたま市南区は昼間／夜間人口が75.5%と昼にどっと人口が減るのですが、同じさいたま市でも大宮区は122.9%と全く逆なのです。医療圏別の解析などを行えばより医療事情が見えてくるはずですが、それにはもう少し登録施設の数が多いです。紙面の都合もあり、今回はそこまでは解析しませんでした。

7. あとがき

今回のWEB検索システムについては、コンセプトは新しいものではありません。しかし、医会内部の発案で起動し、一から構築しようとしていることに大きな意味があります。時代の流れや埼玉県の皮膚科事情において、どこよりも必要性に迫られた故の動きともとれますし、埼玉皮膚科医会がネットワークがよい証なのかもしれません。他の地域で、「こんなシステムがあったらいいな」と感じていながら、なんとなく実行に移していない場合もあると思いますので、今回の試みがモデルケースとして一石を投じられれば幸いです。



皮膚科ゴルファー紳士録

狭山市・池村皮膚科クリニック

池村 郁男

馴れ初め ゴルフは難しい。ゴルフを始めて50年になるが、相変わらず下手である。

大学の卒業旅行の折、某ゴルフ場で借り物のクラブで初めてゴルフをやってみて、忽ちゴルフの魅力の虜になった。

竹村 司先生 元埼玉県皮膚科医会会長の竹村先生は同窓の大先輩である。先生のお蔭で皮膚科を選ぶことになったのだが、私がインターンの時、先生は医局長であられた。

この年先生は皮膚科のゴルフコンペを年に12回企画された。つまり1ヶ月に1回コンペがあったのである。先生の剛腕で毎回協賛の賞品が山と積まれた。そのコンペがとても楽しみで、益々ゴルフにのめり込むことになった。先生は学生時代ラグビー部だったせいもあるが下半身（広義の解釈で可）が強い。コンペでドラコンをよく獲られた。

森岡貞雄先生 日大皮膚科の教授であられたが、やはりゴルフがお好きであった。

運転手兼同伴プレーヤーで偶にお供を仰せつかった。栃木のゴルフ場で行われた日大のコンペの時、同ゴルフ場のロッジで先生と相部屋になった。翌朝早く目覚めて先生の気配を伺うと既にお目覚めのご様子、私は先生をお誘いして無人のゴルフ場に潜り込みバンカーショットの練習をして本番に備えた。先生は一時期、真摯にゴルフに取り組んでおられたのである。

学会の折の教授招待会で、先生の言い付けで東大の久木田 淳教授、九州大学温泉研究所の中溝慶生教授のお供をさせて頂いたこともあった。久木田先生は東大ゴルフ部のキャプテンであった方。一度ティーショットを曲げて林に入れたが残り130ヤードを木の間からアイアンで何事もなく打ち出してグリーンに乗せパーを取った。今までにお目にかかった皮膚科の先生で、あのような達人のプレーを見たことがない。中溝先生はショットの度に必ず右足の一本足でフィニッシュを取るという珍しいスイングをされた。

小堀辰治先生 東京通信病院皮膚科部長で私の恩師である。先生は昔はゴルフが大嫌いであったと先輩は言う。「〇〇君はゴルフをやるそうじゃ。実に怪しからん!」ただ私が入局した頃から幸いな事に風向きが変わって来た。先生はいつの間にか名門龍ヶ崎C.Cのメンバーになっておられ運転手兼同伴プレーヤーとしてよくお供を命じられた。

先生はテークバックの時に腕をぐるぐる回しながらタイミングをとる。“小堀の円月殺法”と呼ばれた。

関東通信病院の原田昭太郎先生ともプレーしたことがある。小堀先生は「関東代表と東通代表のマッチプレーじゃ」とムチャをおっしゃった。

九州へもよくお供をした。九州では九州大学の樋口教授が待っておられ学会の折のゴルフは必ずお二人が一緒にラウンドする決まりとなっていた。周囲はこのゴルフマッチを評して“東西両雄対決”と称した。



バリの娘さん

南太平洋皮膚科会議の折もお供をして、その帰途バリでゴルフをするという貴重な体験をさせて頂いた。私はその企画を聞いて淡い期待を抱いた。バリとタヒチを混同したのである。「バリのゴルフ場のキャディーはゴーギャンの絵の若い娘のようなのか？」バリの娘さんは皆きちんと胸を閉じていた。何人かのおばあさんだけが、眺める必要のない胸を見せていた。

通信では、もう一人忘れられない先生がおられる。東大の堀 嘉昭先生である。先生は小堀先生の依頼で私達の電頭の家教師をされていた。兄弟子の木根淵承一先生

がゴルフをやりたいというので、練習場で堀先生に何回か教えて頂き、愈々ゴルフ場へデビューすることになった。筆下ろしは、東京読売C.Cのパブリックコースである。木根淵先生の打ったボールは殆どが浮上しないで地面を這い回る。だんだんキャディーのおばさんの機嫌が悪くなってきた。ティーショットをしている脇で腰を下ろして編み物をしている。私達が打ち終わると「もう打ったあ？」と気のない顔でのろのろ立ち上がる。やっとハーフが終わると「もう終わりでしょ?!」一人で勝手にカートを引いて帰ってしまった。木根淵先生のゴルフは一回で終わった。

ゴルフの現状 私は4年前からゴルフの先達バイロン・ネルソンのゴルフの解明に取り組んでいる。バイロンは1912年（大正元年）に生まれて、今生きていれば100歳を超える名ゴルファーである。近代アメリカ打法の元祖と言われてアメリカでは評判が高い。トーナメントで11連勝。更に年間の平均ストローク68.33という途方もない記録を打ち立てた。タイガー・ウッズも遠く及ばない。

バイロンの教本「ウイニングゴルフ」（昭和28年発行）定価800円のところを古本で散々探した末に売値20,000円でやっと手に入れた。もう多分手に入らないであろう稀少本である。彼の説くスイングは素直に納得出来るとてもシンプルなもので、古い時代のスイングを全く新しく生まれ変わらせたもの。ただ頭で分かっても実地で出来ないのがゴルフ。再読、精読を積み重ねて（皮膚科の本をこれ程読んだことはない）最近やっとテークバックが分かって来た感がある。フルスイングについてはまだまだである。ゴルフは実に奥が深い。



バリのキャディーさん



杏林、東京医療センター、そして 埼玉医科大学総合医療センターへ

川越市・埼玉医科大学総合医療センター

福田 知雄

平成27年4月1日付で、永年勤めた杏林大学医学部皮膚科から独立行政法人国立病院機構東京センター皮膚科に異動した。大学病院勤務から地域の総合病院勤務に移りたいと、当時のボスであった塩原哲夫教授に希望を出し、慶應義塾大学医学部皮膚科、天谷雅行教授のご高配も得て、東京医療センターへの赴任が決まったものである。塩原教授の超人的な働きをサポートすれば仕事が回るという楽なポジションの居心地のよさに21年も居着いてしまったが、塩原教授の退任が近づき大学を離れる気持ちになった。間近で塩原教授の仕事ぶりをずっと見てきて、教授の仕事というのはこんなにも大変なもので、自分には務まらないと感じていたこともあり、杏林大学時代は塩原教授のプレッシャーを躲しながら、自由気ままなスタイルで仕事をさせて頂いた。塩原教授の器の大きさに大感謝である。

東京医療センターは非常に働きやすく、また面白い職場であった。短い期間ではあったが、一緒に働いた吉田哲也先生始め、大井裕美子先生、佐々木 優先生、齊藤優子先生、川北梨乃先生、非常勤の西堀由喜子先生、石原幸子先生に感謝している。特に吉田先生は私が働きやすいようにサポートしてくれ、他の先生達も私の好き勝手な行動に不満も言わずよく協力してくれた。おもしろい症例も多く、東京都心にある立地条件のよさ、すぐ目の前が駒沢公園で、都会のど真ん中にありながら木々に囲まれている。他科との連携も構築し始め、研修医に皮膚科の面白さを強く



第67回日本皮膚科学会中部支部学術大会での発表後の打ち上げ風景（平成28年10月22日）。東京医療センターからの発表で、吉田先生、齊藤先生、川北先生を引き連れて参加。右端が私です。埼玉医科大学総合医療センターに赴任して以降も、杏林大学病院の外來、東京医療センターの若手医師の教育を細々と続けています。

説き、皮膚科に入局しようという研修医を掴みつつあった半年後に、突然異動の話を頂いた。東京医療センターでの生活が気に入っており、かなり迷ったが（この文章は、本当は何十行にも及びます。詳しく書くのは問題もあるので、敢えて割愛します）、思い切って埼玉医科大学総合医療センター皮膚科へ移る決心をした。

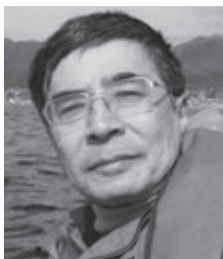
埼玉医科大学総合医療センター皮膚科学教室は、昭和60（1985）年から平成13（2001）年まで北村啓次郎初代教授が教室を率い、その後を伊崎誠一教授が二代目として平成28（2016）年3月末までその任を担い、私が三代目になる。現在、常勤、非常勤合わせ十数名の医師が協力して、川越の街で埼玉県の治療を支えている。教室員は素直で真面目な先生が多く、大きな波風を立てずにスタートが切れたことにホッとしている。ひとつ不満は、新任教授ということで陪席医の面倒見がよく、PCの打ち込み、生検、手術等、何でもやってくれるのに困っている。おかげでPCはなかなか操作が覚えられず、手技は自分でやるのが楽しいのに、ほとんど取り上げられている。症例は豊富である。杏林、東京医療センターも大きい病院であったが、重症度という点では間違いなく上をいっている。臨床の現場として飽きることはない。重症度の高い症例を常日頃診ているためか、皆肝が据わっていて動じることがない。ひとつエピソードを挙げておく。前の週に教授回診したとき、糖尿病性潰瘍の患者がいて、潰瘍内に中足骨が突出していて創の閉鎖を妨げていた。翌週の回診のときにその骨は無かった。日常処置の一環として中足骨が抜かれていたわけである。

川越には学位取得時直接指導を受けた仲 弥先生がいて、埼玉県皮膚科医会会長を務められており、大きなサポートを受けている。赴任に伴い、慶應義塾大学医学部皮膚科入局以来お世話になっている西川武二名誉教授、原田敬之先生から、異動が決まって早々に温かいお言葉を頂戴した。慶應義塾大学医学部皮膚科学教室の皆様には分不相応な素晴らしい歓送会を開いて頂いた。その会には、東京医療センターの武田純三院長、埼玉医科大学総合医療センター皮膚科の伊崎誠一教授もご臨席下さり、驚かされた。皆からお祝いと温かい励ましのお言葉を頂き、覚悟が決まった。

元来、楽観主義者です。なるようにしかなりません。自分の出来ることを、出来る範囲で、ただ不断節季の心がけで進んでいきたいと思います。



納涼会、東京湾クルーズの集合写真（平成28年7月23日）。企画したのは確か私だったような気がするが、集合写真に私がない。企画した後に、埼玉医科大学の教授教員総会、懇親会がダブルブッキングで決まってしまう、私が不参加に。どうせということで、私が病院の皮膚科当直をした日です。



第38回水疱症研究会を開催して

さいたま市大宮区・自治医科大学附属さいたま医療センター

出光 俊郎

去る平成28年11月26日（土曜日）～11月27日（日曜日）、ラフレさいたまにおいて第38回水疱症研究会を開催しました。はじめに、埼玉県先生方にご支援、ご参加いただきましたことをこの場を借りまして厚く御礼申し上げます。おかげさまで、2日間で合計130名のご参加をいただいたことをご報告申し上げます。御多忙のなか駆けつけてくださった大宮医師会長の松本吉郎先生を始めとする皮膚科医会の先生方には恐縮するばかりです。本当にありがとうございました。ここに感謝の気持ちを込めて学会の総括・印象記を書かせていただきます。

さて、水疱症といいますと学問的要素の強い臨床から研究への発展が期待される最先端の医学分野であり、そしてまた、研究の発展が新しい診断法や治療に直結してくる重要な疾患です。とかく開業医には敬遠されがちな疾患ですが、細かい臨床所見や経過の違いが分類や治療の進歩などに貢献して来たことはすでにご存知とは思いますが、そして、「えっ！これが自己免疫性水疱症？！」という症例も日常診療の中に、まだまだたくさん埋もれています。今回の水疱症研究会を機会に、水疱症に対する食わず嫌いを解消していただこうと多くの先生方に、ざっくばらんに演題の出題をお願いした次第です。その結果、埼玉県内の先生を始め、全国各地から38題の魅力ある演題をご応募いただきました。実際の運営については大会事務局長の梅本尚可先生に獅子奮迅（本当にそのように感じました）の働きをしていただき、無事大任を果たせたことに安堵しております。同時に、スタッフとして活躍してもらった医局の常勤、非常勤スタッフ、OB、OGの面々にも感謝の気持ちでいっぱいです。



代表世話人（会頭）挨拶

研究会における臨床的なトピックスのひとつはエクア、ジャヌビア、トラゼンタなどDPP-4阻害薬（糖尿病薬治療薬）と関連した類天疱瘡だと思います。その特徴は、①比較的軽症例が多い、②通常の血清BP180抗体は陰性を示す例も少なくないことなどがわかってきました。実際、DPP-4阻害薬を中止して改善したにもかかわらず、別のDPP-4阻害薬の投与で再燃という症例もありました。難治性水疱症で感染症をきたすような症例については、大量免疫グロブリン静注（IVIG）治療やリツキシマブ治療、血漿交換などについても、追加治療の順番や全血血漿交換が優れているのかDFPPがよいのかなどについても議論が交わされました。また、悪性腫瘍などの

内科疾患と関連する水疱症の演題もみられました。そのほか、臨床症状と血中抗体価が一致しない例もいくつか報告され、天疱瘡病原性抗体と非病原性抗体についても討論されました。非病原性と言われる抗体も単独では水疱形成には至らないものの、しぶい脇役として病像に関与している可能性があります。天疱瘡は液性免疫によりおこる疾患ととらえられているのですが、マウスの実験結果からT細胞の関与も想定され、実際に腫瘍随伴性天疱瘡や扁平苔癬合併例からもそうした細胞性免疫



討論風景 質問に立つ山上 淳先生（慶應大学）

の関与がいわれるようになりました。今回、数は少ないながらも表皮水疱症についても貴重な報告例がありました。いつのまにか予定時間を超過してしまいましたが、自由闊達な討論を楽しむ研究会ではやむを得ないこととお許し願った次第です。総じて和やかな中にもホットな議論や建設的なコメントがなされたと思っております。

さて、話をもどします。教育講演は歯科口腔外科の領域から自治医大口腔外科歯科衛生士の村野 好先生（埼玉県立大学出身）と同口腔外科の神部芳則教授（自治医大さいたま・口腔外科前診療科長）に水疱症の粘膜ケアや注意すべき合併症、難治例におけるとっておきの治療についてご講演いただきました。ステロイド投与中のビスホスネートによる顎骨壊死や口腔カンジダ症はもちろん、口腔病変がなかなか治らない時のプラスチックシーネ作成についてわかりやすい講演がなされました。プラスチックシーネは患者個人に合わせて個別に作成するのですが、刺激を避ける効果と粘膜に塗布した薬剤の浸透効果（ODT といえると思います）があります。講演後は臨床現場においての具体的な質問が多数あり、水疱症治療における粘膜ケアへの関心の高さに驚いた次第です。ステロイドと併用するビスホスフォネート剤投与前にはしっかりと歯科口腔外科とのタイアップが必要だという点が皆さん納得されたところで、場合によっては抜歯してから投与することもよくあると神部教授は述べておられました。いずれにせよ歯科口腔外科と皮膚科のコラボが非常に重要であることを皮膚科医が再確認した講演でした。水疱症の専門家においても「こんなに、我々皮膚科医の知らないことがいっぱいあったのか！」と非常に好評を得たレクチャーでした。

蛇足ですが、現在、私は口腔粘膜からみる全身性疾患にも興味をもっており、デルマドロームならぬオラ・ドローム（Oral Medicine+Syndrome）を提唱して、講演などを行っております。今回、講師としてお招きした神部教授とともに、私も皮膚科医にも役立つ口腔粘膜アトラスを2冊書かせていただいております。いずれもアマゾンでも売り上げランキング上位の役立つ良書と好評ですので、どちらか1冊だけでも診察室においていただけると水疱症をはじめ、口腔粘膜の疾患については困ったときの対応がわかるので安心です。文末の参考図書をご参照の上、ぜひ、ご購入下さい。

研究会初日のイブニングセミナーはIVIG療法による水疱症、とくに類天疱瘡の治療と重症薬疹への応用についての講演が、それぞれ北大新進気鋭の氏家先生と奈良医大准教授の小豆澤先生によってなされました。氏家先生はIVIG療法の奏効機序から実際の使い方までを丁寧に解説し、

小豆澤先生はスチーヴンス・ジョンソン症候群治療の新しいガイドラインについても触れられていて、重症の多形滲出性紅斑、すなわち EEM major と区別することを強調しておられました。いずれも、実際の臨床に役立つ有意義なお話でした。一方、第2日のランチョンセミナーは自己免疫性水疱症の代表である天疱瘡の病理機序について東邦大教授の石河 晃先生が天疱瘡モデルマウスやモノクローナル抗体などを使用し、蛍光抗体や電顕写真を示しながら、「形にこだわりつつ」、天疱瘡の主要なテーマをみごとにまとめられました。本研究会では、大きな会場に椅子と机を用意したことから、美味しいお弁当を楽しみながら快適に勉強することができたのではないかと考えております。

話は前後しますが、初日の懇親会は、はじめに白井利彦奈良医大名誉教授のご挨拶があり、水疱症研究会の成り立ち、歴史についてお話いただきました。次に、大概マミ太郎自治医大皮膚科教授にはご自身の水疱症患者の思い出を交えてのお話の後、乾杯の御発声を賜り、宴に花を添えていただきました。参加の先生にはラフレさいたまではおなじみの美味しいビュッフェ料理を堪能していただいたと思います。うちの医局で専門医を取得し、この秋から秋田県 JA 雄勝中央病院皮膚科に赴任した牧 伸樹先生（秋田に行っても埼玉県皮膚科医会の会員継続です）が秋田の地酒を懇親会に提供してくれたので、地酒を楽しまれた先生も多かったようです。

実は私は、駆け出しの東北大学時代に指導医から「きみは来年にはもう僻地勤務に行くのだから、水疱症は専門としないほうがいい。水疱症は日進月歩だから、僻地では知識で追いかけていくのが精一杯だろう。くれぐれも水疱症には手を出さないほうがいいよ」と言われたのが印象的です。その頃は、Jablonska 先生、Chorzelski 先生などの名前を知っているだけで、蛍光抗体で診断するのが関の山、後に指導を仰ぐことになる矢尾板英夫先生がアメリカから帰国して筑波大学助教授で活躍している頃でした。以後10年間、「水疱症には手を出すな」その教えを守り、その領域には全く興味を持ちませんでした。縁があって、母校自治医大に勤務することになり、門前の小僧習わぬ経を読むがごとく、矢尾板英夫教授、北島康雄助教授（岐阜大学名誉教授）から間接的に水疱症の知識を身につけることができました。わたしは「はじめはみんな素人」という言葉が好きです。アメリカでは素人の発想も尊重してくれます。素人の意見や発想こそ大事で、ガッツで専門家になっていくとアメリカ留学で学んだのですが、若い先生がたも臆せずに水疱症の分野に手を染めて欲しいです。脳卒中と類天疱瘡の関連についてもいわれるようになってきました。今後は類天疱瘡と在宅医療や老健施設での内科医との連携にも注目していきたいと思います。

2017年の第39回水疱症研究会は札幌で北海道大学皮膚科の清水 宏教授が主催することになっております。明日からすぐに役立つ知識ばかりがもてはやされる研究会が多い中、たまにはしばしじっくりと学問に触れて沈思黙考、臨床をじっくり見直すことも大事ではないでしょうか？普段は参加されない先生にも、水疱症って意外に面白いかなって感じて貰えたかなと感じた2日間でした。埼玉県の皮膚科医の皆様を次回、次々回の水疱症研究会にもお誘いしたい気持ちです。糖尿病患者の水疱をみたときには、糖尿病性水疱だけでなく、内科で処方されている DPP-4 阻害薬による類天疱瘡も考えて頂きたいというのが私からのメッセージです。今後さらに新しい知見が得られると思いますので期待しててください。

お世話になりました多くの先生がたに、もう一度感謝をこめて締めくくりとさせていただきます。ありがとうございました。

推薦図書

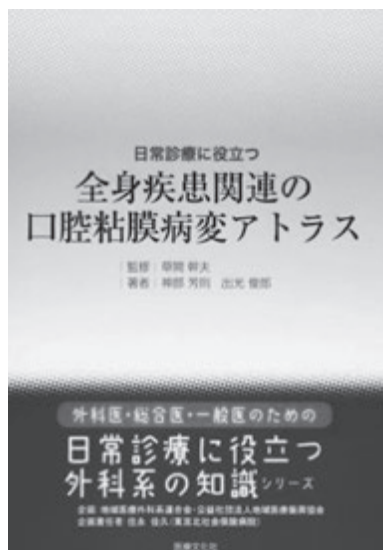
水疱症をはじめ皮膚科医に必要な口腔粘膜所見のアトラスです。教育講演の神部芳則自治医大教授とともに書いております（クリニックにどちらか1冊あるとよいと思います）。

1) 日常診療に役立つ 全身疾患関連の口腔粘膜病変アトラス

(外科医・総合医・一般医のための「日常診療に役立つ外科系の知識」)

神部芳則 (著)、出光俊郎 (著)、草間幹夫 (監修)

出版社：医療文化社 (2011/8/20)



2) 臨床家のための口腔粘膜疾患 Check Point

神部芳則 (著、編集)、出光俊郎 (著、編集)、槻木恵一 (著、編集)

出版社：医歯薬出版 (2016/4/21)





曖昧で、アナログ的な心地よさ

さいたま市見沼区・いしだ皮フ科
石田 卓

優柔不断、付和雷同、相手の顔色を伺っているうちに、つい不本意なことを言ってしまう、後の祭り。ディベートをしようものなら、頭が交錯し、適当な言葉を模索しているうちに、いつの間にか相手に押し切られてしまう。たまに正論めいたことを思わずほめかしても「こんなこと言って本当にいいのか」と自問自答し、照れてしまうので説得力がない。自分自身の中に見出す日本人の曖昧さ、いい加減さ、論理的になれない情緒的、感傷的部分ですが、これでは、グローバルイズムが遍く浸透した社会では、したたかに交渉し、少しでも有利に生き抜いていくことは困難であります。中・韓・露などに対する外交の駆け引きの不甲斐なさをみても自分をみているようであり、日本の毅然としない曖昧な姿勢を感じます。この曖昧という言葉、英語では VAGUE と AMBIGUOUS と言う二つの意味の言葉に分けられます。VAGUE の方はただ漠然と分からないという意味を表し、AMBIGUOUS の方は、物事には多義性があり二通り以上の解釈ができるから分からないと言うことを意味します。自己弁護になってしまうかも知れませんが、曖昧と言う言葉を AMBIGUOUS という良い方の意味にとってみれば、自分を含めた日本人、そう捨てたもんじゃない、そんなに卑下することもない、そんな見方もできるのではと最近になって思う様になりました。戦後、敗戦国日本は、アメリカに倣って、イエス、ノーをはっきりしなければいけないと教えられ、「アメリカでは」という言葉が文章の初めにつけば、それがあたかも正論の様に受け入れられてきました。「郷に入れば郷に従え」、パクスアメリカナの時代では、グローバルスタンダードを受け入れて行かねば生きていけませんが、アメリカの落日の陰りがみえだしたことですし、グローバルスタンダードは程々に受け容れて、悪い面ばかりが強調されがちな日本人の曖昧さ、この曖昧さの良い面を再認識し、見直しても良いのではと思う様になりました。

日本の曖昧さの象徴として、良く言われるのが宗教です。我が国には、八百万という位たくさんの神、しかも悪い神までが、いたる所に遍在しています。台所に神棚があったり、「トイレの神様」という歌が流行ったりしましたが、聖と俗の境界があいまいな感があります。仏教の言葉ですが、山川草木悉皆成仏さんせんそうもくしつかいじょうぶつという天台密教の教えがあります。山川草木、皆ことごとく仏になる本質をもっているというのは、仏教と神道の世界が融合した日本独特の宗教観といっても良いでしょう。生まれたらお宮参り、結婚式はキリスト教式で、葬式は仏教と宗教にこだわりません。初詣で思い浮かぶのが成田山、明治神宮、川崎大師ですが、祀られているのはそれぞれ弘法大師であったり明治天皇であったり、仏教とか神道とか本尊とか拝む対象を意識する人も気づく人もいない気がします。何にお参りしているか分からないにも関わらず、明治神宮の初詣の参拝者数だけでも300万人以上で、メッカの大巡礼ハッジの時の人数を上回るので、多くの日本人は何か曖昧なものをいい加減に信じる、信心というものはあるようです。無宗教と思っている人が多いにも関わらず、けっして神の存在を否定してしまう無神論ではない様です。日本のお坊さんから色即是空、空即是色（般若心経）、煩惱即菩提（悩みそのものが救いにつながる）、善人なおもて往生す、いわんや悪人をや（悪人正機説）などの言葉を聞かされますが、これらは、一見対立するものの間の境界を取り払って等号で結んでしまう様な教えであります。この境界を作ら

ないことが、まさに AMBIGUOUS な曖昧さなのだと思います。日本人の神に対するイメージはキリスト教やイスラム教の絶対的な神と違って、人間と神との境界がはっきりしてないというのも大きな特徴です。神道の世界では人間は死んだら神になれますし、神と人間との間に子どもが生まれたりします。東郷神社、乃木神社がありますが、太平洋戦争で勝っていたら山本（五十六）神社もあったでしょう。悟りを開けば誰でも仏になれるというのが仏教の教えでもあります。我が国には、人間とは一線を画した絶対的存在として神を信ずる宗教文化がなかったのだと思います。ヨーロッパの王族たちは、王権神授説というお墨付きで権力の座を維持しているものの、それでも絶対的の神に対しては一人の人間に過ぎませんので、革命や失脚などで権力の座から引きずり下ろされてきました。中国の皇帝も天とは一線を画す存在ですから漢民族、満州民族、モンゴル民族と支配する民族までも替わっていく、万世一系とは全く異なる易姓革命の歴史であります。一方我が国では、天皇は天照大神の子孫であり、神と血縁のある存在であるというイメージが我々の深い意識の中にあるのだと思います。戦後天皇の戦争責任を問わなかったどころか「人間宣言」をしても、天覧試合、天覧相撲、天覧歌舞伎など衆目を集めるぐらいですから、今でも神に近い存在というイメージはあるのではと思います。この様な存在故に、皇室には聖なるイメージを求められ、スキャンダルはあってはならない、軽はずみな言動は慎まなくてはならないといった案配で、皇室の一員となることは大変な気がします。それを要求される雅子妃などは、美智子妃と比較され気の毒な気がします。イギリス王室などは、王がイギリス国教会の最高指導者にも関わらず不倫スキャンダルがしばしば起こります。それに対して民衆はある程度寛容であり、王といえども人間、プライバシーは尊重すべきという意見が聞かれるのとは対照的です。日本という国ができて以来、皇室がずっと続いてきたのは、世界にはみられない奇跡的なことですが、それは、既に述べたように神とは一線を画す諸外国の王と異なり、天皇が神の子孫だという神聖なイメージが我々の心の奥底にあり、天皇に対して革命を起こすこともなかったし、戦争責任を問うこともなかったからだと思います。

我が国の歴史をみると、どんな権力をもった貴族、武士であろうと天皇の権威を崇め、権力と権威のダブルスタンダードの統治で成り立ってきました。殺生と関わる武力をケガレとして嫌う権威、武力を行使する権力を分けて考え、共存してきたというのは、何か不思議な日本に特有なバランス感覚、良い意味での曖昧さだと思います。ヨーロッパ諸国とバチカンの関係にも似てますが、武力をケガレとして嫌う権威の存在は重要な気がします。明治維新になり列強から国を守らなければならないという危機感が、そうさせたと言わざるを得ませんが、天皇は軍の統帥権も有する現人神と祀り立てられます。こうなると神聖な天皇の権威が軍部や官僚に都合良く利用されるようになり、議会在機能して政治に反映されるということがなくなっていく。日清、日露戦争は、どうにか勝利できたのですが、最終的には天皇の統帥権を軍部が牛耳って、独走してしまい、勝ち目のない戦争に突入してしまいました。この様に天皇が武力と直接関わることは、天武天皇以降なかったことですが、天皇がケガレに手を染め、元来の神道の世界を逸脱し、国家神道に変容していったという感があります。本来の神道は拝む像もなく経典もありません。四季に恵まれ、自然に恵まれ、海の幸、山の幸、水に恵まれ、衣食住に困らず、海に隔てられた辺境の地に侵略してくる異民族もなく、争いの少ない風土に生まれたのが神道で、争いが少ない故に教えも戒めもあり必要としなかったのであり、和を大切に、ケガレや怨念を嫌う宗教といえます。

日本の宗教観の曖昧さと対極にあると誰もが思い浮かぶのが、キリスト教原理主義であり、イスラム原理主義でしょう。宗教そのものが、本来の目的と離れて対立の元凶となってしまうと。とはいっても、キリスト教を例に挙げますが、イエスまで遡れば、イエスは律法などの決まりごとにこだわって、本当に大切なことが、おざなりになってしまうことを諷めました。「誰

が人を裁けるのか」という人と人の間に境界を作らない寛容さを説きました。イエスは「律法を破るも不可、律法を守るも不可」といった中庸を説きました。人間と人間が対立する根源に遡って、これを和解させる原理、愛を説きました。いずれも AMBIGUOUS な視点に立つ弁証法的な教えです。自らに内在する悪というものに目をつぶって、悪を外部のものとして対象化してしまい、正義という大義を持ち出す十字軍やネオコンの原理主義は、イエスの教えとは相容れない考え方です。国家や教皇などの指導者によって、イエスの教えは教条的、律法的、威圧的、排他的な宗教に変容させられ、政治的にも利用されてしまったのだと思います。いずれにせよ、他の宗教、宗派を邪教扱いすることによって信者の結束を強め、アイデンティティを確立する宗教はおかしいと思います。他の国を悪の枢軸呼ばわりした米国のナショナリズムにも同じことを感じます。

曖昧さの美德ばかり述べましたが、一方で「こうであらねば」とこだわりを持たない人はいませんし、こだわること、とらわれることが生きがいにもつながります。国家、民族、宗教でもそれぞれこだわりがあり、それが文化であります。人が、あるいは場所が変われば、このこだわりによって、判断の基準が変わってきます。善と悪とかの基準も変わり、善悪は絶対的なものでなく、相対的、主観的なものになります。極端な話、人はどうしても自分に都合の良い神を作ってしまうので、宗教、宗派に関わらず、人の数だけ神がいることになります。「人間は万物の尺度である」とギリシアの哲学者、プロタラゴスは言いました。自分の尺度でしか判断をせざるを得ないという認識があればこそ、自分のこだわりを認める一方で、他人のこだわりにも寛容であることができ、曖昧さの中で共に生きて行く道を選択できるのだと思います。日本は他民族の起源を持つ、多様に生きられる能力を獲得した均一な人種で占められ、世界の辺境にあって隣国との諍いが少なく、外国の文化を上手く自国に適する様に取り入れ、独特な文化を長い間育くんできた様に思われます。この優れた文化を誇りに思っても、そう簡単に隣国の韓国・中国には理解してもらえないことも自覚することは大切で、それを正論のように押しつけては仲違いの原因になってしまうと思います。自虐史観も困ったことですが、安倍総理の唱える美しい日本、国民会議などをみていると、またクールジャパンという言葉をあまりにも耳にするようになると、これも行き過ぎれば国家神道的ナショナリズムに発展してしまうと懸念してしまいます。

世の中のシステム、どんどん細分化、デジタル化しています。規則、法律が良い例です。あまりにも多くの細かい規則が作られています。規則が作られれば作られるほど世の中が硬直し、不自由になっていく様な気がします。本来、規則は人間がより良く生きるための手段に過ぎませんが、規則を作ることが、何か、官僚、弁護士、会計士の仕事を増やすための目的になっている感もあります。規則を作れば作るほど例外が生じ、また細かい規則が作られるという按配です。いくら規則を作っても、許される範囲で、精一杯利己的に行動されたらどうしようもないのですが、ホリエモンといい村上ファンドがそうだったと思いますが、それが蔓延するグローバル資本主義の理念です。かつては、明文化しなくても常識としてとらえられたり、原則としてという言葉の大切をしたり、暗黙の了解とか不文律とかいうグレーゾーンを設け、アナログ的対応をしていたのだと思いますが、それにはどうしても倫理観が伴いますが、それが成熟した社会で、従来の日本はこうだった様に思うのですが……。

日常使う身近なものもどんどんデジタル化されていますが、デジタル化が進めば使い心地が良いかという点必ずしもそうではありません。腕時計が良い例です。クォーツで動くデジタル時計、ソーラー電波時計などは正確で、安価で故障せず、軽量で実用的ですが、高価であっても手巻き、あるいは自動巻きで、アナログ表示の、一日に何秒かの誤差を生じてしまう時計の方が好まれます。写真も手間も費用もかかるアナログカメラを選び、暗室にこもって現像する人が多くいますし、オーディオもレコードにしかも真空管のアンプを使って、柔らかな音にこだわる人がいます。

振動が極めて少なくなく、エンジン音が殆どなくソフトな乗り心地のデジタル化されたハイブリッド車は、非の打ちどころがない完成品の様に思えますが、車を運転しているという感じより、車に運転させられている様な気がしたり、五感が刺激されず、何か物足りなさがあります。適度な振動、適度なエンジン音、固めのサスペンション、ちょっと重めのハンドル、それらが協調し合い、人間工学をおろそかにしていない欧州車に試乗でもすれば、こちらの方に魅せられてしまう人は少なくないと思います。人間の感覚というものは何かはっきりしたデジタル的なものでなく、ファジーなアナログ的なものを受け入れる様に作られている気がします。

日常受けるサービスにしても同じような感じがします。一流ホテルに行きますとベルボーイからフロントまで、そしてウェイターから厨房のシェフまでで途切れることのない連携された目配り、気配りを感じます。それぞれが独立してマニュアル通りの杓子定規のサービスをしているわけでないので、付け焼刃のように臨時社員を使っているのは、できないサービスだと思います。オーケストラの様に、あるいは37兆2,000億の細胞のネットワークで成り立つ我々の体の様に、一人一人が独立して役目を果たしているというより連携、強調、共鳴の中で行動しているので、デジタル的でない臨機応変なアナログ的な対応ができ、快い気分になされるのだと思います。

国際社会、グローバル企業、グローバルな学会などとは縁遠い世界で、公的な立場に立つことも少ない、患者さん一人一人を相手に仕事をすれば良い開業医だから、こんな悠長なことがいえるのかも知れません。それでもやはり、曖昧さの中に、アナログ的な中にたくさんの豊かさ、寛容さ、愛、ゆとり、贅沢があるのは確かなことだと思います。わび、さび、いき、おつ、あうんの呼吸、こんな日本独自の言葉もアナログ的ですが、世知辛いデジタルな世の中だからこそ、曖昧かつアナログ的な感覚をもう一度見つめ直して、ゆったりとした気持ちで人生を歩みたいものです。

豆 知 識

フィラグリン遺伝子はほ乳類に進化して初めて出現した遺伝子である。

ほ乳類→は虫類→両生類→魚類と表皮の進化を遡っていくと、は虫類になるとフィラグリンはなくなり、その前駆物質であるケラトヒアリン顆粒はなく顆粒層がみられなくなる。両生類になると表皮内に分泌細胞が散在してみられるようになる。この粘液が表皮を覆いバリアを形成、両生類でもカエルのうちは角層がみられるが、オタマジャクシに遡ると角化せず角層がみられなくなる。魚類になるとオタマジャクシ同様、表皮内に分泌細胞が散在する角化しない表皮となる。水棲から陸棲になるにつれ乾燥した空気に適応するため分泌細胞が消失、角層を得、次第に厚くなり、フィラグリンを獲得していく過程は興味深い。



彩たまデルマ（女医の会）へ ようこそ!!

さいたま市緑区・あきもと皮膚科クリニック

秋元 幸子

仲 弥会長のお声がけ、高山かおる先生の優れたリーダーシップにより、埼玉県皮膚科医会の中に、女医の会が発足しました。第1回様子は高山先生からご報告があると思いますが、私は一皮膚科医の立場からの宣伝文を書こうと思います。

女医の集まりは色々あります。私が所属する浦和医師会の中にも女医会があります。日本女医会、国際女医会も長い歴史があるようです。若い頃、何かの女医の会のお誘いを受けたことがありました。その時、女医でくくるってどういうこと？ そんなの意味あるの？ と感じたことを思い出します。日本皮膚科学会の中にも、数年前に、女性皮膚科医を考える会が発足し、主に大学勤務の女性医師が中心となり、女性皮膚科医の働き方を考え、支援の試みもなされているようです。もう長いこと開業しているため、係わったことはありません。このような私ですが、今回埼玉県に、皮膚科女医の会が発足したことを喜んでおります。

自分のことを書きます。私は群馬大学出身で、群馬県にいれば同門の先生と結構交流を持つことが出来ていました。埼玉県で開業した後、横の繋がりがなく寂しい気持ちになりました。群馬大出身の先生が声をかけてくださり、県北の熊谷まで出かけて、それまで話をしたこともなかったような大先輩の先生達とお話するのが楽しかったし、仕事のやりがいのもとにもなりました。ある方が、「きっと気が合うと思いますよ」と、浦和の女医さんを紹介してくださり、食事に行ったりしたのが、とても楽しかった覚えもあります。

開業をしますと、クリニック内での従業員、患者さんとのやりとりが生活の多くを占めることになります。そして、それが延々と繰り返されます。そんな日々がマンネリ化し、日常業務が退屈になることもよくあります。自分が小さいながらも施設の長となれば、色んな責任やら面倒くさい対応もしなければいけません。いい加減、嫌になることもあります。家族がいれば自分以外のことで、自分ではどうしても出来ないようなことも起こります。子供でもいようなものなら、その成長の中で、悩み心配することも多々起こります。

比較的長く大学で勤務していたため、後輩の女医さん達を多少なりとも知っています。私は、色んな事情を抱えているし、偉そうなことはいえないけれど、仕事はしたいし勉強もしたいという女医の一人かなと思っています。そして、そういう女医は後輩の中にも少なくありません。自分が悩んでいた頃、同じような経験を持った女医さんに話を聞いてもらい、愚痴を言うことで心がとても救われました。女医をやっているというだけで、結構同じような経験をしているものです。

彩たまデルマの会は、それで皮膚科の世界がどうにかなるということではないけれど、まあ交流をもちましようという程度の気楽な会だと思っていただいて良いと思います。



女性はもともと、井戸端会議のような雑談が得意です。気楽に話せば、楽しいかも知れません。

別に横の繋がりなんて要らないと思っている方、自分だけでやっていけると思っている方、長い目でみると、マンネリズムに陥り、モチベーションも保ちにくくなるような気がします。自分はどうしてこんなに大変なのだろうと悩んでいる方、人に話すことで、自分だけじゃないとわかり、そういう時期は長くは続かないと気付くかも知れません。大学からも離れ、知人も少なく、寂しい思いをしている方、同じような人がいるかも知れません。

埼玉県はもともと、色んな大学出身の人が寄り集まったような地域だとも思います。何か横の繋がりを持ちたいと思っている方、ちいさなグループに加わりたいと思っている方、是非、彩たまデルマにお集まりください。参加条件は女性であることだけです。

随 筆



第93回箱根駅伝雑感

さいたま市見沼区・松本皮膚科形成外科医院
松本 吉郎

第93回東京箱根間往復大学駅伝競走は1月2日と3日の2日間、東京・大手町と神奈川県・箱根町を往復する10区間 217.1km のコースで行われ、青山学院大が11時間 4 分10秒で3年連続 3 回目の総合優勝を果たした。

3年連続で往路・復路ともに制した「完全優勝」であり、昨年10月の出雲全日本大学選抜駅伝、同じく11月の全日本大学駅伝と合わせて学生駅伝 3 冠を達成した。

1. 青学大圧勝

青学大はスローペースの1区で、梶谷が先頭に近い位置でつなぐというセオリー通り、首位と4秒差の4位につけた。これが非常に優勝には大きかった。2区では神奈川大に首位を奪われたものの、エースの1色が不調ながらも38秒差の2位で3区に中継した。3区では秋山が2年連続となる区間1位の快走でトップに立って、4区森田以降は独走となった。5区で貞永が早大安井の猛追を受け、23秒差に詰め寄られたが、往路優勝を果たした。内容的には余裕があった。他大学のように往路に主戦力を投入したわけではなかった。結果的にみると、復路のメンバーをそっくり往路に用いても、遜色ない走りをしたと思う。

案の定、6区の山下りでは小野田が快調に飛ばし、2位早大に2分8秒というセーフティリードを築いた。7区は当日変更で準エースの田村を起用した。前半は好調にみえたが、12km 過ぎから脱水症状（田村は以前から暑さに弱い）のようになり、急激にペースが落ちた。早大・井戸の猛追を受けたものの、井戸自体も昨年の9区区間賞を取ったほどは良くなかったので大事には至らず、1分21秒差で8区に継いだ。8区はやはりエースの1人の下田が区間記録に迫る爆走をみせた。ここで2位早大との差を5分32秒とし勝負がついた。9区池田、10区安藤が役割をわき

まえ堅実に好走し、ゴールでは2位東洋大に7分21秒の大差をつけた。多少のアクシデントはあったが、高い総合力で結果的に圧勝であった。

2. 東洋大に勝機はあったか？

長い距離の駅伝では力を発揮する東洋大が上級生の奮起で、昨年に続いて2位に入った。エースの服部を1区に使わざるを得なくなり、その服部は区間賞を取ったとは言っても、2位に30秒差をつけるという目論見は崩れた。

昨年もそうだが、服部の力は認めるものの、思い切りに欠けるところが欠点である。駅伝の1区の重圧は計り知れないところがあることは理解できるけれども。

東洋大には2区以降勝機はなかった。相澤、山本采矢、渡邊の3人を欠いたことも、大差がついた原因の1つだが、この3人がいても優勝は無理であったと思う。

3. 早大に勝機はあったか？

先手必勝と主力に武田、永山、平、鈴木を1～4区に並べたオーダーであったが、爆発力はなかった。これも東洋大の服部と同じだが1区の武田が首位と3秒差の3位に入ったが、本来は青学大にもっと差をつける予定ではなかったのだろうか。結果は青学大には1秒定着したに過ぎなかった。2区の永山も誤算。青学大に53秒差をつけられてしまった。3区平、4区鈴木もそれぞれ区間3位と安定はしていたが、それぞれ青学大に29秒と7秒とさらに差を広げられた。この2人で差が広がり、5区安井にたすきが渡った時には1分29秒の差になっていた。すでに山上市で青学大にブレーキがない限りは、ノーチャンスである。

永山も平も鈴木も最後の3kmでペースを落としていた。早大の選手は全体的に条件の良い、アップダウンの少ないハーフマラソンでは良いタイムを出していたが、箱根では今一つ力を発揮できなかったのは課題であろう。武田は最後余裕があったのに、もったいなかった。往路でも一度も首位に立てず、早大に勝機はなかった。早大の復路は井戸以降は明らかに力不足であった。

4. その他の大学に勝機はあったか？

4位順天大、5位神奈川大は出来すぎと言ってよい。6位中央学院大と7位日体大は予想通り安定していた。4校とも元来3位以内に入る力はない。8位法政大もよく頑張ったと言える。9位駒沢大、10位東海大も往路に主力を使ったが、結果的には機能しなかった。山梨学院大にいたっては惨敗と言える。インフルエンザの影響があったと言うが、監督のミスも大きかった。駒沢大のみ4区に配したエース中谷が本来の力を発揮していれば、復路優勝のチャンスはあったと思うが、復路はあまりに弱すぎだ。いずれにせよ青学大以外の各大学に優勝のチャンスはなかった。

5. まとめ

青学大の圧勝に終わり、つまらないレースとなってしまった。次回第94回も青学大の優位は動かないが、東海大の1年生が成長するとひょっとすると、面白くなるかもしれない。



こそ ことし 去年・今年

飯能市・本町診療所
佐瀬くらら

丈夫な身体に恵まれ、元気印で脳天気と自称していた私でしたが、去年は、だんだん疲れやすくなったと自覚するようになりました。一日中患者さんと向き合っていて、診療が終わるとくたびれて「夕ご飯もいらないから、寝てしまいたい」と思ったり、車で自宅へ帰るのがおっくうになったりすることもありました。

そんな時、救いの神のように4月から、埼玉医大総合医療センター名誉教授の伊崎誠一先生を常勤にお迎えすることができました。誠一先生のご尊父正勝先生には、岩手医大で父や弟妹たちが、一方ならずお世話になりましたが、そのご縁で誠一先生は、埼玉医大総合医療センターにいらっしゃった頃から週に半日、ノンキャリのわたしの「家庭教師」をして下さっていたのです。伊崎誠一先生と、北村啓次郎先生のおかげで、私はどうにか皮膚科医になることができました。ご縁の流れで私のところにおいでくださることになりましたが、大学から田舎のクリニックの常勤になられて、とまどっていらっしゃることが多いのでは、と申し訳なく思っております。それでも、先生がここへきてよかったとお思いになり、飯能の本町診療所が伊崎流の皮膚科専門クリニックに生まれ変わることに、そしてここで先生が新しい業績を築いて頂くことを心から願っています。

7月に思わぬアクシデントで腰を痛めたあと、外出がなおさらおっくうに感じられるようになり、12月には大腸癌の再発で手術を受け、人工肛門を造設しました。埼玉医大国際医療センターに12日間入院、退院時には「何を食べてもいい、仕事でもなんでもしていい」とのお墨付きを頂きました。でも、システムとしての身体は思うように働いてはくれず、減った体重は増えません。妹が、ホエイプロテインというサプリメントで体重が増え、筋肉がついた、というので試してみようと思っています。術後1か月以上たった今は体力も意欲もだいぶ回復してきました。お腹に張り付いたストマパウチを邪魔と思わずつきあい、WOCナースさんにも情報提供をして、与えられたこの環境と経験を積極的に楽しみ、前向きに暮らしていきたいもの、と思っています。



ダイコン



ダイコンの芽

はじめて取り組んだ「くらら農園」では、ミニトマトとダイコンを作りました。子ども向けの雑誌「のらのら」の記事を参考に、指示に従って袋入りの培養土とホームセンターで勧められたミニトマトの苗を買い、水やり、日当たり、日よけに心を配りながら、苗が育ち、ひとつの枝に5個ずつ花が咲き、実になるのを十分楽しみ、サラダにして食べました。9月14日に種蒔きしたダイコンは、成長期に体調不良だったせいもあってか雑誌に載っていたのとは比べられないほど小さく、少々がっかりでしたが、収穫したたった1本のダイコン、ナメコとしらす干しといっしょにおろし和えにしました。

さて、今年はどんな年になるでしょうか。まず、茄子を育てましょう。



トマトの実



トマトの茎と実

豆知識

カクテルによるアレルギーといえは？

ジントニックに含まれるトニックウォーターの固定薬疹、カンパリソーダに含まれるコチニール色素のアナフィラキシーが良く知られている。トニックウォーターの固定薬疹は、トニックウォーターの成分であるキニーネによる。独特の苦み成分であり、マラリア予防のために飲まれていたといわれる。カンパリソーダに含まれるコチニール色素はカイガラムシという昆虫を原料とする赤い色素で、コチニール色素のアレルギーは、これが含まれる口紅、マカロンなども原因となる。



アトピー性皮膚炎治療研究会第21回シンポジウム 「治せないアトピー性皮膚炎」を主催して

越谷市・獨協医科大学越谷病院

片桐 一元

平成28年2月27日（土）、28日（日）に埼玉県さいたま市大宮ソニックシティにて開催いたしましたアトピー性皮膚炎治療研究会第21回シンポジウムについて、テーマの趣旨、発表内容の一部、研究会を振り返っての感想を報告させていただきます。報告に先立ち、埼玉県皮膚科医会、埼玉県皮膚科治療学会、埼玉県内の多くの先生方のご支援に対して、この場をお借りして改めまして感謝申し上げます。

本研究会とテーマについて

本研究会シンポジウムはアトピー性皮膚炎に特化した唯一の学会です。3～4年前に、世話人会でテーマや企画を求められた際に、診療していて治せない患者がいて、自分の技術不足なのか、仕方がないことなのかと思い悩むことが多く、自分の治せないタイプに相当する一般演題を元に議論するスタイルを提案し、今回のテーマでの開催となりました。最近、学会で個々のアトピー性皮膚炎の症例や治療方針について議論することが難しい印象であり、古くて新しい試みと言えます。

テーマを「治せないアトピー性皮膚炎」にしましたが、あまりにネガティブであるとお叱りを受けることもありました。そこで、やる気ができるように、また、診療のヒントとなるように「治すぞ、アトピー性皮膚炎」を副テーマとしました。基本的なことでも若い医師には初めての問題であることもあり、繰り返し議論する機会の一つになればと考えました。

シンポジウムの構成

「治すぞ、アトピー性皮膚炎」をテーマにした14題、「治せないアトピー性皮膚炎」をテーマにした20題の一般演題、特別講演、4つのスポンサードセミナーでシンポジウムを構成しました。企画者の意図にご配慮頂いた出題・内容を準備して頂き感謝しています。

一般演題「治すぞ、アトピー性皮膚炎（AD）」の中から、個人的に興味を持った、あるいは、試してみたいと思った内容を抜粋しました。

TARC 値がシクロスポリンを中止できる目安になる、悪化要因に乏汗や接触皮膚炎、紹介AD患者の改善理由は外用法の指導と抗ヒスタミン薬の組み合わせ、姿勢による皮膚の屈曲部に皮疹が生じやすく運動療法により改善する、眠前に「痒くて起きませんように」と3回お祈りして軽快した小児、精神科連携による生活リズム改善で軽快傾向となった高校生、ステロイド忌避21歳男へ父親を視野にいたした心身医学的介入、ヒルドイド[®]ローションとタクロリムス軟膏の等量混合で刺激感が減少、他職種との包括的治療で1ヶ月以内にTARCを正常化し proactive 療法へ。

一般演題「治せないアトピー性皮膚炎」の中から、個人的に興味を持った内容を抜粋しました。

治せない要因：

【症状】tight control で治せない症例の背景因子は男性、思春期の皮疹、重症の期間が長い、痒疹、顔面のリモデリング。びまん性の紅斑、20歳前後の痤瘡合併例。

【治療不足】担当医が悪い、塗らない、塗ってもらえない、本人は良い状態との認識だが TARC 9000、あかつき病、擦りすぎ

【本人の要因・心理的側面】ステロイド忌避、仕事環境（ストレス、汗など物理的）、あきらめ、親子関係、嗜癢的搔破、やりたいのにやれない（分かっている、知能的問題、間違っただけ）、家族、病気に逃げ込む）、心身症・うつ病、多動症

【要注意】幼少期からの AD に菌状息肉症を発症した 2 例

【対策 1】治療については「治すぞ」を参照。注意：本来の tight control は 1 ヶ月で寛解させるので、長期に多く外用しすぎない。

【対策 2】心身医学的アプローチや必要に応じて社会福祉のリソース（ケースワーカー、精神科、訪問看護など）を利用する。難治性小児では母親をほめる；苦手なこと、得意なことを見極め対応する；ノンバーバル（タッピングタッチ、動作法）に介入；ミラクルクエスチョン（治ったら何が良くなるか？ 何をしたいか？）；治す気がない患者には、困っていることはありませんか？ どうして通院しているのか？ と聞く；医師も患者を好きになる

特別講演

順天堂浦安病院眼科、海老原伸行先生：眼を掻くことによる障害（白内障、網膜剥離、円錐角膜）；かゆみに IL-31 が関与；タクロリムスによる抑制、ステロイド緑内障：2 週間後、1 ヶ月、2 ヶ月後に眼圧チェック、眼圧測定は最先端の機械では乳児から可能。

スポンサードセミナー

田辺三菱製薬：京都府立医大、加藤則人先生：“治らない” アトピー性皮膚炎患者の診療に診療ガイドラインは使えるか？

マルホ：杏林大、塩原哲夫先生：治療に難渋したアトピー性皮膚炎：（総論）医師が患者の病態を考えない、他；（各論）発汗が低下、AD では汗が汗管から漏れているのでチクチク痒い、ヒルドイド[®]クリームで発汗を促し AD も改善。

シスメックス：東京大、菅谷 誠先生：TARC の意義、菌状息肉症や DIHS でも高値

アクセーヌ：1. 横浜市大、猪又直子先生：経皮吸収によるアレルギー感作に関して、2. こばやし皮膚科クリニック、小林美和先生、スキンケアを治療補助として有効に活用するために

全体的な感想

治せない AD の特徴は複数の先生のまとめで共通しており、何らかの理由でしっかりした治療ができない患者だと思われます。外用治療を実践できるためには皮膚科医の工夫やアドバイスが必要です。その一方で AD 診療の専門家が十分に治療を行っても「治せない」症例が提示され、社会的、心身医学的問題が多いように感じました。皮膚科医が現在より一歩進んだ心身医学的対応の具体的処方を学ぶことで治せない患者が減るのではないかと思います。

参加していただいた一部の先生方からは、久しぶりにこの様な議論ができた喜んでいただきました。私自身も「治すぞ」も含めてとても興味深い演題が集まり有意義かつ楽しめた 2 日間でした。参加者数は 160 人でしたが、正直なところ、もっと多くの方に同じことを感じ取っていただきたかったところです。企画の段階で考えた様に、“治せない”、“治せた”といった議論を今後も繰り返すことで、AD 診療の問題点が整理されるとともに解決方法が普及し、さらに世代を超えた診療の継続が期待できるものと思われます。少数ですが研修医や医学生が参加し、明日への希望に思えました。

旅 日 和

さいたま市大宮区・自治医科大学附属さいたま医療センター

塚原 理恵子

私は旅行が好きです。日々のモチベーションは、旅行で保たれているかもしれません。旅行ならどこでもよく、国内、国外は問いません。出来ることなら、毎月行きたいところですが、それはなかなか難しいので、今のところ2～3ヶ月おきぐらいでしょうか…。

2016年は、インドから始まり、島根、福島、大阪、東京、ペルー、与論島、ベトナムへ行ってきました。長期休みは難しいので、いずれも弾丸ツアーです。インド、ベトナムは2泊4日で、深夜便で行き早朝便で帰ってきました。国内はいずれも1泊2日、ペルーは5泊8日で行きました。いいところをギュッと詰め込んだ過密スケジュールなので、旅行が終わるとかなりぐったり疲れます。でも、日々できない体験や食べ物を味わえ、気分転換と充実感は申し分ないです。今回は国内旅行の思い出をいくつか書きたいと思います。

島根は2月に行きました。空港は初めて利用したのですが、「出雲縁結び空港」という名前で、なんて粋な空港だと思いました。ここでは出雲大社を始め、パワースポット巡りをしました。おかげで気づいた時には、大量の縁結びのお守りでいっぱいになっていました。現在は玄関に飾っていますが(写真1)、いまひとつ効果の程は感じられず、神様が渋滞しているようです。

大阪は5月に行きました。1日目はUSJ、2日目は吉本新喜劇を見に行きました。USJではお約束のバタービールで口ひげをつくりました(写真2)。USJではコカコーラのネームボトルを作ることができ、「RIEKO」と記念につくりました。大好きなコカコーラに名前が入れられるなんて、大感激でした。今でも飲まずに大切に保管してあります。この旅行はJTBで行ったのですが、USJには開園15分前から入場でき、待ち時間が短縮されるパスがついて、特典がいっぱいで、オススメです。

与論島は10月に行きました。10月といってもとても暑く、なんら問題なく海水浴を楽しめました。以前にも何回か行ったことがあるのですが、海の透明度では日本全国で



写真1 玄関にある大量の縁結びのお守り



写真2 バタービールで口ひげ

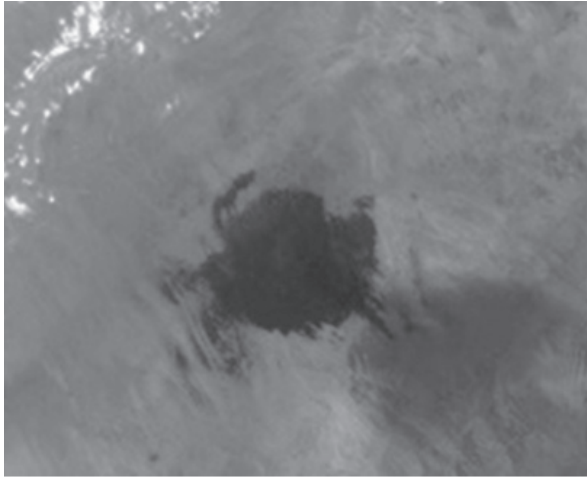


写真3 海ガメに遭遇

も屈指だと思います。それに海といえば沖縄の島々になりがちですが、鹿児島県の与論島は知名度が低く、観光客もあまりいませんのでオススメです。今回の旅行ではカメに遭遇しました(写真3)。自然にいるカメをみて子供のようにはしゃいでしまいました。かなりの時間を水着で過ごしていましたが、これでも皮膚科医のはしくれなので、ばっちり日焼けをシャットアウトしていました。恐らく私が与論島に行っていたと気づいた医局の先生はいなかったはずです！

まだまだ書きたいことはありますが、次回は海外旅行について書きたいと思います。2017年も色々なところに行ければいいなと思っています。

随筆



今、我々は米国の干渉主義外交に強く
影響を受けた世界に生きている。

ーウィルソン、ルーズベルト両米国大統領の爪痕ー

川越市・埼玉医科大学総合医療センター

人見 勝博

本を読んでいると、心の琴線に触れるキーワードに出会うことがある。それが私の関心の方向性を変え、視野を広げていくのだ。4年前、吉村 昭氏の「プリズンの満月」を読んで意識し始めた「GHQ」というキーワードは、今では日本の姿を捉えるための重みのある語だと思っている。今年の新たなキーワードは、「総力戦」「ウェストフィリア体制」「国際法」であった。

京都に原爆を落とすという物騒な題目にひかれて購入したのが吉田守男氏の著作⁷⁾である。吉田氏が米国の開示資料を調査すると、京都が原爆投下の最適候補地と記されていたという。照準点は梅小路機関車庫、私の外祖父が戦時は国有鉄道職員として京都に居たというから、次第によっては私の母は生まれなかったかも知れない。米国は文化財を保護するために京都・奈良・鎌倉などへの空襲を避けた(これをウォーナー伝説という)のではなく、京都に関しては原爆の破壊力評価用に温存、奈良・鎌倉は人口が少ないという理由から空襲被害が極端に少なかったのだ。米国は、正義と人道を掲げる文明国ではなかったのか？ 広島・長崎の原爆のほか、終戦当日まで続けた日本本土空襲による無差別殺戮(死者数：原爆21万人、原爆以外20.3万人)^{12) 185P}に



写真1. 外務省外交史料館別館（東京都港区）

幕末からサンフランシスコ講和条約までの外交史に関する資料を展示している。入り口に吉田茂の略年表と銅像が置かれていた（2016年11月18日撮影）。



写真2. 東京大空襲・戦災資料センター（東京都江東区）

戦火の最も大きかった地に立つ国立・民営の資料館。焼夷弾の原寸模型や空襲と被災者補償に関する資料を展示していた（2017年3月3日撮影）。

米国は道義的問題（モラル）を感じていなかったのか？ ロナルド氏は、当時の米軍の意思決定に携わった人々の言い分を紹介している⁸⁾。概ね、「前線で戦う若い米兵士の命を守るためなら、敵を民間人もろとも抹殺するのは当然である」という感じなのだが、原著者は結論を書かずに判断を読者に委ねている。

民間人が戦いに巻き込まれるようになった一つの要因は、航空機の発達であったことに思いが巡る。空母は戦艦よりも強いという程度の認識しかなかったが、より深刻なのは、航空機は前線で戦う兵士の頭上を飛び越え、銃後の人々を殺傷できることではないか。確かに、航空機が活躍し始めた第一次大戦（1914～1918年）は、国全体を戦いに巻き込んだ総力戦であった。しかし、総力戦は航空機の発達によって初めて登場したものではなく、倉山氏によると、南北戦争（1861～1865年）こそが近代の総力戦の原型という^{16) 153P}。南北戦争において、北軍シャーマン将軍が南部民間人の生活基盤を徹底的に破壊し回った戦法を、米国人は常識的に知っているのだ^{8) 11P、304P}。倉山氏は続けて、「総力戦」は「自らの総力を出し切る」と解釈されることもあるが、本質は「相手の総力を叩き潰す」ことにあるとも述べている。すなわち、総力戦は降伏した時点からが本番で、負けた側に過酷な復讐裁判を行い、自虐教育を徹底し、二度と逆らう気を起こさせないようにする戦いなのである。そういう訳で、南部連合は奴隷制度を支持する悪魔の州連合であったという歴史観が固定化され現在に至る。大東亜戦争（太平洋戦争）後のGHQの日本占領政策は、南部連合に施した政策そっくりである。連合国は未来永劫、日本は悪魔の国であったと語り続けようとするだろう。今も総力戦は続いている。異論を唱えれば「歴史修正主義者」と非難を浴びるが、その言葉自体がプロパガンダ用語^{21) 120P}であることを、我々は知っておいた方がよい。

南北戦争が近代の総力戦ならば、欧州で1300年続いた宗教戦争は中世の総力戦と言えるのではなかろうか。敵との交渉は悪魔との取引行為として忌避する宗教的不寛容の所為で、異教徒を皆殺しにするまで戦争が終結しないことが少なくなかったからである^{16) 81P}。欧州の近代化、すなわち宗教が支配する世界から、人が作った法律で運営する世俗的な主権国家体制（ウェストフィリア体制）が主流になるのは、1648年からである。この年に、欧州最後の宗教戦争「30年戦争」の和約「ウェストフィリア条約」が締結されたのだ^{16) 68P}。差別戦争観・正戦論「あらゆる争いは根絶できる。だから戦おう。」という危険極まりない思想から、無差別戦争観「戦争は無くせない。良いも悪いもない。だからこそ戦争にも守るべきやり方がある。」に認識が改まり、それを共有

する土台ができたのである¹⁶⁾ 82P。その結果、主権国家同士が守るべき仁義として「国際法」が確立し、無意味な殺傷を禁止した「限定戦争」が可能になった。しかし一方、その近代化の波に反発する動きもあった。1620年、独自の信仰生活を求めて新大陸へメイフラワー号で渡った者達がいた¹⁶⁾ 87P。彼らは、善良な原住民（インディアン）を殺戮し、土地を奪い米国の建国者となった。それ故に、米国はキリスト教原理主義の色彩の強い国なのである。民間人の殺戮や東京裁判にみられる国際法に反する行為を正義の名の下に正当化する思想は、米国が非ウェストフィリア型国家であることを示している。

第二次大戦（1939～1945年）も総力戦であった。我々の祖父母が戦った米国の時の大統領、フランクリン・デラノ・ルーズベルト（FDR）の人物像を調べてみることにした。FDRは、支配階級WASP（ホワイト・アングロサクソン・プロテスタント）の家庭に1882年に生まれ、14歳まで学校に通わず家庭教師の教育を受けた。隔離環境で育ったためか、社会に出てから様々な感染症に悩まされた。1921年にポリオによる急性灰白髄炎（小児麻痺）で両下肢が麻痺、自立歩行ができなくなった。血圧が高く、晩年は重いうつ血性心不全を患った¹³⁾ 151P。FDRは本を読まなかったが¹⁴⁾ 30P、名演説で聴衆を魅了することに長け、1933年から1945年4月に63歳で死去するまで第32代大統領職にあった。国際連盟設立の提案者、ウッドロー・ウィルソン第28代米国大統領を信望し、第二次大戦終結後には連合（国際連合）の長になることを望んでいた¹³⁾ 18P、¹⁴⁾ 289P。死因は明らかにされていないが、左上眼瞼に生じた悪性黒色腫の転移説がある（皮膚科医師Ackermanの見解有り¹³⁾ 106P）。最後の16か月間は容態が悪く、医師から1日の仕事量を4時間に制限される有様で、死去2か月前のヤルタ会談は、スターリンの独壇場であったという¹⁴⁾ 283P。会談に同席した英国首相には発言力がなく、会談の結果は必ずや不幸な結果を生むだろうとの当時の予感を、チャーチル自身が回想録に綴っている¹⁴⁾ 287P。FDRは、ロシアに国際連合への加盟と対日参戦を促すために、3票分の投票権、東欧と満州・大連・旅順・千島列島・南樺太の譲与を約束したのである¹³⁾ 245P、¹⁴⁾ 203、290P。そうして、東欧の1億の民が自由を失い、その4年後には、（共産主義者の登用を拒んだがために）米国の援助を打ち切られていた蒋介石¹⁵⁾ が毛沢東に敗れ、6億の民を有する共産主義国（中華人民共和国）が建国された¹⁴⁾ 286P。結果的に第二次大戦の勝利者と言えるのは、共産主義者と日本軍の南進で独立する機会を得た東アジアの国々くらいではなかろうか。皮肉なことに京都への原爆投下を思いとどまらせたのは終戦間際のロシアの台頭であった⁷⁾ 143P。原爆投下目標選定委員が、戦後世界において日本がロシア側に付きかねないこと、人道主義を掲げ世界の指導者として君臨する米国の名を汚すことを恐れたのである。

そもそも第二次大戦の発端は、ベルサイユ条約（1919年）によって独立したポーランドが領有する港町ダンツィヒ（90%はドイツ系住民で構成）のドイツへの返還要求に過ぎない。FDRと同時代を生きた野党共和党の重鎮こと連邦議会下院議員ハミルトン・フィッシュは、話し合いで十分に妥協点を見出せる問題であったと述べている¹⁴⁾ 170P。ウィルソン大統領の提唱した民族自決の原則に沿えば、ドイツの要求に一理あったのである。ドイツの望むポーランド側の平和的解決の動きを阻んだのは、英仏であり、実にその背後には有事の際には米国の欧州参戦を約束していたFDRが居たのである¹⁴⁾ 171P。米国民には、英仏がドイツに宣戦布告した理由が分からなかった。ダンツィヒがどこにあるのかも知らなかった¹⁴⁾ 74P。それ故に欧州参戦に反対する米国民の割合は、ドイツ軍のポーランド侵攻時で96%、（その後、散々国民の不安を煽るプロパガンダを流し続けて¹⁴⁾ 58P）真珠湾攻撃直前でも83%あったのである¹⁴⁾ 74P。そんな世論の下で、米国民を参戦に一致団結させた原因は、日本の真珠湾攻撃なのだが、連邦議会におけるFDRの対日宣戦布告要求演説に続くフィッシュの容認演説¹⁴⁾ 7Pも大きかったと思われる。フィッシュは、それまでFDRの干渉主義外交をことごとく妨害してきた政敵であった。その反FDRの急先鋒が参戦を容認したことで、「アメリカ第一主義委員会（参戦に反対する非干渉主義団体）」の活動が停止してしまっ

たのだ。しかし、当時のフィッシュは、ハルノートの存在やFDRが日本からの大幅な譲歩や会談要求を悉く拒んでいたことを知らなかったという^{14) 205P}。後に真相を知り、米国の参戦を企てるFDRに自身が利用されたこと、その不要な戦争の結果、戦中・戦後にわたり世界中の人々が不幸に陥ったことを悟るのである。合衆国建国200年目の年(1976年)に著した彼の本¹⁴⁾には、FDRに対する激しい怒りと自責の念が感じ取れる。

米国陸軍研究所レポート²²⁾は、日米開戦の責任の一半にFDRの稚拙な対日外交を挙げている。FDRは、ダンツィヒ問題にせよ、日華事変にせよ局地戦のうちに和解を仲介する立場と力がありながら、逆に戦禍を世界中に拡大させた。倉山は、米国歴代大統領の世界秩序への貢献度を5点満点で評価している²⁰⁾。モンロー主義(非干渉主義)から干渉主義へと舵を切り、独善的外交で世界秩序を滅茶苦茶に破壊したウィルソンをマイナス30点(今の人類の不幸の元をただせば、その最低9割はこの人物に行き着くという)、ウィルソン路線の焼き直しで世界の半分をスターリンに与えたFDRはマイナス20点である。ここまで本を読んだ時点で、丁度2016年11月の米国大統領選挙直前であった。新聞社の支持がヒラリー57社 vs. トランプ2社であったにも関わらず、トランプが勝利した。渡辺氏は、選挙を睨んだヒラリーにみる中東地域に対する干渉主義外交の反動(報復テロ)に米国民が辟易している事を一つの理由に挙げている^{21) 6P}。一方、トランプの掲げる米国第一主義は、世界の警察としてよりも、自国の国益を優先させるという意味で、保守派の支持が集まったという。グローバリズム vs. ナショナリズム、干渉主義 vs. 非干渉主義の大統領選挙でもあった。これからどうなるのかは分からないが、私は米国を見直している。

「カエルの楽園²⁶⁾」という「永遠のゼロ」の作者、百田氏の小説(フィクション)がある。ある日、平和を愛するツチガエルの楽園・ナパージュ(Japanの逆読み)の地に凶暴なウシガエルの群れが進出し大騒ぎになる。しかし、ナパージュのリベラル思想を持つカエルたちの活躍によって戦いが回避されるというストーリーである。日本の未来予言的な展開に吐き気を催したが、結末が気に入り最後まで一気に読まされた。なぜ百田氏は、主人公をカエルにしたのか? 恐らく、井の中の蛙と言いたいのだろう。倉山氏は、今の日本人は世界で何が起きているのか、どのような歴史をたどって現在のような国際政治の「レジーム」になったのかについて、無知すぎるといふ^{16) 196P}。「国会議員に読ませたい 敗戦秘話(秀道広 広島大皮膚科教授の意外な一面あり^{12) 206P})」などという本まで出版される由縁である。村山談話²³⁾も歴史を知らない首相の曖昧な所感の産物である。それ故、2015年の段階でも「侵略」「植民地支配」「アジア諸国民に苦しみを与えた」という談話の文言は、一体どのような具体的行為を指しているのかという質問に、現内閣や外務省は回答できないといふ^{24) 110P}。いくら安倍政権が強い権力を持ち、憲法改正や歴史問題を議論しようとしても、無知な国会議員や国民は、新聞社・テレビ局の言説に流されるだけであろう。国民一人一人が、世界的視野(3次元的な意味の他、時間軸的な検証も含めて)を広げなくては現実が捉えられないし、その現実に向き合えば、世界の流れに対応できない。トランプ大統領を選んだ米国は変わろうとしているのだ。以上、米国の歴史にも目を向けてみて考えたことである。

◆2016年1月～2017年3月に読んだ本(読んだ順)

私的評価: ★5 泣いた、★4 優、★3 良、★2 可、★1 ゴミ

1. 「ニューギニア南海支隊 モレスビーの灯」三根生久大(2006年) ★3
2. 「日米開戦 陸軍の勝算」林 千勝(2015年) ★4
3. 「戦う日本漁船」大内健二(2011年) ★3
4. 「戦時商船隊 輸送という多大な功績」大内健二(2005年) ★3

5. 「英国人記者が見た連合国戦勝史観の虚妄」 ヘンリー・S・ストークス (2013年) ★3
6. 「特攻と遺族の戦後」 宮本雅史 (2005年、2008年 文庫化) ★3
7. 「京都に原爆を投下せよ」 吉田守男 (1995年) ★4
8. 「アメリカの日本空襲にモラルはあったか」 Ronald Schaffer 著、深田民生 訳 (1985年 原著、1996年、2007年 新装版) ★3
9. (学研まんが 世界の歴史) アメリカ独立・南北戦争とリンカーン大統領 ムロタニ ツネ象 (1993年) ★3
10. 「アメリカ南部連合史」 Clement Eaton 著、増田育彦 訳 (1954年 原著、2016年) ★2
11. 「歴史戦は『戦時国際法』で闘え 侵略戦争・日中戦争・南京事件」 倉山 満 (2016年) ★3
12. 「国会議員に読ませたい 敗戦秘話」 産経新聞取材班 (2016年) ★3
13. 「ルーズベルトの死の秘密 日本が戦った男の死に方」 Steven Lomazow、Eric Fettman 著、渡辺惣樹 訳 (2009年 原著、2015年) ★3
14. 「ルーズベルトの開戦責任 大統領が最も恐れた男の証言」 Hamilton Fish 著、渡辺惣樹 訳 (1976年 原著、2014年) ★5
15. 「共産中国はアメリカがつくった」 Joseph McCarthy 著、副島隆彦 監修 (1951年 原著、2005年) ★3
16. 「歴史問題は解決しない 日本がこれからも敗戦国でありつづける理由」 倉山 満 (2014年) ★4
17. 「GHQ 焚書図書開封 12 日本人の生と死」 西尾幹二 (2016年) ★3
18. 「日本、この決然たる孤独 国際社会を動かす「平和」という名の脅迫」 西尾幹二 (2016年) ★3
19. 「通州事件 目撃者の証言」 藤岡信勝 (2016年) ★3
20. 「大間違いのアメリカ合衆国」 倉山 満 (2016年) ★3
21. 「アメリカの対日政策を読み解く」 渡辺惣樹 (2016年) ★4
22. 「アメリカはいかにして日本を追い詰めたか」 Jeffrey Record 著、渡辺惣樹 訳 (2008年 原著、2013年) ★3
23. 「『村山談話』とは何か」 村山富市、佐高 信 (2009年) ★1
24. 「村山談話20年目の真実」 和田政宗、藤井実彦、藤岡信勝、田沼隆志 (2015年) ★3
25. 「いまなお蔓延る WGIP の嘘」 関野通夫 (2016年) ★3
26. 「カエルの楽園」 百田尚樹 (2016年) ★3

豆知識

角質増殖型白癬は何故難治か？

足底の角質層は厚く、その turnover time が3ヶ月と長いので、外用剤の浸透性が悪い上、長期間の外用期間を要する。また爪白癬と同様に角質増殖型白癬の原因菌の殆どは *Trichophyton rubrum* で、この菌が生体の免疫反応を巧妙に回避できる抵抗性を持っていることも難治化させている原因と考えられる。



We are Orange ! We are Omiya !!

さいたま市大宮区・自治医科大学附属さいたま医療センター

梅本 尚可

国家公務員の娘として日本各地を転々とした私は、「出身はどこですか？」という質問には、いつも困っていました。出生地も本籍地も親の所在地も、自分には馴染みがなく出身地、故郷と思えるところではありませんでした。若いときはそれを寂しいと感じたこともあったように思います。

自治医科大学出身の夫が義務年限を終えて自治医科大学附属さいたま医療センターに戻るのを機に大宮に居を構えました。それ以来15年以上も大宮に住んでいます。これまでに住んだ場所のなかで最長です。娘たちは地元の保育園～高校に通い、大宮の人間になりました。そして娘たちのおかげで、私も地元の友人、いわゆるママ友もできました。それでも「いつかは大宮を離れるだろう。」と借家生活を続けていましたが、4年前に大宮駅近郊のマンションを衝動買い。ついに大宮に根を下ろした感があります。

前置きが長くなりました。趣味のサッカー観戦……大宮アルディージャ応援の話です。私はサッカーに全く興味はなく、日本代表の試合をテレビでたまに見ても、それほど面白いスポーツとは思いませんでした。でも「有名な埼玉スタジアム2002が近所にあるから、一度は行こう。」という野次馬根性で浦和レッズのホームである埼玉スタジアムへ試合を見に行き、その勢いで大宮アルディージャのホーム NACK5 スタジアムに大宮 vs. 川崎フロンターレ戦を見に行きました。結果は惨敗でした。それなのに、私はそこで大宮アルディージャに恋してしまいました。

大宮アルディージャは世間一般には、弱くて影の薄い、パツとしないチームとされているでしょう。存在すら知らない人が多いかもしれません（私もその一人でした。）。確かに2005年にJ1に昇格して以来10年間ずっと残留争いに参加、その残留力も枯渇して2014年はJ2 降格、弱いチームとされても仕方ありません。それに派手な選手も在籍せず、私の大好きな家長昭博選手はサッカー好きには有名ですが、その家長選手も長らく日本代表になっていません。さらに不運なことに、同じさいたま市に浦和レッドダイヤモンズという日本最多の熱狂的サポーターを有する巨大チームがあります。大宮区内でさえ、アルディージャファンよりレッズファンの方がずっと多いのです。実力も人気もかなわない偉大な兄に押しつぶされる弟……。

それでも浦和レッズより大宮アルディージャに心惹かれた理由の一つは、アルディージャのホームである NACK5 スタジアムの雰囲気の良いがあるかもしれません。NACK5 スタジアムは日本一長い氷川参道の先にある日本最古のサッカー専用スタジアムです。客席数はわずか15,600人、ピッチと客席はとても近く、選手の声どころか汗まで届きそうで、選手の必死さや悔しさ、怒り、喜びも客席に伝わります。スタジアムにはテレビ観戦ではわからない「気」が満ち溢れていて、選手とファンはその「気」を共有します。1点入ればみんなで喜び、勝てばみんなで狂喜乱舞。点が入って勝つのが当たりまえの強豪チームと違って1勝に重みがあります。

アルディージャはJ2に陥落した悔しさをバネに、1年でJ2優勝、J1昇格を達成しました。優勝、昇格を決めた試合は12月の雨の日でした。濡れて（NACK5 スタジアムは客席に屋根がありません。）寒い上に、0-2と相手チームにリードされた時にはつらくて帰りかけました。でも「選手を信じよう！」そう思い気合を入れ直して応援を続けた結果、残り20分で一挙に3点入れて逆

転！ たぶん自分の大学合格より嬉しかったです。

J1 復帰を果たした今シーズンをアルディージャは5位という成績で終わりました。アルディージャにとっては驚きの好成績で、心踊るシーズンを過ごしました。ただ、ほとんどのファン、そして選手達も心の中では「実力以上の順位だ。」と感じているはずです。まだまだ首位の浦和レッズとの差は大きく、まだまだ挑戦は続きます。いつか大宮アルディージャが J1 優勝を成し遂げる日が来ると信じて応援し続けます。そして、大宮アルディージャを応援しているとき、私は大宮の人間だと実感できるのです。



今はいない「大宮の王様」家長昭博選手（偽物）と塚原先生と

「かゆみ」のプチ情報

芸術でもなんでもありません。

ヘヴィメタルの巨匠・Mötley Crüe (モトリー・クルー) の「Too Fast For Love」の歌詞

“Dream machine, so down cool she can turn on the night” が

“蕁麻疹、それは苦しくたまらない！”と聞こえます。暇な方は検索ください。

https://www.youtube.com/watch?v=A-TIUIZmGxU&list=PLLFxufQM_PMvSRoYnREzI9st62q_PdhOb

3：25の曲の1：00前後の部分です。

pen name

荒間 宋介

爪立てて 掻きむしれども 我が痒み
楽にならざり ちっと脛見る

pen name

皮脂乾掻木

「かゆみ」であいうえお作文風川柳

・疥癬は夜かゆい。

か：かゆすぎて

ゆ：夢の中でも

み：milbe+

・皮膚科を受診しよう。たとえ部位が陰部でも。

か：掻くよりも

ゆ：勇気を出して

み：診せに来て

・お年寄りはやっちゃうんですね。アロエとかビワの葉とか。

か：かぶれには

ゆ：ゆめゆめ避けよう

み：民間療法

pen name

荒間 宋介

●孫の手という言葉

「孫の手」という背中を掻く道具がありますが、本来は孫でなく、「麻姑（まこ）の手」です。麻姑というのは中国の爪を長く伸ばした仙女の名前で、麻姑に掻かれたらいかにも気持ち良さそうです。思い通りに物事が進むことを「麻姑搔痒」、ちなみにその逆の意味が「隔靴搔痒」です。背中の痒い湿疹に手が届かず軟膏が塗れない独居老人が増えましたが、かゆいところに手が届く「軟膏塗りちゃん」という便利な道具が販売されています。

●瘙と痒と恙という字

瘙痒の瘙も痒もかゆいという意味ですが、瘙のやまいだれに蚤（のみ）は分かるのですが痒の方はやまいだれにどうして羊かという疑問が湧きます。羊は文字の形の如くヒツジの象形文字ですが、中国では頭にできる瘡（かさ）のことを「ヨウ」と呼んでいました。ヨウという音を表すパーツとして羊が採用され、頭に瘡ができるとかゆくなりますが、それで痒という字ができあがった様です。恙虫の恙、これは羊と心を組み合わせた字です。この羊は痒を略した意味で使われており、病（痒）を憂う心という意味で病気などの災難を表す言葉が恙です。恙無くという言葉が恙虫病に罹らず無事に過ごすということに由来するというのは誤りで、恙虫が災難を起こす虫だと分かるのは、恙無くという言葉が生まれた後のことです。

●痒み止めの話

痒み止めといえばムヒ、ウナコーワ、キンカンが思い浮かびます。

ムヒは、比べるものがないほどすぐれた効き目、唯一無比の無比に由来。

ウナコーワのウナは、至急電報のウナ電のウナに由来し、塗ったらすぐ効くという即効性を意味します。キンカンは金冠堂という社名由来です。

これは以前に皮膚科医会誌に書いたものですが・・・

●患者との会話

1) 「この蕁麻疹、酒飲んだらマズイですよね？」

「中途半端に飲むのは止めた方がいいですね。飲むんだったらカユミを忘れる程飲むことです。」

2) 「先生、体中、こんなに掻き壊しちゃって、アトピーでしょうか？」

「アトピーというより、これじゃ、カキピーといった方がいいでしょうね。」

「……………」

かゆみ大喜利

治らない痒疹の痒みとかけまして、
パールハーバーと解きます。
その心は・・・かいせんだ！…。

「ああそうだったかー…ってありませんか。
でもこれで治せて一安心。」

疥癬の痒みとかけまして、
大イビキとときます。
その心は・・・夜中にかく

「さらに、続くと隣で寝ている人も夜中に
起きてしまいます。」

pen name
it's CH

3)「痒そうですね？」

「痒そうだと？ すごく痒いんだよ。病人の気持ちにな
って『つらいですね』とか気の利いたことをいって
みろていうんだ。先生、修業が足んねえ。」
大工の棟梁に説教され、どちらが先生か分からず。

4)「秋口から全身がカサカサでとてもカユインですけ
ど原因は内臓ですかね？」

「難しいことは言わないで、外の枯れ木を見て
ごらんなさい。年取ったらあれとおんなじ。」

石田 卓

☆心に残っている

「かゆみ」についてのひとこと☆

「ひとかき1週間」

搔くとせっかく良くなったのに元に戻っちゃうよと
いう脅し文句。

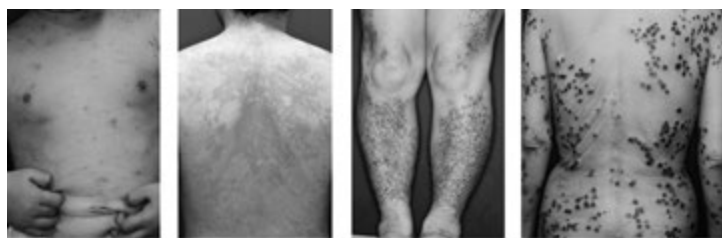
「痒ければ掻きなさい、痛くなるまで搔くと痒くなく
なるよ」

え～と思ったけれど、虫さされや蕁麻疹にはあては
まるかも。

「このあと良くなれば痒くなくなるから、
とりあえず今は思っきり搔いていいよ」
自信があれば言ってみよう。

秋元 幸子

かゆみコンテスト・・・ 誰が一番かゆい？

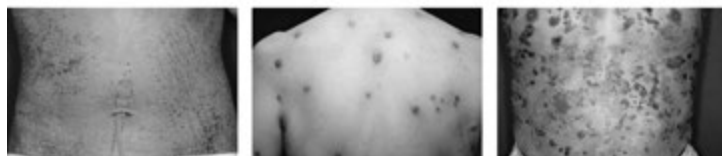


疥癬

蕁麻疹

アミロイド苔癬

後天性穿孔病



アトピー性皮膚炎

結節性痒疹

類天疱瘡

寺木 祐一

問題です。次の文章を訳してみてください。

<1> I have an itch on my back.

<2> I have the itch.

<3> I have an itch to travel.

<1>は「背中が痒い」、<2>は「疥癬にかかっている」、
<3>は「旅行がしたくてうずうずしている」との意味
だそうです。

Scabies はラテン語の roughness や itch を語源として
いる由緒正しい？（＝ずっと人々を悩ましている）
言葉で、seven-year itch とも言われます。

また、マリリンモンロー主演の“The Seven Year
Itch”という有名な映画があるそうで（本誌編集長石
田先生のご指摘）、この itch は<3>の強く落ちつかない
欲求（a strong restless desire）を意味し、映画のタ
イトルは日本語で「七年目の浮気」と題されています。

皆さん、痒いところはないですか？ 私のように
7年目をずっと過ぎてしまうと、itch はありま
せんが roughness だけが残っています。

pen name
ky（空気が読めない）

次号のお題「け」

応募方法

- ・お名前
- ・ペンネーム
- ・所属先
- ・ご連絡先
- ・作品

<送付先>

メール送付先

kaihou@saitamahifuka.org

郵送先

埼玉県医師会内

埼玉県皮膚科医会 会報編集委員会
宛て



独立行政法人国立病院機構 埼 玉 病 院（和光市）

皮膚科 医長
中捨 克輝

国立病院機構埼玉病院は昭和16年に白子陸軍病院として開設され、戦後に国立となった病院です。平成16年に独立行政法人化、平成22年に新病院棟が完成し病床数350床の急性期病院として稼動しています。平成30年度には200床増床して550床となる予定で埼玉南西部医療圏（朝霞市、志木市、和光市、新座市、富士見市、ふじみ野市、三芳町）の中核病院のひとつとして期待されています。病院のある埼玉県和光市は板橋区、練馬区にも隣接しており、両区からの受診者も多く受け入れています。

同医療圏の皮膚科診療についてご紹介しますと、皮膚科の常勤医師が勤務する病院は4つあり、うち入院診療も含め受け入れ可能な病院は実質的に当院を含め二つしかありません。埼玉南西部医療圏で70万人、板橋区・練馬区の東側を含めると約100万人の人口をカバーする必要があることを考えると、未だ十分な体制が整っているとは言えない状況です。医療圏における診療実績を見ても人口に比して患者数は少なく、医療圏外の近隣の医療機関に患者さんが流れている現状があり、今後の体制の拡充が必要と思われました。

筆者は平成28年4月より慶應義塾大学医学部皮膚科学教室の命により当院に赴任し、同大学の関連病院として立ち上げを行うことになりました。簗野倫名誉教授が院長を勤められた時期もあって慶應皮膚科とは縁のある病院ですが、診療は長らく非常勤医派遣による支援にとどまっていました。

平成29年1月現在、皮膚科は筆者と慶応から派遣された非常勤医師（清水智子医師ほか2名）の体制で診療を行っています。先に述べましたとおり、この地域の皮膚科診療で最も必要なことは「入院、手術が必要な症例、重症皮膚疾患、診療所で治療が難しい皮膚疾患を引き受ける受け皿を地域内に作ること」と考えているため、地域で信頼される中核病院となるべく診療の拡充に取り組んでいるところです。マンパワーの関係で当面は完全紹介予約制での外来診療となります。その分手術や入院、難治症例の受け入れには注力したいと考えておりますので、近隣の医療機関の先生方にはご迷惑をおかけいたしますがご理解の上ご協力を賜れば幸いです。



具体的な診療内容についてですが、大学の関連病院として教育機能も充実させる必要があると考え、なるべく皮膚科の診療全般において充分に対応できるよう努力したいと考えております。入院、手術、悪性皮膚腫瘍、重症皮膚疾患、レーザー治療（ルビーレーザー、CO₂レーザー）、乾癬に対する生物学的製剤、ボトックス注射など地域の先生方がお困りの症例は何なりとご紹介いただければと思います。また、レーザー機器の拡充や新たな取り組みも積極的に行っていきたいと考えておりますので、先生方にはどうぞご指導の程宜しくお願い申し上げます。



済生会川口総合病院（川口市）

皮膚科 主任部長
高山かおる

当院は川口市西川口に位置しており、京浜東北線西川口駅から徒歩8～10分程度、川口駅行きのバスにのれば5分ほどで到着する場所に位置しております。一般病床424床を有する急性期病院で、川口近隣の地域の中にあって中核病院と認知されています。また地域での市民公開講座なども定期的に数多く手がけています。そして最大の特徴は社会福祉法人として「恵まれない人々への施薬救済」にのっとり、無料低額事業や生活困窮者支援事業を進め、ホームレス、刑余者、難民らの人々への健診や医療の提供を積極的に行っていることです。

医師130名、初期研修医24名、看護師515名など総勢897名超の職員にて地域の救急医療、高度先進医療を含め総合病院としての機能を発揮しています。その中に皮膚科はありますが、常勤医は2名、形成外科非常勤1名が勤務しております。病院の医師はわたくしたち皮膚科の所属する東京医科歯科大学の医局からや、女子医科大学、順天堂大学、新潟大学など様々な施設から派遣されており、研修医もフルマッ



マッチで毎年各地から集まっていますが、各科の連携もよく忙しい中でも充実して楽しそうに働かれている先生が多い印象です。メディカルの方々も優しく親切で患者様やスタッフ同士対応してくれますので、大変働きやすい職場だと思います。

皮膚科は常勤医2名ですので、緊急処置を要する最重症は診ることが難しいですが、そうでない限り幅広く診療しております。各科からの依頼も多くいただきますが、コンサルテーションに真摯に答えていくことが病院内での皮膚科医の役割の一つと考えて応じています。一般診療の中では昨年春から導入したエキシマライトによる紫外線療法や、疣贅のモノクロ酢酸外用療法、円形脱毛症のSADBE療法、おむつ皮膚炎に対するアズノールCMC軟膏による加療など難治性の場

合にも対応できるようになっています。また専門性を生かして接触皮膚炎に対するパッチテストや日常の生活指導を行ったり、巻き爪・陥入爪に対する各種治療や看護師によるフットケアの他、靴外来も開いており、埼玉県のみならず遠方からも患者様がいらしています。

また東京医科歯科大学から派遣していただいている形成外科の医師が1週間に一度手術室で手術を担当してくれていますので、植皮や皮弁を必要とするような手術でもお引き受けすることが可能です。抗癌剤による化学療法は現在当科では行っていないですが、腫瘍科があり、転院にともなう継続療法でしたら腫瘍科の先生と相談しながらお引き受けできます。

この地域の医療を充実させるのに少しでも貢献できればと思っておりますので今後ともどうぞよろしくお願いいたします。

豆 知 識

炎症性粉瘤の多くは粉瘤の壁が破裂、角質が異物となって炎症を起こしたもので、一般的に抗菌薬は無効である。

炎症がおさまってから手術といって抗菌薬を処方されたというケースに出会うが、大いに疑問である。炎症が治まり壁が癒着してしまうと手術はむしろ面倒で、炎症がある内が手術の絶好の機会で、くり抜き法などでも容易に壁がきれいに剥がれ手術がしやすい。



クリニック紹介

春日部市・さくら皮フ科
横井 清

今回「クリニック紹介」の原稿が少ないので投稿するように仲会長に言われ、自分のクリニックがどういうものか改めて考える機会になりました。当院は、平成11年（1999年）に開業し、自分でも驚いてしまいましたが、もう18年も経過してしまいました。他のクリニックの先生方とは違い、特に理念理想に燃えて開業したわけではなく、平成8年ころから大学の皮膚科入局希望者が多くなって、毎年10人近くにも達するようになりました。医局でボーとしていると風当たりが強くなってきたので、「そろそろ」と開業いたしました。

クリニックの名前は、「春日部皮膚科」にしようと思い（コンサルタントが）保健所に登録に行ったら、「すでにこの名前は使われています」と言われてしまいました（矢島純先生がすでに「春日部ヒフ科」を開業されていました）。勤務先にコンサルタントから電話があり、すぐに違う名前を決めて下さいと言われ、当時近くにさくら銀行があったため、案内をする時に便利かと思い「さくら皮フ科」と行き当たりばったりと決定しましたが、その銀行もすぐに名称が変わってしまいました。

当院の特徴として強いて挙げるとすれば、

- ・ 駅から近い（これに尽きるかもしれません）：春日部駅西口の改札を出て約20歩でテナントビルの入り口に到着できます（写真1）。しかし、現在の車社会では、駅前で駐車場が確保できないのが大きな欠点かも知れません。
- ・ 複数の医師がいる：月曜日と木曜日には形成外科専門医による手術が可能です。診察は各ブースで行います（写真2）が、カルテを書くときは同じ机で並んで書くため、ふと疑問に思ったことや新しい知識が本を読まずに解説してもらえるメリットがあります。専門医試験前後の先生はよく勉強されていますし、常勤病院での稀な症例や重症例を教えてください。また、悪性腫瘍を少しでも疑った場合ダーモスコピーをみながら意見を求めることができるので、夜中



写真1 右が春日部駅西口の改札、左が当院が入っているビルです



写真2 診察は各ブースで行います

にうなされて起きることが少なくなりました。

- ・医療機器が多い：炭酸ガス、ルビー、ヤグ、アレキサンド、ダイの各種レーザー、全身および局所型ナローバンド、フォト RF（オーロラ）などがありますが、十分に使いこなせていないのが問題です。

駅のすぐ近くという場所がら、比較的不特定多数の患者さんが来院され、時に重症例や稀な疾患に遭遇しますが、獨協医科大学越谷病院、自治医科大学付属さいたま医療センター、春日部市立医療センター、春日部中央総合病院の先生方に助けていただきながらどうにか切り抜けています。

春日部は、埼玉県多くの都市と同様に東京のベッドタウンですので、昼間はお子さんが多く、午後の始まりは幼稚園状態になることもあります。子供が多いと、床や壁は汚くなるし鳴き声は響きますが、屈託のない笑みを浮かべている子供の近くにいることができるという、医師としての or 皮膚科医としての最大の特権を日々享受しています。

豆知識

Elsberg 症候群とは？

Elsberg 症候群とは狭義には、性器ヘルペス感染に伴う仙髄神経根炎に伴った尿閉を指す。広義の Elsberg 症候群は尿閉を伴う無菌性髄膜炎全般を指す。仙骨部の帯状疱疹でも膀胱直腸障害を伴い尿閉を起こしますが、これも広義の Elsberg 症候群。

入会あいさつ



新宿区・東京女子医科大学・皮膚科
常深 祐一郎

はじめまして、東京女子医科大学皮膚科の常深祐一郎です。女子医大は新宿にあるのになぜか？ と申しますと、以前ラフレさいたまで行われました講演会にお招き頂いた際、「実は私、すぐそこの大宮に住んでいます」とお話ししたところ、座長の今泉俊資先生から「定期的に勉強会しているのでは是非」とおっしゃって頂き、後日ご案内をいただきました。そこで勉強会に出席し、加入させていただいた次第です。会長の仲 弥先生のご子息は我が女子医大の医局で活躍中であり、また、私が専門としている真菌の領域では仲先生は大先輩であり、かなり前からご指導いただいています。他にもたくさん存じ上げている先生方がいらっしゃいます。外勤先も2カ所が埼玉県内です。非常にご縁があります。現在は転居して与野本町駅近くに住んでおりますが、やはり地元です。埼玉県皮膚科医会の仲間入りをさせていただきうれしく思っております。どうぞよろしくお願い致します。



川越市・埼玉医科大学総合医療センター・皮膚科
福田 知雄

平成28年4月1日付で、伊崎誠一教授の後任として埼玉医科大学総合医療センター皮膚科に着任致しました福田知雄と申します。

私は昭和62年に慶應義塾大学医学部を卒業後、慶應義塾大学医学部皮膚科、杏林大学医学部皮膚科（21年間）、独立行政法人国立病院機構東京医療センター皮膚科を経て、今回縁あって埼玉医科大学総合医療センターへ赴任して参りました。川越には慶應時代の学位取得時直接指導を受けた仲 弥先生がおり、埼玉県皮膚科医会には自然に入らせて頂きました。何が出来るか分かりませんが、埼玉県皮膚科医会を盛り上げていく一員になりたいと考えております。埼玉県とは元々縁があるようで、生まれも育ちも台東区三ノ輪（都内で都電が唯一走っている下町です）ですが、祖父は埼玉県羽生市の出で、家のお墓も羽生市にあります。得意分野は皮膚真菌症、皮膚腫瘍、皮膚外科です。未熟者ですが、今後ともご指導、ご鞭撻の程宜しくお願い申し上げます。

入会あいさつ



伊奈町・伊奈病院・皮膚科
濱出 洋平

今年度より伊奈病院皮膚科に勤務し、埼玉県皮膚科医会に入会させていただきました。富山出身で、平成21年北海道大学を卒業し皮膚科医局に所属、北陸新幹線の恩恵を受けて実家から近くなった当地に参りました。

簡単ですが当科の診療体制についてご紹介いたします。常勤1名、非常勤1名（予約外来のみ対応）のため、受け入れ困難な症例については適宜ご紹介させていただいております。

今後ともよろしくお願い申し上げます。

①検査・処置等

フェノール法、腋窩多汗症のボトックス、金属パッチおよびパッチテストパネル（S）、紫外線はTARNAB（ターゲット型ナローバンドUVB治療器）のみ、エピペン処方可、皮膚生検などが可能です（美容・レーザーなし）。

②手術

術者1名で対応困難・全身麻酔・術後の傷跡を気にする方・複雑な形成を要する症例などは他院をご紹介させていただきます。

③入院

夜間休日は皮膚科医が対応できませんので、呼び出しや急変がほばない方のみ受け入れております。



三郷市・三郷中央総合病院・皮膚科
上松 ふみ

この度埼玉県皮膚科医会に入会させていただきました三郷中央総合病院の皮膚科の上松ふみと申します。

もとは埼玉県には縁がなく、東京女子医大にて皮膚科専門医を取得いたしましたがご縁がございまして一年半前より当院に勤務しております。

当院は数年間皮膚科医が不在で、私が入職して外来を再開しましたので、他科併科の患者様には大変便利になったとおっしゃっていただいております。

とは言え皮膚科医は私一人ですので、日々一人体制での診れる疾患の限界と自分の至らなさにもがく状態です。

大学をはじめ近隣の先生方にはご紹介させていただいたり、またご紹介いただくなど大変お世話になり、この場をお借りして御礼申し上げます。今後も地域医療にお役に立てるよう努力していきたいと思っておりますので宜しくお願い申し上げます。

入会あいさつ



さいたま市大宮区・自治医科大学附属さいたま医療センター・皮膚科
宮田 聡子

所属：自治医科大学附属さいたま医療センター・皮膚科副手

★2016年8月より、木曜日午後の皮膚科再診を担当しております。

出身：北里大学医学部医学科（平成3年卒）

＜専門分野＞

- ・皮膚感染症 & 熱帯皮膚病
- ・血管炎、循環障害
- ・スラム街やジャングルでのフィールドワーク

＜ひとこと＞

- ・皮膚科医になって、それなりの時間が経ちましたが、その奥深さに益々魅了されています！
宜しく願い致します。



さいたま市北区・木根淵医院
木根淵 明

この度は埼玉県皮膚科医会に入会させていただき、誠にありがとうございます。
います。

私は平成9年に獨協医科大学を卒業後、同大学の皮膚科に入局しました。研修終了後は、栃木県の足利赤十字病院に派遣となり、一人医長として様々な経験をさせていただきました。大学病院に戻った後は医局長を務め、平成17年に大学病院を退職しました。

その後、さいたま市に開業している父のもとで働き、患者さんとのコミュニケーションの大切さを学びました。

平成27年12月に父が他界し、2代目の院長として診療を行っています。患者さんや職員からも慕われていた父のような医師を目指し、埼玉県の地域医療に貢献できるよう努力して参りたいと思います。

今後ともご指導のほどよろしくお願いいたします。

入会あいさつ



所沢市・圏央所沢病院・皮膚科
早稲田 豊美

この度は埼玉県皮膚科医会に入会させていただき誠にありがとうございます。
います。

私は昭和55年に防衛医科大学校を第1期生として卒業し、防衛医科大学校・自衛隊中央病院にて初任実務研修医、3年目より陸上自衛隊練馬駐屯地医官、5年目より防衛医科大学校皮膚科学教室専門研修医、専門研修終了・専門医取得後は自衛隊中央病院に医官として赴任し、皮膚科部長兼ねて第5外科部長（形成外科部長）の職を最後に長い自衛隊生活を終えました。

現在、所沢市の社会医療法人至仁会圏央所沢病院および関連医療施設であるよしかわクリニックにて皮膚科診療に携わっております。埼玉県の地域医療のために今後とも頑張ってゆく所存ですので、なにとぞよろしくお願いいたします。



日高市・埼玉医科大学国際医療センター皮膚腫瘍科・皮膚科
中村 泰大

この度は埼玉県皮膚科医会に入会させて頂きありがとうございます。

私は1997年に筑波大学を卒業後、母校の皮膚科に入局ののち、1999年から3年間虎の門病院皮膚科で皮膚腫瘍・皮膚外科を主に研修しました。研修終了後大学院に進学し、角化細胞の転写因子の研究で学位取得後、2007年より母校の皮膚科講師として6年間皮膚腫瘍診療に従事してきました。2013年4月に埼玉医科大学国際医療センター皮膚腫瘍科・皮膚科に赴任させて頂きました。

当院は、がん・心臓病・脳卒中を含む救命救急に対して高度専門診療を提供する目的で2007年に設立され、当科も皮膚腫瘍の診療がmain workであります。高水準の腫瘍の診療を通じて患者さんに貢献できるよう、日々努力を重ねております。

埼玉県皮膚科医会の先生方に「腫瘍なら国際！」と信頼して頂けますよう今後とも努力してまいる所存です。何卒ご支援、ご指導の程よろしくお願い申し上げます。

入会あいさつ



和光市・国立病院機構埼玉病院・皮膚科
中捨 克輝

この度、慶應義塾大学の命により平成28年4月より国立病院機構埼玉病院に赴任いたしました。前任は東京都の稲城市立病院で、埼玉県は平成15-17年の埼玉医科大学総合医療センター以来、11年ぶりとなります。今後は埼玉南西部医療圏の皮膚科診療の中核を担えるよう、地域の診療を支えていらっしゃる先生方との連携を深めていきたいと考えております。

私のモットーは「美容からがん診療、緩和ケアまで幅広く最適な治療を提供する」です。以前の職場では年間200件の入院、400件の手術、美容を含めたレーザー治療を数多く扱ってきました。病院の皮膚科ならではの仕事をしっかり担えるよう皮膚悪性腫瘍を含めた手術、入院管理、難治性皮膚疾患の診療に取り組む所存です。また、受診してくださる患者さんが「ここに来て良かった」と思っていただけのような説明、治療技術の提供を心がけます。どうぞご指導のほどよろしくお願いいたします。



吉川市・美なみ形成皮膚科
水沼 雅斉

このたびは、県医師会にてお誘いを賜り、新規入会させていただきました誠にご光栄です。私は形成外科専門医です。卒後、順天堂大学形成外科に入局し、博士号取得、現在は非常勤講師を拝命しております。その後、東京広尾の日本赤十字社医療センター3次救命救急部勤務等を経まして、2015年10月に吉川市美南にて開業いたしました。

趣味はゴルフ、クラシカルギターです。また、Jリーグ発足時から熱狂的な浦和レッズサポーターであり、40年来の日本ハムファイターズファンです。

本職が形成外科のため皮膚科は不案内なことも多い中、色々手厳しいご様相、診療が萎縮しませんよう、どうぞお手柔らかに皆さまのご指導を賜りますことをお願い申し上げます。地域住民の方々や近隣医療施設に、日帰り手術や外傷など得意分野を含め、少しでも貢献できますよう精進いたします。

入会あいさつ



三郷市・長村皮膚科クリニック
長村 蔵人

私は平成13年に東邦大学を卒業し、昭和大学皮膚科に入局しました。平成15年に昭和大学横浜市北部病院、平成17年より総合高津中央病院皮膚科に一人医長として2年間勤務し、その後は大学に戻って病棟医長を経験致しました。また約10年前から父のクリニックで非常勤として診療していましたが、昨年6月より診療のほとんどを任されるようになりました。長村皮膚科クリニックは新三郷駅から徒歩20分以上と不便な場所にあります。お陰さまで老若男女問わず多くの患者さんにご来院いただいています。昨年ナローバンドUVBとエキシマライトを設置し、小手術や皮膚生検、巻き爪・陥入爪治療（ワイヤー法やナオルンを使ったアクリル人工爪法等）を特殊外来の枠で行うようにしています。獨協医大越谷病院をはじめ近隣の先生方には大変お世話になっています。

今後とも地域医療に貢献できるよう努力して参りますので、ご指導・ご鞭撻を賜りますようよろしくお願い申し上げます。



秩父市・はらしまクリニック
原嶋 秀明

初めまして。この度お誘いを頂戴しまして入会させて頂きました原嶋と申します。神奈川県警友会けいゆう病院、板橋総合病院、そして埼玉医科大学総合医療センターで勉強させて頂き、生まれ故郷である秩父市で開業させて頂いております。

皮膚科診療をしていると、たくさんの先生から皮膚科医としての心構えや診断プロセスを教えて頂いていた環境がいかに恵まれていたかを、開業した後に痛感しているこの頃です。そして、もっと色々な事を質問しておけばよかったと感慨を覚えてしまう日々です。

開業してからは、久しぶりの秩父の気温の寒暖差からの体調管理に悩まされつつも、徐々に身体が慣れて来ました。大雪が降れば雪かきもクリニックに欠かせない仕事の一つになり、地域での開業を実感いたします。まだ慣れない日々が続きますが、地域に根をはれるように頑張っていこうと思います。今後ともよろしくお願いいたします。

入会あいさつ

さいたま市中央区・さいたま赤十字病院・皮膚科
竹下 雅子

私は金沢大学卒業後、東京大学腎臓内分泌内科に入局し、卒後15年間ほど内科（主に内分泌代謝科）に従事し、平成26年1月よりさいたま赤十字病院・皮膚科にて勉強をさせて頂いております。皮膚科へ転向するに至った契機は透析病院での経験からです。透析病院では看護師さんが爪やすりで簡単なフットケアは行えども、創部の積極的な治療（デブリドマン）は行えず、治療困難な患者には皮膚科宛紹介状を書いて受診を促すもなぜか通われない、また受診しても非常勤医外来ではデブリドマンはしないため必要時は常勤外科医に依頼をと断られるなど、結局は一向に改善せず、時には感染で急変する事もあり、ここで皮膚の治療ができたらと痛感したからです。

現在は3歳児の子育ての傍ら、皮膚科の日々ですが、忘れるのは如何に易く、覚えるのは如何に難しいかを痛感しています。

外見にそぐわず中身は新米です。今後も皆様のご指導を賜りたく何卒よろしくお願い申し上げます。



川越市・田中医院
田中 麻代

この度は埼玉県皮膚科医会に入会させていただき誠にありがとうございます。
います。

私は1997年（平成9年）に北里大学を卒業し、東京医大皮膚科学教室に入局いたしました。2011年4月に、川越市の主人の実家である「田中医院」を継承しそこで皮膚科を併設し現在に至ります。

開業時は東日本大震災直後の混乱期で、その際にも実感しましたが、埼玉県は地震にも強く、津波も来ない、台風も雪も少ない、地滑りも雪崩も少ない……と自然災害が少なく安全な地域として知られており、埼玉県の中でも程よい中規模都市で伝統と進化のおり混ざる川越市は大変住みやすく魅力的な都市でございます。

大きな組織を離れての個人での日々の診療は、時として不安になります。

埼玉県皮膚科医会の諸先輩の先生方にご指導いただきながら、微力ながら地域医療に貢献できるよう努力してまいりたいと思います。

どうぞよろしくお願いいたします。

入会あいさつ

三郷市・みさと健和病院
高濱 英人

大学からの派遣で10年以上、相模原協同病院、町田市民病院の部長を勤めてきましたが、実家のある埼玉に転居しました。

在職中は地域から皮膚科常勤医のいる医療施設が毎年減少していく状況のなか、不安を抱えながらも紆余曲折、皮膚科入院施設、生物学製剤認定施設として維持運営したと自負しています。科として外来が主ですが、必ず入院を要する患者の存在があり、今後も入院施設の維持は絶対に必要です。

勤務中は地域からの紹介先としての病院の性格から数々の希少な臨床例を経験出来、多くの学会発表、論文発表ができたのは、良い思い出です。

現在は人手が必要になった複数病院の手伝いに日々を過ごしています。各病院の性格の違いに戸惑い、楽しみながら再度忙しく外来、入院の患者さんたちに対応中です。

埼玉県地域医療に少しでも貢献できますよう努力して参りますので、今後ともご指導どうぞ宜しくお願い申し上げます。



川越市・埼玉医科大学総合医療センター・皮膚科
平原 和久

埼玉県皮膚科医会に入会させていただき、誠にありがとうございます。

私は1999年に杏林大学を卒業後、杏林大学皮膚科学教室に入局しました。杏林大学では様々な臨床を経験し、7年間病棟医長も務めさせていただきました。特に、重症薬疹の診断や治療法の確立には力を入れて行ってきました。

2016年に杏林大学の塩原教授が退職され、17年間ご指導して頂いた福田先生が埼玉医科大学総合医療センターに教授として着任されることとなり、私も埼玉に来させて頂きました。しかし、慣れないことも多く、未だに戸惑いもあり、多くの方にご迷惑をおかけしている状況です。

地域の中核病院の一員として役立てるよう精進し、日々皮膚科学を学んでいきたいと思っています。今後ともご指導の程よろしくお願いします。

入会あいさつ



所沢市・新所沢公園前クリニック
森田 昌宏

このたび、皮膚科医会に入会させていただきました森田昌宏と申します。
所沢で新所沢公園前クリニックを平成24年より営んでおります。

簡単な経歴です。

平成5年、神戸大学医学部卒業

北海道大学形成外科

杏林大学高度救命救急センター

医療法人鉄焦会亀田総合病院形成外科美容外科

おうえんポリクリニック（所沢市）

端山胃腸科皮膚科等に勤務しておりました。

端山胃腸科皮膚科を継承する形で開院しております。

札幌市出身、大学も関西で、埼玉県にはあまり縁がないと思っていましたが、実は縁あって所沢で皮膚科形成外科中心のクリニックをさせていただいております。

今後ともどうぞよろしくお願いいたします。



さいたま市見沼区・松本皮膚科形成外科
佐山 重敏

昭和49年京都大学卒業の佐山重敏です。以前も埼玉県皮膚科医会に入会させていただき、勉強会で自由気ままに発言しておりました。一昨年カナダへ移住しましたが、再び埼玉に戻ってきて、現在は松本皮膚科形成外科に勤務しています。院長の松本先生は私が浜松医科大学皮膚科に在籍していた時の同僚で、その時のご縁でこのたび松本先生の施設で働かせていただくことになりました。

埼玉は「ダサイタマ」などと言われておりますが、埼玉は非常に便利な土地で、これといった天災もなく、私は埼玉が大好きです。

気持はいつまでも若いつもりですが、いつの間にか年齢を重ねてしまいました。知力は衰えているかも知れませんが、まだ体力の衰えは感じませんので、患者さんの悩みを軽くするお手伝いのできる間は医者として地域医療に貢献させていただく所存です。皆様方の暖かいご指導をよろしくお願いいたします。



＜いものや「あき川」＞（鶴ヶ島市）

川越市・林原皮膚科医院
林原 義明



牛カルビの朴葉焼き

私の行きつけの店を紹介します。

店は東武東上線若葉駅の東口、徒歩15分程の大通りから少し入った住宅街にある、ひっそりとした佇まいの割烹料理店「あき川」です。店内は左手に6人程座れるカウンター席があり、大皿や大鉢に盛られた旬の煮物料理が並べられ、その奥に主人が対面で腕を振るう調理場があります。右手には小上がりがあり、掘り付きの6人掛けのテーブルが2卓置いてあります。2階には宴会用の座敷が3間あります。

料理は旬の食材を使った新鮮なお造り、焼き物、煮物、揚げ物、蒸し物など、経木に手書きで書かれた本日のお勧めメニューの中から選びます。いつものことながら全部食したい衝動を抑えるのが辛いです。

私は筍、茄子、大根、冬瓜など旬の野菜の煮物が好きで、長年赤坂の料亭にいた主人の繊細な味は絶品です。

特にお勧めの料理は“牛カルビの朴葉焼き”と“冷やし茶碗蒸し”です。

朴葉焼きは朴葉に3種類の味噌を合わせたものをたっぷり塗り、その上に肉、ねぎ、椎茸、ししとうを乗せ各自好みの焼き具合で食べます。肉や野菜も美味しいですが、少しこげの付いた焼き味噌がたまりません。これを酒のあてにしたり、ご飯のおかずにとすると止まりません。注文したお客さんの中には、あまりの焼き味噌の美味しさから朴葉まで食べてしまったというエピソードもあるくらいです。

冷やし茶碗蒸しは夏季限定メニューです。

ワイングラスに入っている冷やし茶碗蒸しの上に、とろろ芋、じゅんさい、小エビ、生ウニをのせ、出汁を加えたものでまさに高級茶碗蒸しパフェのようです。数に限りがあるので、食べ損ねることがあります。

酒は日本酒、ビール、焼酎、ワイン、ウイスキーなどがあります。ウイスキーと焼酎はボトルキープ可能です。

主人の名前は長谷川勝蔵さん、奥さまは秋子さん、お二人の名前から「あき川」を店名にしたそうです。

私が妻と二人で週一回は通うようになってかれこ



冷やし茶碗蒸し



主人夫妻

れ10年を超えました。

いつしか主人夫妻や常連の皆さんとも親しくなり、皆で他の店に食事や、趣味の競馬へ出かけたりと交際範囲も広がりました。

地元出身ではなく診療所を開業している私にとって「あき川」は仕事を忘れて異業種の人達と楽しく交流できる大切な場所です。川越市内からは少し離れておりますが、近くに來られた時には是非寄ってみて下さい。

(川越市医師会報第151号より転載)

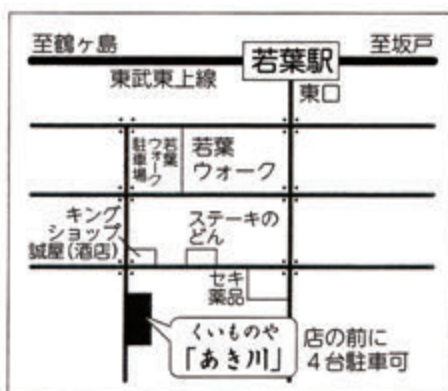
くいものや「あき川」

住 所：鶴ヶ島市富士見2-17-6

電 話：049 (271) 0155

営業時間：17：00 ～ 22：30 (L.O 22：00)

定 休 日：日曜日



埼玉県皮膚科医会 平成28年度 事業報告

平成28年

4月9日 第1回皮膚の日委員会（浦和 銀座アスター）

1. 前回の反省点、改良点の検討
2. タイムスケジュール作成
3. 講演者とテーマ決定
4. 役割分担（寄付・協賛・労務提供など企業担当、会計担当、講師担当、相談医担当、広報担当、当日運営担当など）
5. 企業への寄付・協賛・労務提供の声かけ方法の検討
6. 集客方法の検討

4月16日 第1回健保委員会（大宮 東天紅）

1. 平成28年度診療報酬改定について
2. 審査上の問題点について

5月15日 第1回役員会（ラフレさいたま）

1. 平成27年度第3回役員会議事録の承認
2. 学術委員会からの報告
3. 皮膚の日委員会からの報告
4. 広報委員会からの報告
5. 健保委員会からの報告
6. 会員親睦委員会からの報告
7. 日臨皮委員会からの報告
8. 役員改選および女性会員活性化委員会の新設について
9. 平成28年度定例総会について
10. 会員増強について
11. 名簿作成について

定例総会

1. 平成27年度事業報告について承認を求める件
2. 平成27年度収支決算書に関し議決を求める件
3. 役員改選について承認を求める件
4. 平成28年度事業計画（案）に関し議決を求める件
5. 平成28年度収支予算（案）に関し議決を求める件

第56回埼玉県一枚会

1. 症例検討
2. 健保 Q & A
3. 特別講演
『漢方医学が教えてくれたこと BPO 製剤と十味敗毒湯は共存するか？』

野本真由美スキンケアクリニック

院長 野本真由美 先生



皮膚科医会（右から2人目が野本先生）（2016.5.15）

9月4日 第2回役員会（ラフレさいたま）

1. 平成28年度第1回役員会議事録の承認
2. 「皮膚の日市民公開講座」について
3. 学術委員会からの報告
4. 広報委員会からの報告
5. 地域医療学校保健委員会からの報告
6. 女性会員活性化委員会からの報告
7. 親睦ゴルフコンペ（埼玉デルマ会）について
8. 第54回埼玉県医学会総会の開催及び演題募集について
9. 行事予定について

第44回集談会

1. 一般演題

① 「黄色ブドウ球菌による背部の巨大膿瘍の1例」

塚原理恵子¹⁾、永島和貴¹⁾、牧 伸樹²⁾、堂本隆志¹⁾、梅本尚可¹⁾、
中村哲史¹⁾、山田朋子¹⁾、出光俊郎¹⁾、渡邊真弥³⁾、崔 龍洙³⁾

(¹⁾ 自治医科大学附属さいたま医療センター 皮膚科)

(²⁾ さいたま北部医療センター 皮膚科)

(³⁾ 自治医科大学 細菌学)

② 「尋常性天疱瘡に続発した尋常性乾癬」

松尾晋祐、大塩絢子、近澤咲子、藤本典宏、佐藤貴浩
(防衛医科大学校病院 皮膚科)

③ 「苔癬様型とびまん浸潤型が併存した皮膚サルコイドの1例」

河合良奈、加藤恒平、志村智恵子、片桐一元
(獨協医科大学越谷病院 皮膚科)

④ 「斑状強皮症型 BCC の1例」

佐々木庸介¹⁾、緒方 大¹⁾、村上拓生¹⁾、柳沢宏人¹⁾、中村晃一郎¹⁾
倉持 朗¹⁾、新井栄一²⁾、土田哲也¹⁾

(¹⁾ 埼玉医科大学病院 皮膚科)

(²⁾ 埼玉医科大学国際医療センター 病理診断科)

⑤ 「眼瞼の浮腫性紅斑を初発症状とした、皮下脂肪織炎様T細胞リンパ腫の1例」

中村かおり、高村さおり、寺木祐一、福田知雄
(埼玉医科大学総合医療センター 皮膚科)

⑥ 「急性転化時に膿疱が多発した慢性骨髄単球性白血病の1例」

西村季紘¹⁾、小林圭介¹⁾、片桐一元¹⁾、小野祐子²⁾

(¹⁾ 獨協医科大学越谷病院 皮膚科)

(²⁾ 獨協医科大学越谷病院 病理診断科)

2. 健保Q & A

3. 特別講演

「爪白癬診療の最近の話題」

天理よろづ相談所病院皮膚科

部長 田邊 洋先生



皮膚科医会集談会（中央が田邊先生）（2016.9.4）

10月2日 第7回ゴルフコンペ（埼玉デルマ会）

10月15日 第2回皮膚の日委員会（浦和 銀座アスター）

1. 協賛・サンプリング・展示・労務提供の報告
2. 寄付と会計（寄付金・協賛金など）の報告
3. 講演者の報告
4. 皮膚のトラブル相談コーナーの報告
5. 広報の報告及び今後の集客について
6. 当日の運営、流れ、役割分担

11月5日 第1回広報委員会（大宮 東天紅）

1. 会誌発行について
 - ①前号の反省（問題点、改正点）
 - ②原稿・広告依頼
 - ③目次
 - ④今後のスケジュール
2. ホームページの運用
3. メールマガジンの運用

11月13日 皮膚の日市民公開講座（さいたま市民会館うらわ）

テーマ『知って得するスキンケア』

講演Ⅰ「小児のアトピー性皮膚炎とスキンケア」

埼玉県立小児医療センター皮膚科 医長 玉城善史郎 先生

講演Ⅱ「皮膚が知らせる内臓の病気」

自治医科大学附属さいたま医療センター皮膚科 教授 出光俊郎 先生

- ・お肌のトラブル相談
- ・製品展示・紹介コーナーでの見学会

11月20日 第3回役員会（ラフレさいたま）

1. 平成28年度第2回役員会議事録の承認
2. 「皮膚の日市民公開講座」報告
3. 学術委員会報告
4. 広報委員会報告
5. 女性会員活性化委員会からの報告
6. 会員親睦ゴルフコンペ報告
7. 会員数増加の報告
8. 学会助成基金の設立について
9. 学会援助について
10. 国保審査委員の増員について

平成28年度「皮膚の日」学術講演会（ラフレさいたま）

1. 第57回埼玉県一枚会 症例検討
2. 健保Q & A
3. 特別講演「座瘡治療の役者達 ―使いこなせる名監督への道を探る―」
東京女子医科大学皮膚科 教授 川島 眞 先生

平成29年

- 1月29日 埼玉県皮膚科医会学術講演会（ラフレさいたま）
特別講演『抗ヒスタミン薬のポジショニングを探る』
浜松医科大学皮膚科学講座 教授 戸倉新樹 先生



皮膚科医会（右から2人目が戸倉先生）（2017.1.29）

- 2月4日 第2回広報委員会（大宮 パレスホテル大宮 瑞麟）
1. 会誌編集について
①投稿原稿のチェック（問題点の解決）
②未投稿原稿の件（催促など）
③掲載広告の現状と今後の対策
④今後のスケジュール
2. ホームページ、メールマガジンについて
- 2月26日 第54回埼玉県医学会総会（埼玉県県民健康センター）
「ハンセン病の感染様式の解明とインドネシア共和国におけるハンセン病増加の原因究明」
宮田聡子 大宮／自治医科大学附属さいたま医療センター
「背部巨大蜂窩織炎に対し、創内持続陰圧洗浄療法、局所陰圧閉鎖療法、皮弁形成術、縫合創陰圧療法（incisional negative pressure therapy）を行い治療した1例」
土屋賢吾（研）朝霞／国立病院機構埼玉病院

広報委員会報告

委員長 寺木 祐一

広報委員会は、埼玉県皮膚科医会の情報や活動内容を市民に発信し、同時に皮膚科会員同士で情報を共有し、交流を深めることを主眼に活動しております。

活動の主な柱はホームページの運用、メールマガジンの配信、そして会報の出版です。

ホームページに関しては、アクセス数も大変多く、その役割を十分に果たしているものと思われます。ホームページは定期的に改訂しておりますが、今回はPC用とスマホ用に別々に画面が作成されており、さらに見やすくなりました。病院検索に関しても、よりヒットし易くなるよう工夫し、各医療機関の紹介文なども載せる予定です。また、当ホームページの人気コーナーでもある疾患の紹介は、定期的に改訂し、新しい話題も積極的に取り入れるよう心がけたいと思います。

メールマガジンは年4回配信を続けております。いつも、話題性のある、ちょっとためになる情報が発信されており、診療の合間に見るのを楽しみにしている先生も多いと思います。メールマガジンは、開始以来、町野先生に全面的にご尽力頂いており、申し訳なく思っておりますが、今後も引き続きお願いしております。

会報は早くも5回目の出版となりましたが、原稿を依頼すれば、いつも順調に集まり、埼玉皮膚科医会の大きな潜在能力を感じる次第です。会報も常に面白いものを提供するように、広報委員会ではさまざまな意見が出ております。今年度は、娯楽ページを新設し、毎回テーマを決め(今回のテーマは「痒み」)、そのテーマに関する写真、川柳、小噺、イラストなどを募集するように企画しました。

以上、28年度の広報委員会の活動を報告しました。広報委員のメンバーも、毎年新しい先生に加わって頂いており、今後ますます充実した内容になると思いますので、ご期待下さい。

平成28年度に以下の委員会を開催しました。

第1回広報委員会 平成28年11月5日

第2回広報委員会 平成29年2月4日



地域医療学校保健委員会報告

委員長 松本 吉郎

地域の方々に皮膚科の正しい知識を提供していくことを目的として、県皮膚科医会では、2011年6月よりホームページを公開し、既に本年6月で約55万件のアクセスを頂いている。今後、さらにホームページの充実を図るべく、「病院・医院検索」並びに、「病診連携のための医療機関情報」に関し、内容も含めリニューアルすることとなり、第1回地域医療学校保健委員会においてアンケートを作成し実施することになった。また、学校医にとっては朗報となる「日本医師会医師賠償責任保険の範囲拡大」について、埼玉県医師会学校医会ニュースに情報提供（投稿）を行ったので、併せて報告する。

1. 第1回 地域医療学校保健委員会の開催

日 時：平成28年6月18日（土）午後7時

場 所：大宮東天紅

出席者：仲 弥会長、松本吉郎、奥野哲朗先生、田沼弘之先生、玉城善史郎先生

議題1) ホームページ「病院・医院検索」アンケートについて

2) 病診連携のための医療機関情報アンケートについて

3) その他

議題1、2についてアンケートを作成し、会員に送付し回収の後、県皮膚科医会会員用ホームページに掲載することとした。

2. 埼玉県医師会学校医会ニュースに投稿

学校医会ニュースに「日本医師会医師賠償責任保険の範囲拡大 一学校医・産業医等の活動について幅広く対応」と題して以下のとおり情報提供（投稿）を行った。

日本医師会医師賠償責任保険の範囲拡大 一学校医・産業医等の活動について幅広く対応

近年、学校での保健、衛生、安全、食育に関する関心が高まってきている。この背景として、少子化に伴う社会状況や人々の生活環境の変化により、子どもを取り巻く環境が不安定さを増してきていることが挙げられる。したがって、今後も学校医の役割は今まで以上に重要と位置づける日本医師会は、将来、親となる子ども達が健やかな成長を遂げるためには、学校保健活動の一層の充実が不可欠であり、その担い手となる学校医の支援として、日医医師賠償責任保険制度を産業医と共に学校医にまで補償を拡充することとなった。

1) 目的

補償の拡充を図ることにより、日本医師会の会員が安心して産業医・学校医等の活動を行ない、また、その職責をつくすことにより、労働者の健康増進、学校保健に寄与することができる。

2) 対象

日医A会員（A1、A2B、A2C）が被保険者となっている。したがって、勤務医であっても

日医の医師賠償責任保険に加入していれば対象となる。日医A会員は日医医賠責保険が付保されているため、学校医等の医師活動においては、医療行為の有無にかかわらず補償が可能となる(図1)。また、学校医に就任した、辞退したといった報告は不要であるため、付保漏れの心配がない。尚、産業医や学校医の職務活動を行なっている医師と、嘱託医契約を締結している契約者が異なる場合の取扱いを表1のとおり。

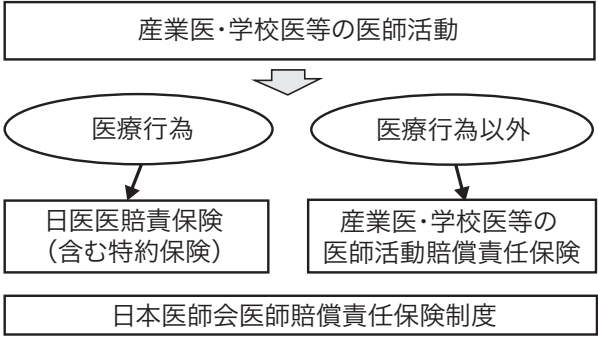


図1

表1

	職務遂行者	損害賠償請求を受けた者	嘱託医契約当事者	保険の対象有無
①	A会員	A会員個人	問わない	対象
②	A会員	法人※	法人※	対象外
③	A会員以外	A会員	A会員	対象外
④	A会員以外	法人	法人	対象外

※「一人医師医療法人」を除く

3) 保険加入のための手続きや費用は不要

日本医師会費を納入していることが被保険者になる要件であることで、保険加入のための手続きは不要(自動的に加入)、費用(保険料)も不要。

4) 被保険者資格喪失の際の特例

A会員でなくなり、被保険者資格を失う会員に対して、条件付きで10年を期限として保険適用される他、以下の特例がある。

- ①保険者資格を失う場合(死亡以外の退会、B会員への変更等)
- ②保険者(A会員)が死亡した場合
- ③被保険者(A会員)が「廃業」した場合

3. 不測の事故に対して補償

学校医等の職務の内容から、身体の障害を伴わない、いわゆる経済損失に対する賠償を求められることも想定される。学校医等の医師活動賠償責任保険では、身体障害だけでなく、財物損壊、経済的損失等を含めた不測の事故について損害賠償を請求された場合の補償を対象としている。

4. 対象となる事故

以下の職務活動によって生じた不測の事故につき、損害賠償を請求されたもの

- ①産業医としての職務活動（労働安全衛生法により定められた産業医）
- ②健康管理医としての職務活動（人事院規則により定められた健康管理医）
- ③学校医としての職務活動（学校保健安全法により定められた学校医）
- ④保育所等の児童福祉施設嘱託医としての職務活動（児童福祉法により定められた保育所の児童福祉施設嘱託医）

上記の職務活動において、医療行為によって生じた身体の障害について損害賠償を請求された場合は、医賠償保険での対応となる。具体的には、健康相談・検診（脊柱側弯症検診・運動器検診）での看過や保健指導、感染症の予防に関する指導・助言が不適切であったことに起因して、疾病発症・増悪したとして訴えられた場合などであり、学校医の職務のうち医療行為以外の活動が想定される。

5. 保険金と支払限度額

保険金は損害賠償金と争訟費用

損害賠償金の年間総支払限度額（最高限度額）は、1 被保険者につき 1 事故 1 億円、保険期間中 3 億円

※保険期間中の限度額については医賠償保険との合算は行わない。

6. 免責金額

なし

7. 学校医以外の対象範囲

児童福祉法第45条の規定に基づいて省令・その他条例で定められた嘱託医の設置を義務付けている児童福祉施設が対象となる。



女性会員活性化委員会報告

委員長 済生会川口総合病院 高山かおる

委員（五十音順）

あきもと皮膚科クリニック 秋元 幸子

石塚医院 石塚 敦子

いとう皮膚科クリニック 伊藤 恵子

埼玉協同病院 伊藤 理恵

さいたま赤十字病院 井上 多恵

いとう医院 内ヶ崎周子

自治医科大学附属さいたま医療センター 梅本 尚可

島田医院 坪井るみ子

本年度、埼玉県皮膚科医会の中に女性会員活性化委員会が設立されました。近年、病院における皮膚科医の男女比率は48.8%（男性）、51.2%（女性）と女性医師が多く、他の診療科と比較すると唯一女性優位の比率（厚生労働省調べ2012年12月31日現在）になっており、女性であっても働きやすい科として認知されていることが理由と考えられます。しかしその中で女性医師の離職問題への対応や働き方のあり方に関しての検討が必要になってきています。これまで埼玉県内の皮膚科では県全体の女性医師の会はありませんでした。そこで女性医師が集まり気兼ねなく学び、これまでの得てきたお互いの経験や知識を共有し、診療を超えた情報交換をすることで、勤務や家庭の悩みを乗り越え、新たな目標をもって前進できるようにという目的で、委員会は設立されました。委員会の活動として2016年10月23日（日）（浦和ロイヤルパインズホテルにて）ポーラファルマ株式会社の共催を得て埼玉県下の女性医師を対象とした懇話会「第1回彩たまでるま」を開催いたしました。お子様を連れてでも参加できるように託児室を完備し、日曜日の昼間という家庭があっても参加者の負担が少ない日時に設定しました。プログラムは講演の2本立てとスイーツを食べながら意見交換会という内容でした。講演は角田美映先生（かくた皮膚科クリニック院長）に最新のニキビ治療について、2つ目は、檜垣祐子先生（東京女子医科大学附属女性生涯健康センター副所長/教授）に診察のコミュニケーション術と女性医師のキャリアについてのご講演をいただきました。当日は23人の先生方にご参加をいただき、意見交換会の自己紹介タイムでは、会への感想や今後の期待などもお話いただきました。

下記に終了後アンケートに記載いただいた参加者の感想の一部抜粋を紹介させていただきます。

- ・託児所の設置までご配慮いただきましてありがとうございます。精神的にゆとりを持って講演を聴くことができました。
- ・今日は臨床的なお話、女性医師としてのお話、勉強になりました。今後も楽しみにしています。
- ・参加者が女性ばかりなので質問も気楽にできてよかったと思います。

来年も開催が決定しておりますので、より多くの先生方にご参加いただきたいと思います。

（文責 高山かおる）

皮膚の日委員会報告

委員長 久保 和夫

仲先生が会長になられてから7回目の皮膚の日記念イベントが平成28年11月13日（日）に晴天の元「市民会館うらわ」で行われました（例年さいたま赤十字病院の講堂をお借りしていましたが、病院の新築移転の為本年は使えず）。開催に向け2回の委員会を開きました。第1回目の委員会では、昨年の収支報告が行われ、収支はまずまずであったこと、今年から日臨皮のブロックからの補助がなくなることが報告されました。また趣意書に提示した予算項目と決算項目にずれがあるので一致するようにするように訂正する決定がなされました。市民公開講座のテーマは「知って得するスキンケア」をメインテーマとして玉城善史郎先生（埼玉県立小児医療センター皮膚科医長）に「アトピー性皮膚炎について（仮）」、出光俊郎先生（自治医科大学附属さいたま医療センター皮膚科教授）に「内臓と皮膚（仮）」という演題でご講演を依頼することを決定しました。第2回目ではメーカーからの寄付や協賛の状況や、日臨皮本部より補助が出たこと、玉城先生と出光先生からご講演の了解を頂いたと報告がありました。当日は7回目にして初めて晴天に恵まれ、来場者も200名を超え盛会裏に終了しました。恒例の懇親会では毎年のごとく医師、MRさん方と一緒に楽しく慰労いたしました。

次回平成29年11月12日（日）は新しいさいたま赤十字病院の講堂が使えるように井上先生に予約をお願いし、終了しました。

平成28年度に以下の委員会を開催しました。

第1回皮膚の日委員会 平成28年4月9日

第2回皮膚の日委員会 平成28年10月15日



◆ 2016年 第7回「ひふの日」市民公開講座

さいたま市中央区・さいたま赤十字病院 井上 多恵

皮膚の日市民公開講座

日 時：平成28年11月13日（日曜日）12：45～16：00

会 場：さいたま市民会館うらわ（さいたま市浦和区仲町2-10-22）

来場者数：271名（スタッフを含めた数、一般来場者は193名）

本年は昨年までの会場であったさいたま赤十字病院の病院移転工事に伴い、会場を大宮から浦和のさいたま市民会館うらわに移しました。会場が変わっても昨年までと変わらずに多くの市民の皆様に来ていただけるよう、これまで以上にスタッフが念入りな下見、打ち合わせを積み重ね万全を期して執り行われました。スタッフの念願が叶い、これまでにない晴天に恵まれ、沢山の市民の皆様は足を運んでいただき市民公開講座は盛況に終わりました。



新会場のさいたま市民会館うらわ



【行事内容】

1. テーマ「知って得するスキンケア」

子供からお年寄りまで、幅広い年代の方々に興味を持っていただけるように、小児、大人にとって最も気になる話題にテーマを絞りました。

講演内容「小児のアトピー性皮膚炎とスキンケア」

埼玉県立小児医療センター皮膚科 医長 玉城善史郎先生

小児に必要な洗浄、保湿、遮光のスキンケアに関して、アトピー性皮膚炎の特徴、ステロイドやタクロリムスなどの外用療法、抗ヒスタミン剤の内服療法、早期からのスキンケアの重要性に関してご講演いただきました。

2. 「皮膚が知らせる内臓の病気」

自治医科大学附属さいたま医療センター皮膚科 教授 出光俊郎先生

内臓や心の状態は皮膚や口腔粘膜に如実に現れるものとして、内臓が知らせる皮膚の症状（デルマドローム）と、口腔粘膜症状（オラ・ドローム）を中心に随所に笑いを交えながらご講演いただきました。最後に、上手な皮膚科のかかりかたとして皮膚科医からのお願い10カ条は、スタッフの私達も「あるある」と納得し大爆笑してしまいました。

市民公開講座のアンケートでは回収された中の83%の市民の方々より満足いただきました。講演内容の資料が欲しいという意見が最も多く、市民の方々の皮膚に関する関心の高さが窺えました。

【お肌のトラブル相談】 73件

11名の埼玉県皮膚科医会の先生方にご協力いただきました。これまでのトラブル相談経験を活かし、円滑に進行することができました。

【展示】 スキンケア製品

会場が変わり、展示の設置や準備、運営方法に関してスタッフの間で綿密な打ち合わせがありました。当日はこれまでと変わらず各メーカーの展示を多数の市民の皆様が熱心にご覧になっておりました。

(文責 井上多恵)



「小児のアトピー性皮膚炎とスキンケア」

埼玉県立小児医療センター 皮膚科医長 玉城 善史郎 先生



今回は「小児のアトピー性皮膚炎とスキンケア」という演題で講演をさせて頂いた。

スキンケアは、皮膚を健やかに保つ行為であり、具体的には1. 皮膚の汗やアレルゲンなどを洗い落とす洗浄、2. 皮膚のバリア機能低下を防ぐ保湿、3. 紫外線防御の3つからなる。洗浄で大切なことは、泡立てた石鹸を手掌や指腹を使って行い、その後しっかりと石鹸を洗い流すことである。保湿は乾燥や皮膚バリア機能低下を防ぐために行われ、入浴15分以内に行うことが大切である。一般にはヘパリン類似物質やワセリンが多く用いられる。紫外線防御に対しては、こまめにサンスクリーン剤（日焼け止め）を用いることが大切であり、小児に関しては小児用の紫外線吸収剤不使用の製品を用いて、2～3時間おきに使用することが大切である。

アトピー性皮膚炎は①かゆみを伴う、②特徴的な皮疹（主に湿疹）が、③左右対称性に特徴的な分布を取り慢性的な経過をとるもの（乳児：2ヶ月以上／その他：6ヶ月以上）とされており、その他に家族でアレルギー性皮膚炎や気管支喘息、アレルギー性鼻炎／結膜炎などのアレルギー素因をもっていると発症しやすいといわれている。アトピー性皮膚炎は乳児では口の周りからはじまり徐々に顔全体に広がり、最後に体幹四肢に拡大する。幼児から学童になる頃には肘窩や膝裏を中心に症状がみられ、乾燥や色素沈着が目立ち、ざらざらした皮膚やゴワゴワした皮膚が目立つようになり、一部では非常に痒みの強い発疹も伴うようになる。治療はまずは前述のスキンケアと軟膏塗布などの外用療法が主体となり、それに内服療法をあわせて使うことが多い。外用療法の基本はステロイド外用薬である。ステロイド外用薬には、成長障害や糖尿病のような全身的な副作用がなく、多くは皮膚のみの副作用があるが、種類によって強さが5段階あることや、

体の部位によって吸収量が違うことを知って使用することで多くの副作用は防げる。大切なことはむやみにステロイドを恐れず、症状に応じて使い分けることであり、症状が強い場合は、やや強めのステロイド外用をたっぷり塗布し、症状が落ち着いてきたら徐々に弱めのステロイドに切り替える。また、外用薬には他にタクロリムス軟膏（プロトピック軟膏[®]）や亜鉛華単軟膏（サトウザルベ）などがあり、特徴を知ることにより皮膚の副作用を減らすことができる。また、内服薬は主に外用薬と一緒に使用し、眠気などの副作用の少ないタイプの抗ヒスタミン薬（抗アレルギー薬）が用いられることが多い。また近年、アトピー素因をもつ新生児に対してスキンケアを行うでアトピー性皮膚炎の発症を減らすことができるとの報告があるため、早期からのスキンケアが重要であると考えられている。

「皮膚が知らせる内臓の病気」

自治医科大学附属さいたま医療センター 皮膚科教授 出光 俊郎 先生



皮膚は内臓の鏡といいますが、皮膚や口腔は外界に接しており、目で見ることができます。ここでは内臓が知らせる皮膚の症状（デルマドローム）と内臓疾患を表す口腔粘膜症状（オラ・ドローム）を中心にお話しさせていただきます。なんと意外かもしれませんが、内臓や心の状態は口腔粘膜や皮膚に如実に現れるのです。

はじめに全身疾患に関連する口腔粘膜症状（オラ・ドローム）を解説します。Oral Medicine（口腔内科学）+Syndrom（症候）からオラ・ドローム（Ora・drome）と名付けられました。昔から漢方医学には舌診といって、舌の状態で体調や体質を判断する手法がある。栄養がわるいと舌炎が起きることが知られていますが、全身の病気が口腔にあられることがあります。赤く平らな舌をきたすのは鉄や亜鉛の欠乏、ビタミンB₁₂欠乏症などですが、味覚の変調もきたします。こうした変化は爪にもきます。爪がそりかえってスプーン状になったり（鉄欠乏性貧血）、爪の色が白くなったりもします（低タンパク血症）。また、口内炎から炎症性腸疾患（潰瘍性大腸炎など）がみつかったり、皮膚や粘膜の水ぶくれから悪性腫瘍（がん）が発見されることがあります（粘膜類天疱瘡や腫瘍随伴性天疱瘡）。口腔カンジダ症は口が白くなるかびによる病気です。抵抗力がなくなり、カビが異常繁殖をきたしますので、免疫不全、エイズを疑わせる場合もあります。口腔は面積こそ小さいのですが、声を出したり、物を食べたり、呼吸もしたり、非常に重要な器官であり、様々な不快な自覚症状の出やすい特徴があります。ちょっとした口内炎（口腔アフタ）の痛みでも活力や作業意欲をかなり低下させます。また、歯周病から動脈硬化、脳梗塞との関連もわかってきました。口腔は早期に自覚症状が出やすいといえますので、内臓疾患の早期発見につながる可能性があります。

次に内臓が知らせる皮膚の症状（デルマドローム）についてお話します。これは Dermatology（皮膚科）とSyndrome（症候）を併せた造語です。皮膚の症状から内臓病がわかるというものです。血管の老化は寿命に関係しているといわれますが、心筋梗塞と耳たぶのしわの関連についてはみなさん驚くと思われます。これはフランクの徴候（サイン）といって、耳たぶにしわができる人は心筋梗塞の確率が高いとされます。おへそのじくじくはシスター・ジョセフ（発見した看護師の名前）の結節といって、おなかの大腸癌や膵臓癌などがおへそにでてくることがあります。さ

らにレーザー・トレラー徴候と言うサインがあります。老人性イボが体にたくさんできて痒くなります。胃がんが見つかります。また、首筋や脇の下、股が黒くなるサイン（黒色表皮腫）でも胃癌が見つかります。進行癌でも治療が進歩しているので落胆することはありません。皮膚筋炎という膠原病は顔や手が赤くなったり、腫れたりする病気ですが、肺癌、胃癌や乳癌が発見されることもあります。

肝臓疾患では黄疸（おうだん）といって、皮膚が黄色くなったり、痒くなります。ビリルビンや胆汁酸による症状です。女性ホルモンは肝臓で代謝されるので、肝臓が悪くなるとエストロゲンが過剰になり、男性でも胸が大きくなったり（女性化乳房）、血管が浮き出たりします（毛細血管拡張）。慢性腎臓病、特に透析を受けている人の皮膚はドライスキンの傾向を示し、かゆみが出ます。治りにくく、かゆみが激しいのが特徴です。ちなみにかゆみや蕁麻疹は、精神的ストレスが原因になっていることもあります。

糖尿病には沢山の皮膚のサインがあります。糖尿病発見のきっかけになったり、コントロール不良の危険サインとなります。いわゆる「おでき」（膿瘍）はバイキンにより、皮膚が化膿するものですが、糖尿病の悪化した状態では重症化します。水虫の感染から足が腐ることもあり、糖尿病性壊疽と呼ばれます。足を大事にして、良く洗うことが重要です。これらの感染症以外にも糖尿病では皮膚が乾燥したり、かゆくなったり、硬くなったり（糖尿病性浮腫性硬化症）、ぽつぽつがでたり（痒疹）、いろいろな皮膚症状が現れます。

このように皮膚は外からの刺激で反応するだけでなく、体調や全身疾患を表す鏡と言えます。皮膚は雄弁に体調や心の状態を語ります。

最後に上手な皮膚科のかかりかたー皮膚科医からのお願い10か条を掲げます。普段から皮膚病は皮膚科に気軽に相談する心がけが大事といえましょう。

皮膚科医からのお願い10か条

①	比較的空いている曜日と時間帯の混雑状況を確認する
②	和服を着ていかない
③	診察前に化粧を落とす
④	ガムや飴など口に物を入れながら診察をうけない
⑤	診てほしいところはすべて、率直に話す（何か所ありますと最初に言って下さい）
⑥	しっかりとみせる・・・出し惜しみしない
⑦	出がけに市販の軟膏や消毒薬を塗って受診しない
⑧	他人の軟膏や湿布を使用しない
⑨	老人性といわれても昔からの病名なのでがっかりしない
⑩	単なる水虫やたむしと思っても全身病の可能性もあるので迷わず相談する

2016年「ひふの日」お肌のトラブル相談

さいたま市中央区・島田医院 坪井るみ子

11月13日、「ひふの日」市民公開講座において実施された「お肌のトラブル相談」について報告します。さいたま市民会館うらわの1階の会議室に相談室を設け、12時40分から15時20分まで、肌・髪・爪等に関する相談に無料で応じました。

相談者の人数：相談者62人、相談対象者（0歳～92歳）73人
その内訳を以下に示す。

表1. 相談者の性別と年齢分布

		相談者（人）	相談対象者（人）
性別	男	7	11
	女	55	62
年齢分布	～19歳	1	8
	20～29	1	3
	30～39	2	2
	40～49	12	13
	50～59	7	7
	60～69	19	19
	70～79	12	12
	80～89	7	7
	90～	1	2

相談者の住所（数字は人数）：

さいたま市45（大宮8、北3、西2、見沼5、中央8、浦和3、南6、桜4、緑2、岩槻3、不明1）、
川口市2、上尾市3、桶川市2、北本市1、川越市1、春日部市2、杉戸町2、東京都3、不明1

おもな相談内容（複数例あり）と人数：

アトピー性皮膚炎8、その他の湿疹18、接触皮膚炎1、皮脂欠乏症8、汗疱2、
ニキビ1、酒さ1、白癬4、毛囊炎1、乾癬1、角化症2、
シミ・色素斑・母斑7、白斑5、紫斑4、老人性疣贅1、いぼ5、
脂肪腫2、汗管腫1、稗粒腫1、巻き爪1、その他の爪の異常4、
静脈瘤1、脱毛1、スキンケア2、内臓疾患・代謝疾患1

相談医：11名 表2に示すとおり

表2. 相談医

所 属 地 域	氏 名 (敬称略)	所 属 施 設 名
浦和・与野	赤 木 淳	あかぎ皮膚科クリニック：さいたま市南区
	秋 元 幸 子	あきもと皮フ科クリニック：さいたま市緑区
	五十嵐 司	新都心皮フ科クリニック：さいたま市中央区
	大 石 公 美	大石医院：さいたま市南区
	大 嶋 英 恵	大嶋皮膚科クリニック：さいたま市浦和区
	松 永 順	松永皮フ科・内科：さいたま市桜区
大宮	石 田 卓	いしだ皮膚科：さいたま市見沼区
	坂 本 哲 也	坂本皮膚科：さいたま市西区
幸手・春日部	石 塚 敦 子	石塚医院：幸手市
	桜 井 楊 子	ようこ皮フ科：春日部市
	松 村 智佳子	松村医院：春日部市

まとめ：

今回は会場の都合で、トラブル相談の個別ブースを設けることができませんでした。このため、相談者や相談医の声が聴き取りにくい、あるいは隣の席の相談者の声が聞こえてしまう等の問題が生じました。

例年に比べると、相談内容はほぼ同じですが、家族のことを相談する人が増えました。

いろいろと制約が多い中、ていねいに相談に応じて下さった11名の相談医の先生方と、手際よく相談者を案内して下さったMR諸氏に、深謝します。

市民公開講座参加者アンケート結果報告

春日部市・さくら皮フ科 横井 清

第7回「ひふの日」市民公開講座に参加された方々にアンケートをお願いし集計いたしましたので報告します。このアンケートは2014年より開始され、今回は一般来場者193名中162名の多数の方々から回収できました（回収率84%）。ただし、2枚は全く記載がないため集計から除外し、有効回答率は160/193＝83%でした。ちなみに昨年は来場者247名中218名より回答が得られました（有効回答率88%）。

質問内容を下記に示します。

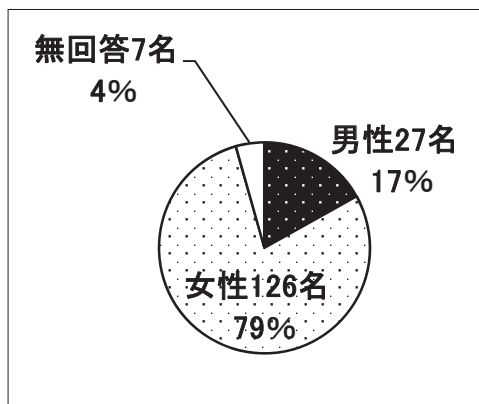
- Q1. 今回の市民公開講座は何でお知りになりましたか？
Q2. これまでに「皮膚の日」の市民公開講座に参加されたことがありますか？
Q3. 本日の講演内容はいかがでしたか？
Q4. 来年もこのような公開講座に参加したいですか？
Q5. 今後聞いてみたい講演内容は？（複数回答可）
Q6. その他市民公開講座についてご意見があればお聞かせ下さい。
皮膚科の医師や医療機関（病院や診療所）についてのご意見でも結構です。
Q7. あなたご自身についてお聞かせください
年齢、性別、お住まい
Q8. 次回の市民公開講座の案内状をお送りしてもよろしいですか？

今回も昨年と概ね同様の結果でしたが、一部に違いが認められました。

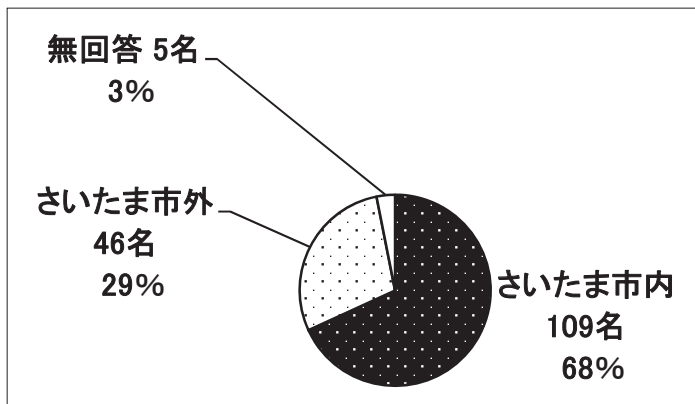
Q7. 性別、Q7. 年齢分布はほぼ同じでしたが、Q7. 居住地では、さいたま市内在住の方が若干増加し、市外の方が減少。Q2. 参加回数ではリピーターの増加＝初めて参加された方が減少していました。

これらの結果の最大の原因がQ1. 認知媒体の変化に表れています（参照の為に昨年の結果も掲載）。案内状、病院・院内のチラシ、知人からはほぼ同数または増加しているのに対し、「ショッパー」57→20名、新聞26→8名、「ぽど」22→7名で合計66名の減少が認められました。これらのマスメディアを通しての周知が十分効果的ではなかったためと思われます。

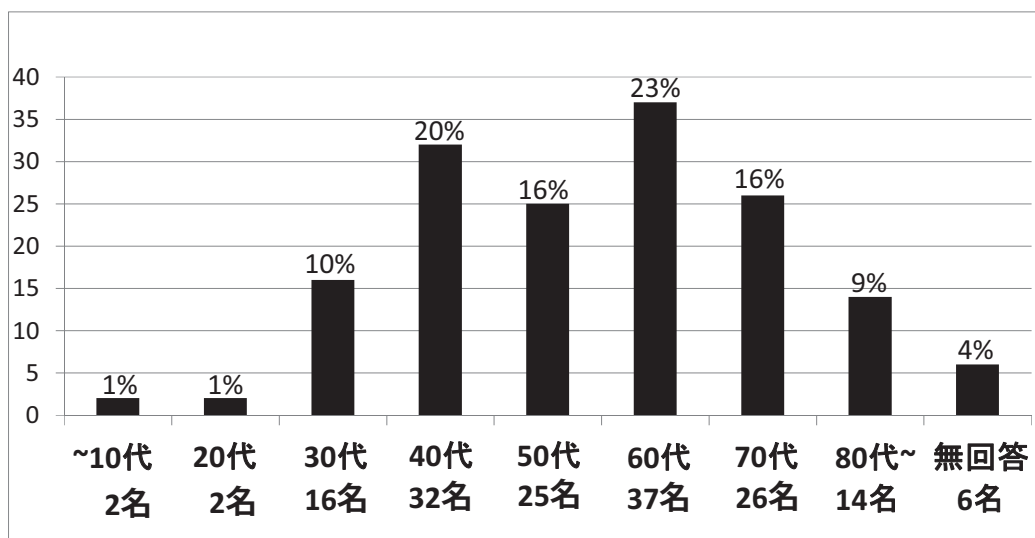
結果を提示いたします（順不同）。



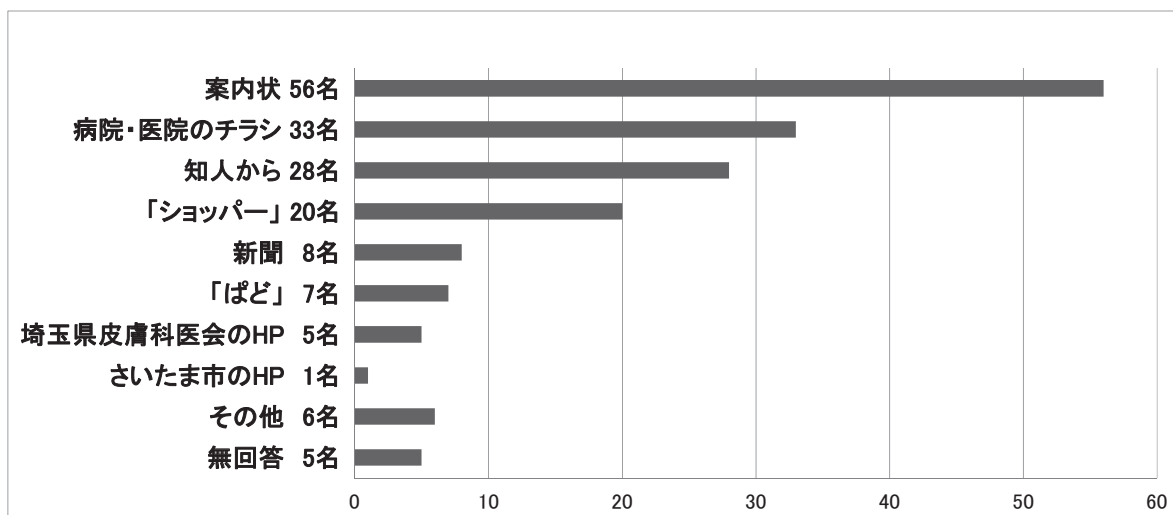
Q7-1. 性別



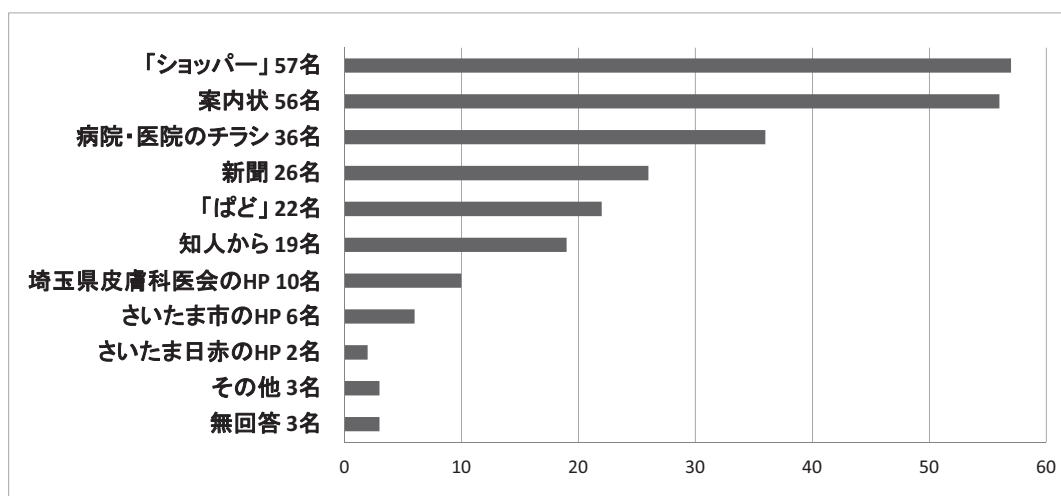
Q7-3. 居住地



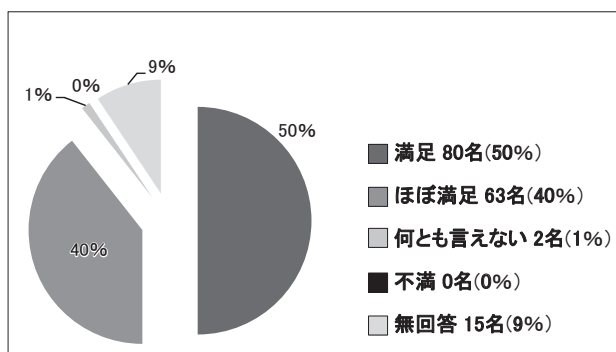
Q7-2. 年齢分布



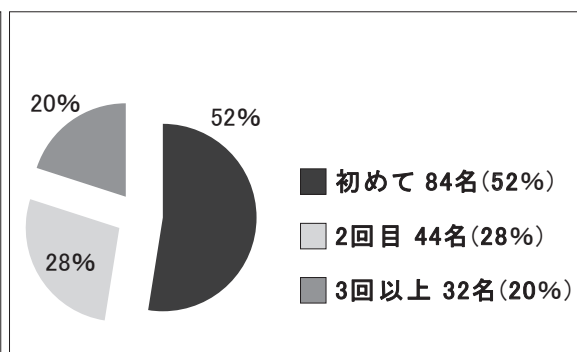
Q1. 認知媒体の結果



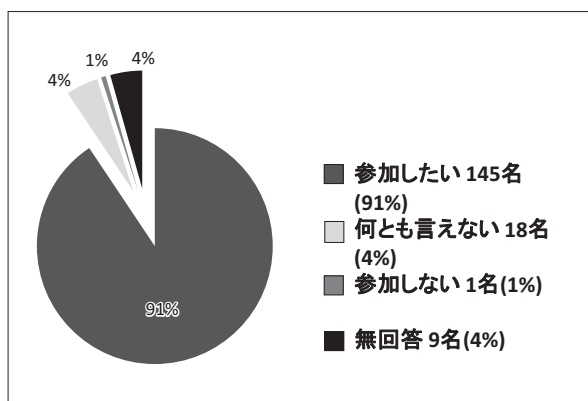
前回（2015年）のQ1. 認知媒体の結果



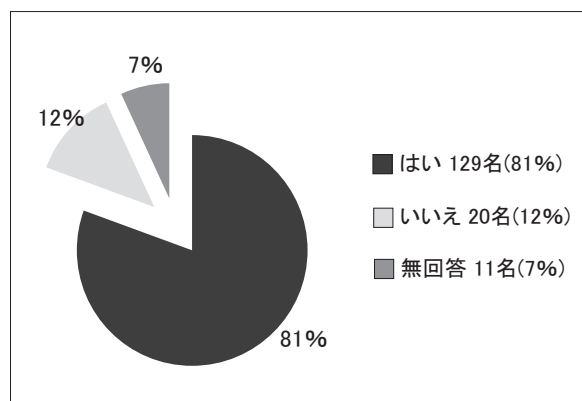
Q3. 満足度



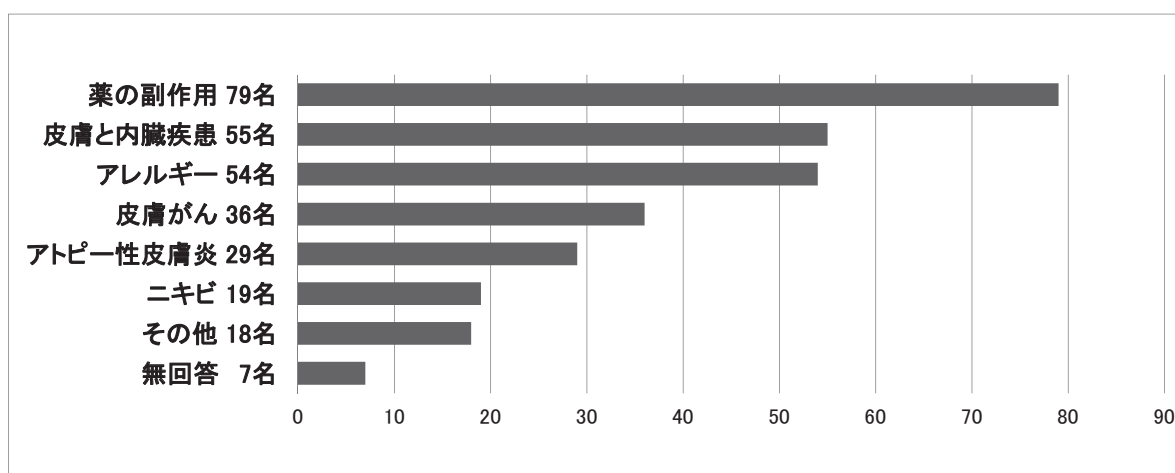
Q2. 参加回数



Q4. 次回参加



Q8. 次回案内状送付の承諾



Q5. 今後希望する講演内容

最後に「Q6. その他市民公開講座についてご意見があればお聞かせ下さい。」の回答の主なものを列記致します。

- ・講座の要旨集（要点をまとめたもの）がほしい
- ・講義のレジメが欲しい。老人施設で仕事をしているのでレジメがあると職場での研修にも使いやすいから

- ・講座のスクリーンでの資料を配布していただけると助かります
- ・出光先生の皮膚の知らせる内蔵の病気について知りたくて参加しました。ところが本もなくレジメもないとのことでがっかりしました。なぜならば講義を聞きながらメモをすることは不確かさが出ることは否めません。年齢的にも無理です
- ・出光先生のネタが細かくて大笑いしました。ギャップ萌えですね。ラジオ聞かなきゃ。
- ・出光先生の講演がわかりやすかった。
- ・本日は健康に重要な内臓と皮膚を明確にわかりやすいアドバイスを受け来年度も講座を聞き前向きに体を大切にしたいと思います
- ・臨床経験豊富な先生方から直接お話を伺えて大変参考になりました。他の皆さんにもこういう講座があることを知ってもらいたいと思いました。周囲に伝えさせていただきます
- ・皮膚にボツボツができて皮膚科に行っても案外「何かわからない」と言われることが多い。どうすればよいか困ることがあるが、本日のお話で合点がいてよかった
- ・不安に思っていることも市民講座を聞いて安心します
- ・休憩は15分でよいのでは？ ブースは入場時に見学できると思います
- ・大宮の日赤で講座をやって頂けたらと思います。
- ・これまでの会場よりも不便になった。
- ・一般・高齢者の皮膚炎の指導を希望
- ・アトピー性皮膚炎の食事・栄養の指導を希望
- ・通年性アレルギー性鼻炎で耳鼻科に通っている。アレルギーについて治療方法などを詳しくお願いします。
- ・東洋医学の意味解釈、現代西洋医療との関連解釈
- ・自分の持っている疾患の見通しについて相談ができるとよい。治療が可能かどうかなど
- ・皮膚科を受診しなさいでは相談にはならないです
- ・皮膚だけでなく目とか歯などもありますか？
- ・皮膚の気になるところは早めに受診することの大切さを知りました。
- ・娘がアレルギー科もやっている内科でアトピー性皮膚炎の診察を受けている。皮膚科での受診がよいのか思案中です。
- ・わかりやすく丁寧で楽しい講義でした。ちょっとしたことも気づき、早めに医師に診てもらう大切さを知りました。(命にかかわらないと思いがちで)
- ・偏見を持った皮膚科医もいるので、皮膚科医で認識を統一してほしい。(例えば診てすぐにアトピー性皮膚炎だと言ったりする)
- ・わかるように説明してほしい。大丈夫だけでは不安が残る。主人の首のまわりにできる小さいブツブツが思うようにならず、アドバイスにも納得しきれないです。
- ・病院が混んでいて予約が取れず、それまでに湿疹がなくなってしまうことがあります。皮膚科が少なく困ります。
- ・スティーブンスジョンソン症候群の個人報告の仕方を知りたいです。救済方法も
- ・ニキビは専門用語が多すぎる
- ・講座なのか医会の発表会なのかどちらなのでしょう
- ・勉強になりました。ありがとうございました。
- ・サンプルありがとうございました。

<会員親睦委員会>

第7回埼玉デルマ会ゴルフコンペに優勝して

所沢市・おおにし皮膚科クリニック

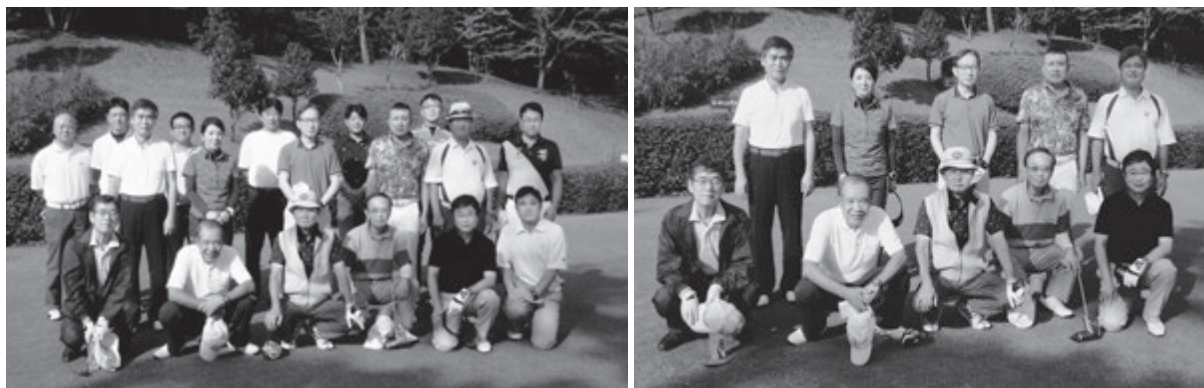
大西 善博

第7回埼玉デルマ会ゴルフコンペが昨年10月2日、武蔵OGMゴルフクラブで埼玉県皮膚科医会の先生方10名の参加で開催されました。

この会には第4回から毎年参加しており、スコアは90、85、96とまずまずでしたが、順位は新ペリがはまらず7位、6位、4位でした。今年こそは順位はさておき80台のスコアを目標にゴルフ場に7時過ぎに到着。当日は快晴・無風と絶好のコンディション。恒例の集合写真撮影後、同伴の山本先生と科研の吉田所長の3人で和気あいあいとスタートしました。キャディーさんも若くよく働く子でアドバイスも良好で、前半はパー3つで43とまずまずでした。後半は一転してパーがこないのにいらいらしながらボギーで耐えていましたが15番でついにティーショットが林の中につかまりトリプルボギーの7をたたいてしまいました。結局後半は47でスコアはぴったり90でした。プレー後の懇親会では渡部先生や横井先生と楽しいゴルフ談義をしているうちに表彰式が始まりました。いつ呼ばれるか待ってましたが今年はなかなか呼ばれません。「まさか15番がはまったのでは？」とドキドキしていると最後に優勝者としてのコールが。仲会長からしっかりと優勝賞品をいただいて家路につきました。

私がゴルフを始めたのは研修医の時で、入局時のボスの久木田教授のもとでは新入医局員はゴルフを始めるのが必須でした。ただ勤務医時代は年間2～3回のラウンドしかできず腕前はあがりませんでしたが、開業してからは毎月皮膚科仲間と情報交換会の名目で定例会を行うようになり、この数年はメンバーコースの久邇C.Cのメンバーになり腕を磨いています。学生時代からやっていたサッカーは左膝変形性関節症で走れなくなったので、もっぱら運動はジムとゴルフになっています。さらにタイ駐在の友人と先輩 Dr. に誘われたのがきっかけで連休があればタイのパタヤに妻と一緒に出張し、ゴルフとマッサージ、おいしいタイ料理でリフレッシュしています。(決して夜は遊ばず健全な旅です。) 昨年からはまったくだめだったパクチーも平気になってきて現地人化が進んでいるようです。是非タイに行ってゴルフしたいと思われる先生がいらっしゃればお声をかけて下さい。ご一緒しましょう。

さて今年の秋も第8回埼玉デルマ会ゴルフコンペが予定されています。若い先生方や今まで参加されていない先生方の参加をお待ちしております。



武蔵 OGM ゴルフクラブにて

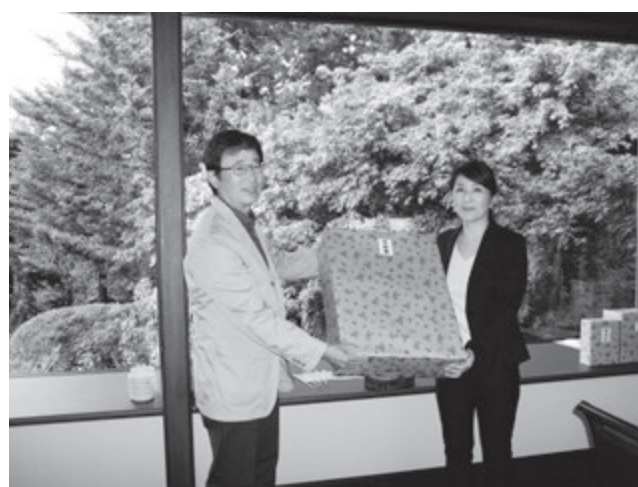
【第7回埼玉デルマ会ゴルフコンペ成績】

2016年10月2日（日）

順位	競技者名（敬称略）	OUT	IN	GROSS	HDCP	NET
優勝	大西 善博	43	47	90	18.0	72.0
準優勝	渡部 利枝子	42	46	88	15.4	73.6
3位	阿部 稔彦	45	52	97	22.8	74.2
4位	池村 郁男	50	50	100	25.2	74.8
5位	伊崎 誠一	62	51	113	37.2	75.8
6位	寺木 祐一	54	57	111	34.8	76.2
7位	横井 清	44	51	95	18.0	77.0
8位	仲 弥	53	45	98	18.0	80.0
9位	長村 洋三	50	58	108	27.6	80.4
10位	山本 明史	57	63	120	38.4	81.6



優勝の大西善博氏（左）



準優勝の渡部利枝子さん（右）

平成28年度 埼玉県皮膚科治療学会 事業報告

埼玉県皮膚科治療学会

会長 出光 俊郎

1. 総会ならびに学術大会

平成28年2月7日(日)、於 ラフレさいたま
役員会

平成28年度総会

第43回埼玉県皮膚科治療学会

【1】第8回生物学的製剤治療研究会

1. 「さいたま赤十字病院皮膚科における生物学的製剤使用の現状」
さいたま赤十字病院 皮膚科 井上多恵
2. 「関節リウマチ患者に投与された生物学的製剤の関与が考えられる膿疱性乾癬様皮疹」
埼玉医科大学 皮膚科 宮野恭平
3. 「自治医大さいたま医療センターにおけるバイオスイッチを行った乾癬症例のまとめ」
さいたま北部医療センター 皮膚科 山田朋子
4. 「セクキヌマブ使用経験」
獨協医科大学越谷病院 皮膚科 片桐一元
5. 「特異な臨床を呈する乾癬ー生物学的製剤治療に抵抗性の症例」
埼玉医科大学総合医療センター 皮膚科 高村さおり

【2】話題の薬剤ーその効果と副作用

「尋常性ざ瘡の治療について ～ゼビアックスLの位置づけ」
志木駅前皮膚科 院長 竹村 司

平成28年11月20日(日)、於 ラフレさいたま
役員会

第44回埼玉県皮膚科治療学会

話題の薬剤ーその効果と副作用

「爪白癬に対するルコナック爪外用液5%の使用経験」

順天堂大学特任教授／御茶ノ水真菌アレルギー研究所所長 比留間政太郎

「尋常性乾癬について～マーデュオックスの位置づけ～」

埼玉医科大学総合医療センター 皮膚科 寺木祐一

平成29年1月7日(土)
常任理事会

2. アンケート調査

今後、ハトムギやOTC製剤の効果や副作用についての調査を検討していく

平成28年度 大宮皮膚科医会活動報告

大宮皮膚科医会 会 長 石田 卓

医会会員の先生方のご理解ご協力により、平成28年度予定しておりました医会行事は滞りなく終了したことをご報告し、あらためて感謝申し上げます。

平成28年度は大宮皮膚科医会学術講演会を2回、さいたま市4医師会合同皮膚科学学術講演会を1回、そして医学講座として1回、講演会を開催致しました。

今年も、医会会員の先生方のご理解ご協力のもと、ことに、出光俊郎先生を中心とした自治医大諸先生のご指導を仰ぎながら、医会会員に研鑽の場として有益な学術講演会を企画すると共に、医会の一層の充実を図って行きたいと思いをします。

■大宮皮膚科医会学術講演会

第1回

【日時】平成28年4月8日(金)午後7時45分

【場所】清水園

【演題】明日からの爪白癬治療を考える ～初の外用薬登場から一年半を経過して～

【講師】帝京大学 皮膚科 教授 渡辺晋一 先生

【座長】自治医科大学附属さいたま医療センター 皮膚科
教授 出光俊郎 先生

第2回

【日時】平成28年11月14日(月)午後7時30分

【場所】ラフレさいたま

一般講演

【演題】やってよかった！ 自治医科大学附属さいたま医療センターパッチテストのまとめ

【講師】自治医科大学附属さいたま医療センター 皮膚科
講師 梅本尚可 先生

【座長】さいたま赤十字病院 皮膚科 部長 井上多恵 先生

特別講演

【演題】関節症性乾癬の病態と治療の進歩

【講師】福島県立医科大学 皮膚化学講座 教授 山本俊幸 先生

【座長】自治医科大学附属さいたま医療センター 皮膚科
教授 出光俊郎 先生

■第6回 さいたま市4医師会合同皮膚科学学術講演会

【日時】平成28年10月18日(火)午後7時40分

【場所】パレスホテル大宮

【演題】アトピー性皮膚炎の新しい治療戦略 ～プロアクティブ療法の可能性にせまる～

【講師】東京大学大学院医学系研究科 皮膚科学 教授 佐藤伸一 先生

【座長】自治医科大学附属さいたま医療センター 皮膚科
教授 出光俊郎 先生

■第12回 大宮医師会医学講座（共催）

【日時】平成28年11月18日（金）午後 7 時30分

【場所】パレスホテル大宮

【演題】進化した日本のニキビ治療 ～ふつうのニキビから難治例まで～

【講師】東北大学病院 皮膚科 講師 菊池克子 先生

【座長】いしだ皮膚科 院長 石田 卓 先生

県内地域別医会の紹介

埼玉県東部皮膚科懇話会：平成28年の活動内容

本会は、獨協医科大学越谷病院皮膚科と当院へ多くの患者をご紹介頂く先生方の勉強会として発足し、年3回、土曜日の17時頃を開始時刻としています。平成28年は3回、いずれも越谷コミュニティセンター（サンシティホール）で開催しましたので、その概要を紹介させていただきます。

参加者は埼玉県東部医療圏の先生方が中心ですが、浦和、大宮、川口などからもご参加頂けることも増えてきました。基本的スタイルは、特別講演1題と獨協医科大学越谷病院からの3～4題の一般演題で構成されます。一般演題は、紹介患者報告と通常の学会発表の再演を行うことを交互に繰り返しています。紹介患者報告では、返書作成以後、結論がでた症例、結論が出せない症例をお示しする他、稀少、重要疾患（悪性腫瘍、水疱症など）を含んだ内容となり、それぞれ5～15症例程度を報告します。発表者にはかなりの負担となりますが、診断のつけられていない症例をこの機会に見直すことで診断に至る症例もあり、今後の学会発表の準備にもなります。ご紹介頂く先生方には、紹介患者を担当する医師を確認する場にもなり、学会発表演題の再演では、若い先生の紹介も兼ねることになります。特別講演の先生にもアドバイスを頂ける機会であり、当科の診療をブラッシュアップしつつ、近隣の先生方と勉強する機会として、今後も継続していきたいと考えています。お時間があれば、他地域の先生方も是非ともご参加頂きますようお願い申し上げます。

第13回埼玉県東部皮膚科懇話会

平成28年3月19日（土曜日）17時、共催 マルホ

参加者24名

特別講演

安部正敏 先生（札幌皮膚科クリニック副院長）

「挑戦する乾癬診療」

一般演題

座長 福島佐代子先生（本町福島クリニック）
志村智恵子「獨協医科大学越谷病院への紹介症例Ⅰ」
加藤 恒平「獨協医科大学越谷病院への紹介症例Ⅱ」
片桐 一元「獨協医科大学越谷病院への紹介症例Ⅲ」

第14回埼玉県東部皮膚科懇話会

平成28年7月23日（土曜日）17時10分、共催 田辺三菱製薬
参加者29名

特別講演

大久保ゆかり先生（東京医科大学 皮膚科学分野 教授）
「乾癬治療の最近の話題 ～外用療法から生物学的製剤まで」

一般演題

座長 石塚 敦子先生（石塚医院）
古川 佑来「MDSを合併した多形慢性痒疹の治療」
山崎まりな「Insect bite-like reaction ～注意すべき頭頸部の痒疹」
加藤 恒平「蜂窩織炎 ～境界領域での鑑別について」
片桐 一元「衣類の刺激性試験」

第15回埼玉県東部皮膚科懇話会

平成28年10月22日（土曜日）17時10分、共催 鳥居薬品
参加者33名

特別講演

鈴木民夫先生（山形大学 皮膚科学講座 教授）
「皮膚色に関する最近の話題：美白遺伝子やロドデノール白斑など」

一般演題

座長 横井 清先生（さくら皮フ科）
陳 悦「更年期の角質脆弱性はデスモグレインⅠの発現低下による」
加藤 恒平「紹介患者報告Ⅰ」
宇賀神つかさ「紹介患者報告Ⅱ」
片桐 一元「紹介患者報告Ⅲ」

平成29年4月6日

文責：獨協医科大学越谷病院皮膚科
片桐 一元

本庄児玉皮膚科勉強会

恵南クリニック 佐々木 亮

〔平成28年度学術講演会開催の報告〕

第22回 本庄児玉皮膚科勉強会

日 時 平成28年5月16日（月）19時

会 場 埼玉グランドホテル本庄

演 題 『陷入爪・爪白癬の治療について』

講 師 深谷赤十字病院皮膚科 新井 康介先生

座 長 恵南クリニック 佐々木 亮先生

春日部皮膚科勉強会

さくら皮フ科 横井 清

平成28年度は以下の3回開催いたしました。

○開催日：平成28年5月21日（土）

会 場：春日部市民文化会館

テーマ：発症機序と感染経路に基づく皮膚真菌症の管理

講 師：まるやま皮膚科クリニック 加藤卓郎先生

加藤先生ご自身の長年に亘る研究成果に沿って、真菌症の基礎から「フットプレス法」を用いた感染経路についてのご研究までを解りやすくご講演いただきました。

○開催日：平成28年9月24日（土）

会 場：春日部商工振興センター「アクシス春日部」

テーマ：アトピー性皮膚炎の心身医学的側面について

講 師：春日部ヒフ科 院長 矢島 純先生

テーマ：アトピー性皮膚炎のオールラウンド治療

講 師：東京女子医科大学東医療センター皮膚科 講師 出来尾 格先生

始めに矢島先生に精神的ストレスとアトピー性皮膚炎の症状について概説していただきました。その後、出来尾先生にアトピー性皮膚炎の種々の最新の治療法のポイントを教えていただきました。特に先生がメインテーマとされている角質内の表皮ブドウ球菌の働きについてのお話は大変興味深く、さらなる研究成果に期待が持たれました。

○開催日：平成29年3月25日（土）

会場：春日部商工振興センター「アクシス春日部」

症例報告：ルコナックの使用経験

講師：春日部ヒフ科 院長 矢島 純 先生

テーマ：爪白癬の今

講師：北里大学北里研究所病院 皮膚科部長 佐藤友隆 先生

爪白癬に対する抗真菌外用剤の実際の治療例を矢島先生に報告していただきました。次に佐藤先生が真菌の電顕による微細構造から多彩な臨床症状に至る、医真菌症の基礎から実際の臨床診断・治療までを、豊富なスライドを用いてご講演されました。

埼玉県皮膚科医会役員名簿

任期：平成29年4月1日～平成30年3月31日

役職名	氏 名	所 属
名誉会長	長 村 洋 三	長村皮膚科クリニック
会 長	仲 弥	仲皮フ科クリニック
副 会 長	久 保 和 夫	久保皮膚科医院
〃	松 本 吉 郎	松本皮膚科形成外科医院
常任理事	井 上 多 恵	さいたま赤十字病院
〃	今 泉 俊 資	今泉皮ふ科医院
〃	片 桐 一 元	獨協医科大学越谷病院
〃	倉 持 朗	埼玉医科大学病院
〃	田 沼 弘 之	田沼皮膚科医院
〃	出 光 俊 郎	自治医科大学附属さいたま医療センター
〃	寺 木 祐 一	埼玉医科大学総合医療センター
〃	藤 本 典 宏	防衛医科大学校病院
〃	町 野 哲	町野皮ふ科
〃	横 井 清	さくら皮フ科
理 事	石 田 卓	いしだ皮フ科
〃	石 塚 敦 子	石塚医院 皮膚科
〃	井 上 靖	井上皮膚科医院
〃	梅 本 尚 可	自治医科大学附属さいたま医療センター
〃	大 島 康 成	大島皮ふ科・形成外科
〃	奥 野 哲 朗	奥野皮膚科
〃	小 宅 慎 一	おやけ皮膚科医院
〃	齋 藤 京	さいたま市立病院
〃	佐 藤 貴 浩	防衛医科大学校病院
〃	高 山 かおる	済生会川口総合病院
〃	土 田 哲 也	埼玉医科大学病院
〃	坪 井 るみ子	島田医院
〃	中 村 和 哉	三愛会総合病院
〃	中 村 晃一郎	埼玉医科大学病院
〃	福 田 知 雄	埼玉医科大学総合医療センター
〃	山 本 明 史	埼玉医科大学国際医療センター
監 事	中 井 太 一	中井皮膚科医院
〃	矢 島 純	春日部ヒフ科医院
顧 問	伊 崎 誠 一	本町診療所
〃	石 橋 明	石山記念病院
〃	北 村 啓次郎	埼玉医科大学総合医療センター
〃	斎 田 俊 明	
〃	多 島 新 吾	並木病院
参 与	竹 村 司	志木駅前皮膚科

埼玉県皮膚科医会各種委員会名簿

任期：平成29年4月1日～平成30年3月31日

学術委員会

委員長 委員	出 今 土 藤	光 泉 田 本	俊 俊 哲 典	郎 資 也 宏	片 寺 山	桐 木 本	一 祐 明	元 一 史	倉 中	持 村	朗 晃一郎	佐 福	藤 田	貴 知	浩 雄
-----------	------------------	------------------	------------------	------------------	-------------	-------------	-------------	-------------	--------	--------	----------	--------	--------	--------	--------

会則検討委員会

委員長 委員	矢 中	島 井	純 太一	福 田	知 雄
-----------	--------	--------	---------	--------	--------

健保委員会

委員長 委員	田 井 小 町	沼 上 宅 野	弘 慎	之 靖一 哲	伊 出 松	崎 光 本	誠 俊 吉	一 郎 郎	今 中	泉 村	俊 和	資 哉	奥 福	野 田	哲 知	朗 雄
-----------	------------------	------------------	--------	--------------	-------------	-------------	-------------	-------------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------

地域医療学校保健委員会

委員長 委員	松 奥 古	本 野 谷	吉 哲 信	郎 朗 隆	高 矢	河 島	慎 介純	田 沼	弘 之	玉 城	善 史郎
-----------	-------------	-------------	-------------	-------------	--------	--------	---------	--------	--------	--------	---------

日臨皮委員会

委員長 委員	伊 井 田	崎 上 沼	誠 多 弘	一 恵 之	今 玉	泉 城	俊 善 史郎	資 郎	梅 坪	本 井	尚 るみ子	可 み子	久 松	保 本	和 吉	夫 郎
-----------	-------------	-------------	-------------	-------------	--------	--------	--------------	--------	--------	--------	----------	---------	--------	--------	--------	--------

広報委員会

委員長 委員	寺 秋 中 矢	木 元 捨 島	祐 幸 克	一 子 輝 純	石 人 横	田 見 井	勝 卓 博 清	梅 町	本 野	尚 可 哲	齋 松	藤 本	吉 京 郎
-----------	------------------	------------------	-------------	------------------	-------------	-------------	------------------	--------	--------	-------------	--------	--------	-------------

皮膚の日委員会

委員長 委員	久 井 鈴	保 上 木	和 多 咲	夫 恵 江	今 坪	泉 井	俊 るみ子	資 郎	内 ヶ 矢	崎 島	周 子 純	倉 横	片 井	長 門 清
-----------	-------------	-------------	-------------	-------------	--------	--------	----------	--------	-------------	--------	-------------	--------	--------	-------------

会員親睦委員会

委員長 委員	寺 阿 林	木 部 原	祐 稔 義	一 彦 明	入 松	江 本	広 吉	弥 郎	大 渡	島 部	康 利 枝子	佐 藤	良 博
-----------	-------------	-------------	-------------	-------------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------------	--------	--------

在宅医療委員会

委員長 委員	伊 秋 坪	崎 元 井	誠 幸 るみ子	一 子 恵	坂 並	本 里	哲 まさ子	也 子	神 野	くらら	高 橋	生 世
-----------	-------------	-------------	---------------	-------------	--------	--------	----------	--------	--------	-----	--------	--------

女性会員活性化委員会

委員長 委員	高 秋 井	山 元 上	か お る 幸 多 恵	石 内 ヶ 崎	塚 周	敦 子 子	伊 梅	藤 本	恵 尚	子 可	伊 坪	藤 井	理 るみ子	恵 子
-----------	-------------	-------------	----------------------------	------------------	--------	-------------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	----------	--------

埼玉県皮膚科医会賛助会員 (30社)

	会 員 名	郵便番号	住 所	電話番号
ア	アクセヌ株式会社	104-0061	東京都中央区銀座4-8-10 PIAS GINZA	03-3564-5366
	株式会社アブソルート	231-0013	神奈川県横浜市中区住吉町6-69 馬車道 ST ビル 4F	045-228-8885
	大塚製薬株式会社	362-0022	上尾市瓦葺929-1	048-722-8514
カ	科研製薬株式会社	331-0812	さいたま市北区宮原町2-18-15	048-667-4671
	協和発酵キリン株式会社	350-1122	川越市脇田町18-6 川越小川ビル1F	049-226-8400
	クラシエ薬品株式会社	330-0844	さいたま市大宮区下町1-45 松亀センタービル3F	048-645-5011
	株式会社ケイセイ	141-0022	東京都品川区東五反田5-27-5	03-5421-3787
	興和創薬株式会社	338-0001	さいたま市中央区上落合8-10-24	048-851-5154
サ	佐藤製薬株式会社	107-0051	東京都港区元赤坂1-5-27	03-5412-7818
	サノフィ株式会社	330-8669	さいたま市大宮区桜木町1-7-5 ソニックシティビル28F	0120-852-297
	塩野義製薬株式会社	350-1123	川越市脇田本町10-10 KJ1ビル4F	049-242-0300
	セルジーン株式会社	100-7010	東京都千代田区丸の内2-7-2 JPタワー	03-5224-0611
タ	第一三共株式会社 埼玉支店	330-6033	さいたま市中央区新都心11-2 LAタワー 33F	03-5224-0611
	大正富山医薬品株式会社	331-0801	さいたま市北区今羽町155-1	048-653-5510
	大日本住友製薬株式会社	350-1123	川越市脇田本町11-15 損保ジャパン川越ビル6F	049-245-9210
	大鵬薬品工業株式会社	350-1123	川越市脇田本町1-3 グランベル川越ビル7F	049-238-7851
	田辺三菱製薬株式会社	330-0854	さいたま市大宮区桜木町1-10-17 シーノ大宮サウスウイング15F	048-645-2934
	株式会社ツムラ	330-0854	さいたま市大宮区桜木町1-9-6 大宮センタービル4F	048-647-5233
	帝人ファーマ	338-0001	さいたま市中央区上落合2-11-27 アーバン・V北与野ビル3F	048-858-6881
	常盤薬品工業株式会社 ノブ事業部	140-0013	東京都品川区南大井6-26-3 大森ベルポートD館9F	03-5762-8028
	鳥居薬品株式会社 南関東支店	350-1123	川越市脇田本町1-3 グランベル川越ビル8F	049-246-6877
ナ	日本臓器製薬株式会社 さいたま営業所	330-0843	さいたま市大宮区吉敷町4-261-1 キャピタルビル5F	048-600-0661
	日本ベーリンガーインゲルハイム	330-0854	さいたま市大宮区桜木町1-11-3 八十二大宮ビル7F	048-658-0250
	日本イーライリリー株式会社 関東支店	330-6029	さいたま市中央区新都心11-2 明治安田生命さいたま新都心ビル29F	048-601-2330
ハ	バイエル薬品株式会社	350-1123	川越市脇田本町13-5 4F	049-249-3802
	株式会社ポーラファルマ 関東・甲信越エリア	141-0031	東京都品川区西五反田8-9-5	03-5436-2251
マ	マルホ株式会社 関東支店	330-0802	さいたま市大宮区宮町2-35 大宮MTビル4F	048-642-1954
	武蔵野調剤薬局グループ	338-0001	さいたま市中央区上落合8-3-27	048-854-3605
	持田製薬株式会社	350-1123	川越市脇田本町14-23 カーニープレイス川越ビル7F	049-241-7371
ヤ	ヤンセンファーマ株式会社	330-0061	さいたま市浦和区常盤1-3-10 日本生命浦和ビル2F	0120-099-866
	公益社団法人 日本皮膚科学会	113-0033	東京都文京区本郷4-1-4 コスモス本郷ビル6F	03-3811-5099

埼玉県皮膚科医会 会則

第1条 本会は、埼玉県皮膚科医会と称し、埼玉県医学会に所属する。

第2条 本会事務所は、埼玉県医師会内に置く。

第3条 本会は、次の目的のために必要な事業を行う。

- (1) 臨床皮膚科学の発展普及と社会福祉の増進
- (2) 社会保険診療の調査研究
- (3) 学術講演会の開催
- (4) 会員相互の親睦融和
- (5) その他必要な事項

第4条 本会の会員は、正会員と賛助会員とする。

1. 正会員は、原則として埼玉県において皮膚科診療に従事する医師。
2. 賛助会員は、本会の目的に賛同する正会員以外の個人、団体で本会の主催する事業に参加を希望する者。

第5条 本会に入会しようとする者は、住所氏名を記入し、会費を添えて会長に提出するものとする。

第6条 本会に次の役員を置く。

会 長 1 人
副 会 長 3 人以内
理 事 若 干 名
常任理事 10名以内
監 事 2 人

2. 会長は、総会において施行細則に基づき正会員より選出する。副会長、理事、常任理事、監事は会長が正会員の中から指名し、総会で承認を得る。
3. 会長が必要と認めたときは、埼玉県医師会会長の推薦する者を理事に委嘱することができる。

第7条 会長は、本会を代表し、会務を総理する。

副会長は会長を補佐し、会長事故あるときはその職務を代行する。

理事は会務を分担して処理する。

常任理事は理事の中から選出し、会務分担、業務執行を円滑にする。

監事は、会務及び財産状況を監査する。

第8条 役員の任期は2年とし、再任を妨げない。

第9条 本会に学術、保険等各種委員会をおくことができる。その設置並びに委員については、役員会において決定するものとする。

第10条 本会に名誉会長、顧問、参与を置き、会長がこれを推薦することができる。

第11条 集会は、定例総会及び学術集会として年1回会長が招集する。ただし必要により臨時に招集することができる。

2. 総会の議長は、出席した正会員の中より選任する。
3. 総会の議決は、出席した正会員の過半数の同意をもってし可否同数のときは議長が決する。
4. 次に掲げる事項は、総会において議決又は承認を得なければならない。
 - (1) 事業計画及び収支予算に関する事項
 - (2) 収支決算に関する事項
 - (3) 会則の変更にに関する事項

5. 会長は、次の事項を総会に報告するものとする。

- (1) 役員会における議事事項
- (2) 庶務及び会計報告
- (3) 事業報告

第12条 臨時総会は、役員会の議決又は正会員4分の1以上の要求がありたる場合に会長が招集する。

第13条 役員会は、会長が招集する。

次の事項は、役員会の議決を得なければならない。

- (1) 総会に提出すべき事項
- (2) 会務執行に関する事項
- (3) 会長が必要と認める事項

第14条 議決は、総て正会員出席者の過半数をもってしなければならない。可否同数のときは議長が決する。

第15条 本会の経費は会費及び寄付金、その他の収入をもってあてる。

第16条 本会の会費は、次のとおりとし、毎年4月に納入する。

- (1) 正会員 3,000円
- (2) 賛助会員 30,000円

ただし名誉会長、顧問、77歳を越えた正会員の会費は免除する。

第17条 本会の会計年度は、毎年4月1日に始まり翌年3月31日に終わる。

第18条 総会及び役員会において議決した事項は、埼玉県医師会長に報告するものとする。

附 則	1. 昭和39年11月27日	施 行
	2. 昭和55年10月19日	一部改正
	3. 昭和59年5月27日	一部改正
	4. 昭和59年10月17日	一部改正
	5. 昭和61年10月26日	一部改正
	6. 平成3年5月12日	一部改正
	7. 平成4年7月5日	一部改正
	8. 平成6年5月29日	一部改正
	9. 平成8年5月26日	一部改正
	10. 平成9年11月9日	一部改正
	11. 平成10年9月27日	一部改正
	12. 平成15年5月11日	一部改正
	13. 平成24年6月10日	一部改正

埼玉県皮膚科医会施行細則

第1条 会長は、会長候補者推薦委員会が次期会長候補者名簿を総会に提出して選出する。

2. 会長候補者推薦委員会は、会長を除く役員会の議決により選出された正会員5名で構成する。

3. 会長候補者推薦委員長は、会長候補者推薦委員の互選による。

《埼玉県皮膚科医会会報投稿規定》

2017年5月改訂

会員の皆様により充実した皮膚科医生活を送れるよう、また会員同士の親睦を深められるよう、内容のある、そして読んで楽しめる会誌を作成したいと思っております。そこで、委員会や例会の報告に加え、広く会員の皆様からのご投稿をお願いし、紙面の充実を図りたいと思います。

原稿はできるだけワープロ・パソコンで作成し、データをメールまたはCD-Rで送っていただければ幸いです。もちろん手書きの原稿も大歓迎です。

ただし、内容により、編集委員会が本誌に相応しくないと判断した場合には掲載をお断りすることもあります。

【フォト】

カラー、モノクロとも一人2枚まで。題と簡単な説明文、また可能な限り撮影条件も記してください。なお、表紙写真（「埼玉の風物」がテーマ）はご投稿いただいた作品の中から編集委員会が選ばせて頂きます。

【随筆】

日常の生活・診療の場や学会・旅行などで見聞・体験したこと、実践していること、心に浮かんだことなどを、気ままに自由な形式でお書きください。著者の顔写真のほか、スナップ写真、絵などを含め、2,500字以内でご執筆ください。

【マイホビー、いい店・好きな店】

趣味やごひいきのお店（飲食店に限らず、雑貨、文具など楽しいお店やお気に入りのお店、ただし県内に限ります）をご紹介ください。1,200字以内でご執筆いただき、写真、地図、電話番号などを添えてください。

【娯楽ページ（Dermaあごら）】

決められた「お題」（毎回前号に記載）に関する写真、川柳、小噺、イラストなどをご投稿ください。

【近況報告（クリニック・病院）】

クリニックや病院における最近の診療状況や取り巻く環境の変化など、近況をご報告ください。1,200字程度でご執筆いただき、写真を添えてください。

【入会挨拶】

卒業年、出身校、開業地、医療機関名は必ず記載してください。また顔写真のほか、入会のいきさつ、現在の状況、心境など自由に400字以内でご執筆ください。

＜原稿送付先＞

埼玉県皮膚科医会ホームページ (<http://saitamahifuka.org/>)、「会員ページ」内の会報投稿メールより、または下記編集委員会へご送付ください。

埼玉県皮膚科医会 会報編集委員会 宛

〒330-0062 さいたま市浦和区仲町 3-5-1

埼玉県医師会内

TEL 048-824-2611

FAX 048-822-8515

編集後記

「アゴラ」は、古代ギリシア都市の市民が政治、哲学などを論じて閑暇を過ごした公共広場だそうです。今号からの新企画として皆で作る娯楽ページ「Derma あgora」を掲載しました。このページを見て会員の皆様が一瞬でも肩の力を抜いていただけたなら大成功です。今回は初回ということで編集委員に『かゆみ』のお題で寄稿していただきました。なかなかの秀作ぞろいで、先生方の隠れた才能が満開です。次号（お題は『け』です）からは会員からのたくさんの投稿を期待しております。斎藤先生力作の特集「病院・医院情報アンケートの解析」は埼玉県皮膚科の現状を知る上で興味深い内容が満載ですので、併せてご一読ください。（会長：仲 弥）

時が経つのは早いもので5号の発刊となりました。編集委員会では、何といても少しでも楽しんで頂ける内容になる様心がけていますが、仲会長を始め知恵を搾り出すのに毎号苦勞しております。編集委員一同、気持ちはいつも創刊号ですが、そのことが雑誌の新鮮さに少しでも反映されればと願っています。（編集委員長：石田 卓）

どなたか先生にお手伝いに来て欲しいと思い、日本医師会女性医師バンクというサイトをみつけ、登録してみました。埼玉県×皮膚科×非常勤で検索したところ、応募者ゼロでした。埼玉県皮膚科医会にも女医の会が出来ましたが、「休職中の皮膚科女医さん、せっかくの資格とスキル、大切にしてください」と思う今日この頃です。（編集委員：秋元幸子）

今シーズンの大宮アルディージャは王様を失い（川崎フロンターレに移籍）開幕から8戦終えた時点で0勝1分7敗、2得点17失点、ダントツの最下位。9戦目で迎えた相手は6勝1分1敗、24得点9失点、首位浦和レッズ。正直、大量失点を覚悟していました。それなのに1-0での勝利!! 選手の気迫をひしひしとを感じる、まさに魂のこもった試合でした。やっぱり、アルディージャは最高! 一昨日のことで、まだ興奮冷めやらず、こんな編集後記ですみません。

（編集委員：梅本尚可）

会誌も第五号になり、特集のネタが残っているのかな? と思って臨んだ編集会議。しかし、ネタ切れで一休みなどという事は埼玉皮膚科医会にはごさいませんでした! 仲会長に仰せつかって「病院・医院情報アンケートの解析」を書かせていただきましたが、基本的な内容は今後始まる「医師用のインターネット医院検索」のご紹介になっています。うまく運用されれば画期的なシステムだと思いますので、ぜひご一読いただき（さらっと読める文章にしたつもりですが）、参考にいただければと思います。なお、会誌の小さな改革として娯楽ページ「Derma あgora」を新設、なかなか出来がよく編集者としては大満足です。（編集委員：齋藤 京）

国立病院機構埼玉病院に赴任して1年が経ちました。何とか少しずつ仕事を増やしているところですが、このたび埼玉県皮膚科医会の広報委員会にも参加させていただくこととなりました。広報誌の編纂作業を拝見しましたが、委員の先生方の熱意に感銘を受けました。広報誌を通じてそれが会員の皆様に伝われば、と願っております。（編集委員：中捨克輝）

石の上にも3年と言われるが、5年と言う人もいます。会報も今号で5周年目である。もう、盤石であろう。次の目標は10周年、宜しく願い致します。（編集委員：寺木祐一）

埼玉医大の医師国家試験合格率が全国最下位。5月14日は皮膚科医会の日でしたが、各科の教育主任69名による大規模な教育対策会議に参加してきました。学生が自己学習に目覚め、教員がそれを支援する教育体制が理想とのこと。私は、学生の関心が低学年時から試験対策に偏るあまり、医学への純粋な探究心を忘れてしまうのではないかと感じました。医師になり、専門医を取得して安定した生活を送ることが目標では志があまりに低過ぎます。些細なことでも、日頃感じた疑問に答えを見出そうと一生努力する姿勢を身に付けさせる教育が大事なのだだろうと、荒田次郎先生から昔頂いた「情熱の持続」という言葉がふと思い起こされました。

(編集委員：人見勝博)

娘が小学校に入学しました。私も通ったところです。校庭の一面に大きな木が茂り、その木陰にブランコや平均台がありました。ところが先日見ると、その木々が大きく切られてマッチ棒が立ち並んでいるようです。なんでこんなことがと思い、人づてに聞くと近隣住民の方から落ち葉などで苦情があるからとか。最近は街路樹や公園の木々も枝を落とされ、あの立派だった木が見るも哀れな姿です。そこまで困っている人が多いとも思えません。今時はやりの「忖度(そんたく)」があるのでしょうか。さて、今号から「Derma あごら」が始まりました。忖度無用のページです。クスリと笑える小ネタや日々の診療でのちょっとした想いを自由に投稿してください。

(編集委員：町野 哲)

医師、特に勤務医の働き方の検討が国や政府・与党内、各病院団体、そして日本医師会で並行して進められている。時間外労働規制や労働時間の短縮策については「医師の応召義務」「診療時間の差・病院間機能の差・地域間の差」の扱いや「女性医師・高齢医師・研修医」の働き方やサポートの問題等がある。

日本医師会の「医師の働き方検討委員会」が設置され、私が担当常任理事になった。「質の高い医療提供体制の維持」と「医師自身の健康管理」が両立するような制度を検討することになった。責任は重大である。医師の需給や診療報酬にもからむ問題でもある。もちろん医療機関の経営も考慮せねばならない。「医師の働き方」は全科・全医師が真剣に考えなければならない問題である。

(編集委員：松本吉郎)

今は、春。タンポポ、桜、菜の花、堇、チューリップ、フジ、ツツジなど、色とりどりの花が目を楽しませてくれています。草花は芽吹き、新緑がすがすがしい季節です。

社会的には、新入学生、新社会人など、ピカピカの一年生の誕生により澁澁さが感じられます。

年齢・性別（小児、老人、婦人など）、部位（眼、鼻、口、泌尿器など）に制限されることなく診ることができる科ということもあり皮膚科医を選んでウン十年。その間にダーモスコピーなどの補助診断が進歩し、一方では知らぬ間に5歳や1歳の孫たちからパワーをもらう歳になっています。

皮膚科医会誌も、新入生の澁澁さに負けず5年目の“春”を迎えました。嬉しいことです。

(編集委員：矢島 純)

齋藤先生の力作「病院・医院情報アンケート」を拝読させていただきました。埼玉県の治療事情と皮膚科開業医の実態が浮き彫りにされて大変勉強になりました。

先生が「このデータベースは伸びしろがある」と述べられていますが、春日部市内でも2名の皮膚科開業医の先生が県皮膚科医会には入会されておられません。

考慮すべき点と思われます。また、新入会員の先生方がこんなにたくさんいらっしゃるのにはびっくりしました。皮膚科医会の活性化に繋がると期待されますね。

(編集委員：横井 清)

豆 知 識

『フィラグリン遺伝子はほ乳類に進化して初めて出現した遺伝子である。』『カクテルによるアレルギーといえど？』『角質増殖型白癬は何故難治か？』『炎症性粉瘤の多くは粉瘤の壁が破裂、角質が異物となって炎症を起こしたもので、一般的に抗菌薬は無効である。』『Elsberg 症候群とは？』

豆知識は石田 卓先生より資料をいただきました。



日本皮膚科学会東京支部「学校保健 講師派遣制度」をご活用ください

日本皮膚科学会、日本臨床皮膚科医会、日本小児皮膚科学会の会員はこれまで個別に、園児・学童・生徒・学生および保護者・教職員への保健指導・教育活動を行ってきました。2015年4月より、日本皮膚科学会、日本臨床皮膚科医会、日本小児皮膚科学会の連携を強化し、より効率的な学校保健活動の運営を目的として、日本皮膚科学会東京支部は講師派遣の支援を行うこととなりました。

支援活動の内容は、学校からの申請による講師（皮膚科医）の選定、および講師に対する謝礼・交通費の支払いです。事務は東京支部事務局が行います。詳細は日本皮膚科学会東京支部ホームページ（<http://dermatky.umin.jp/>）をご覧ください。なお、埼玉県皮膚科医会のホームページ（<http://saitamahifuka.org/>）からもリンクできます。

埼玉県皮膚科医会会報 第5号

印刷 2017年6月10日

発行 2017年6月18日

発行所 埼玉県皮膚科医会

〒330-0062 さいたま市浦和区仲町3-5-1

埼玉県医師会内

TEL. 048 (824) 2611

発行責任者 会長 仲 弥

編集委員長 石田 卓

編集委員 秋元幸子、梅本尚可、齋藤 京

寺木祐一、中捨克輝、人見勝博

町野 哲、松本吉郎、矢島 純

横井 清

印刷所 瑞穂印刷株式会社

〒164-0014 東京都中野区南台2-16-2

TEL 03 (5385) 2711 (代表)

(無断転載を禁ずる)

ISBN 978-4-89609-013-0 C3047